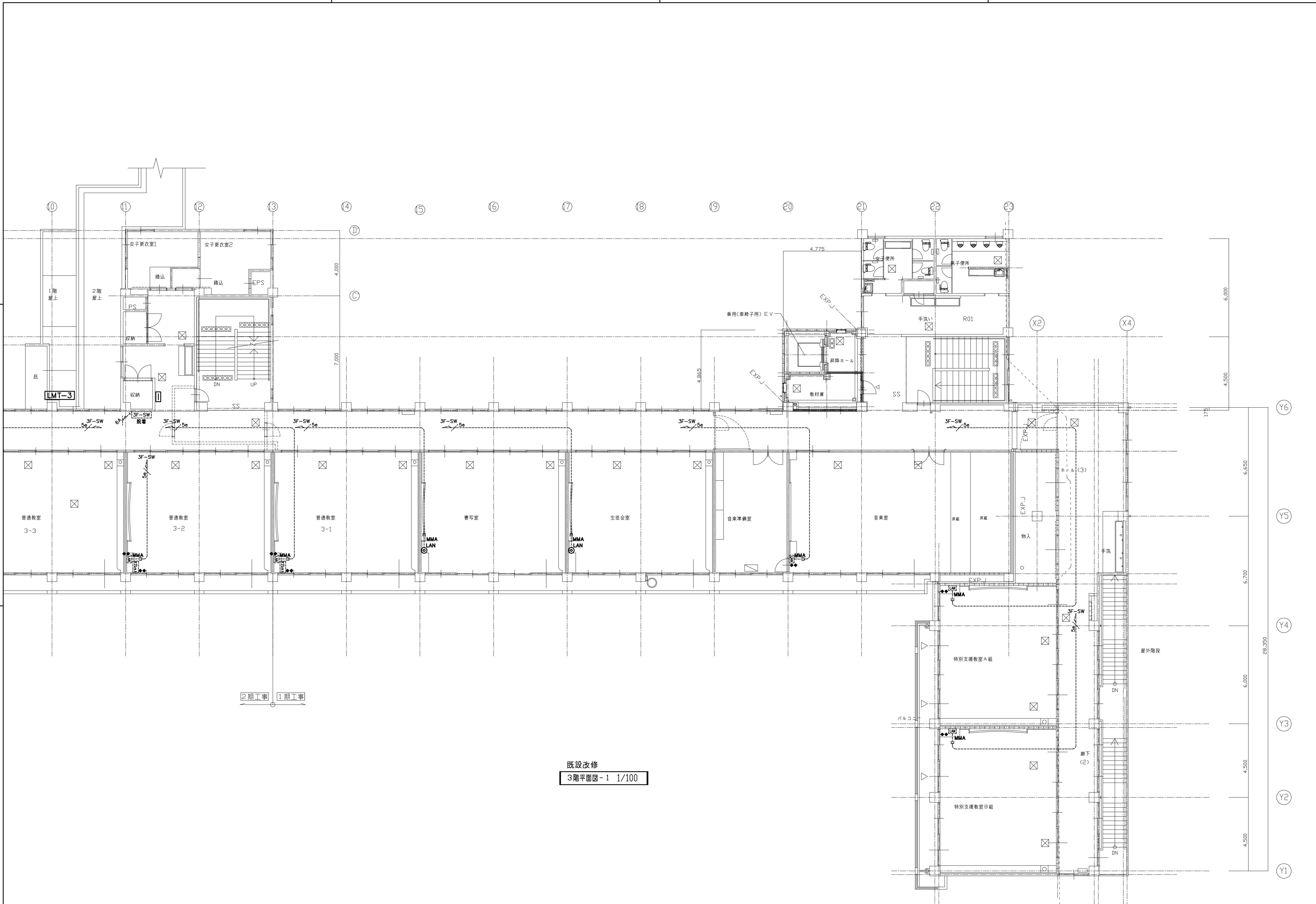


既設改修
2階平面図-2 1/100

- | | | | |
|---|-------------------------|-----------------------------|---------------|
| ① | 新設 露出配管 (配管のみ本工事) | 光ファイバ (SM)(CP31) 情報通信 (NET) | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | 光ファイバ (SM)(CP31) 電話 | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | CCP-P0.5-10Pr (CP25) 電話 | メタル (NTT工事) |
| | | —●— (CP31) 予備 | |
| ② | 新設 ラック配管 (ケーブルラックのみ本工事) | 光ファイバ (SM)(ラック) 情報通信 (NET) | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | 光ファイバ (SM)(ラック) 電話 | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | CCP-P0.5-10Pr (ラック) 電話 | メタル (NTT工事) |
| | | —●— (ラック) 予備 | |
| ③ | 新設 インペイ配管 (配管のみ本工事) | 防火区画措置 (認定工法) | |
| | | 光ファイバ (SM)(PF28) 情報通信 (NET) | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | 光ファイバ (SM)(PF28) 電話 | 光ファイバ (NTT工事) |
| | | CCP-P0.5-10Pr (PF22) 電話 | メタル (NTT工事) |
| | | —●— (PF28) 予備 | |



既設改修
3階平面図-1 1/100

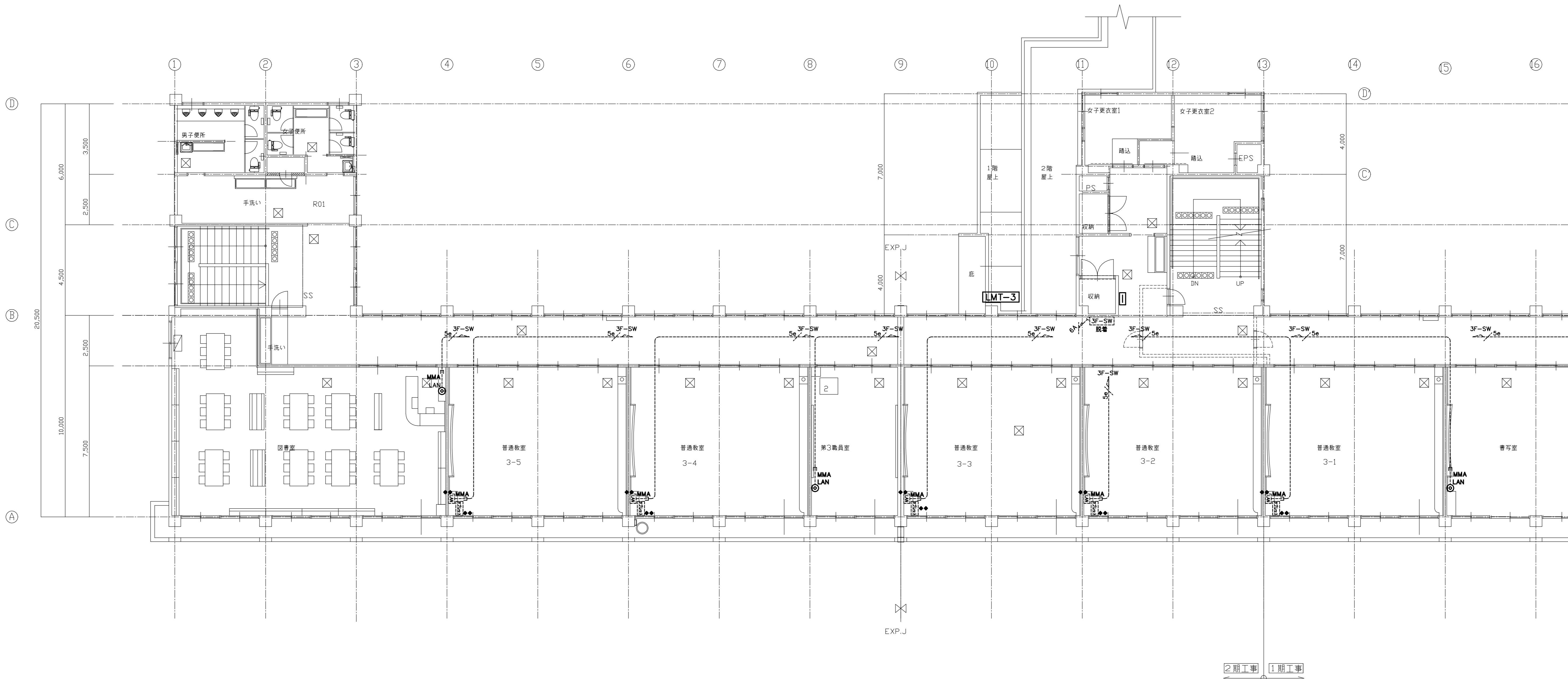
訂	月	日	月	日	月	日	月	日
正	・	・	・	・	・	・	・	・

建築事務所 **BCY'S**
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝 鶴

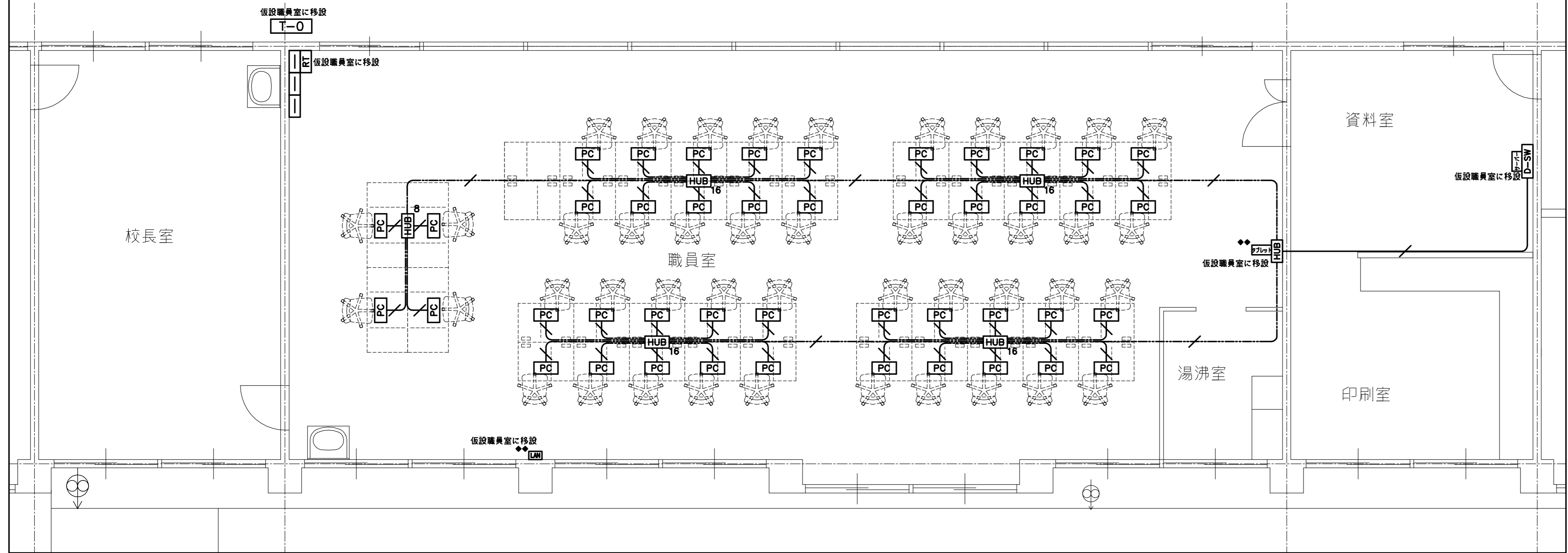
FILE No. _____
工事名 _____
DATE _____

浅井中学校南校舎長寿命化改修工事 (電気設備)
既設改修 3階平面図-1

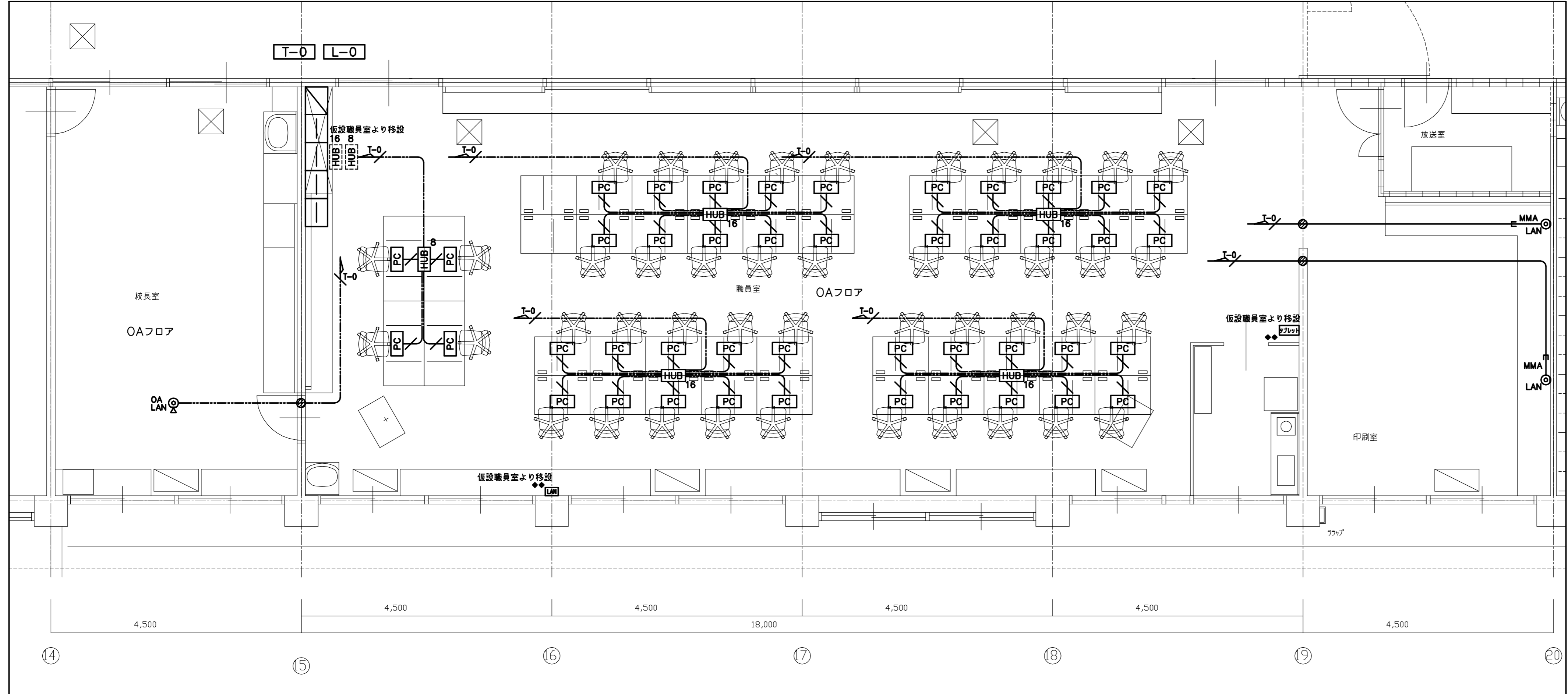
電気設備工事
情報通信設備図
SCALE 1 : 1
1 : 100 (A1)
1 : 200 (A3)
No. 62 / 151
E



既設改修
3階平面図-2 1/100



既設撤去
1階 職員室 平面詳細図 S=1:50



既設改修
1階 職員室 平面詳細図 S=1:50

特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

情報通信回路 UTP 0.5-4Pr x 1 (コロガシ)

- 1) 図中 特記なき配線器具は、撤去を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。

既設撤去

既設改修

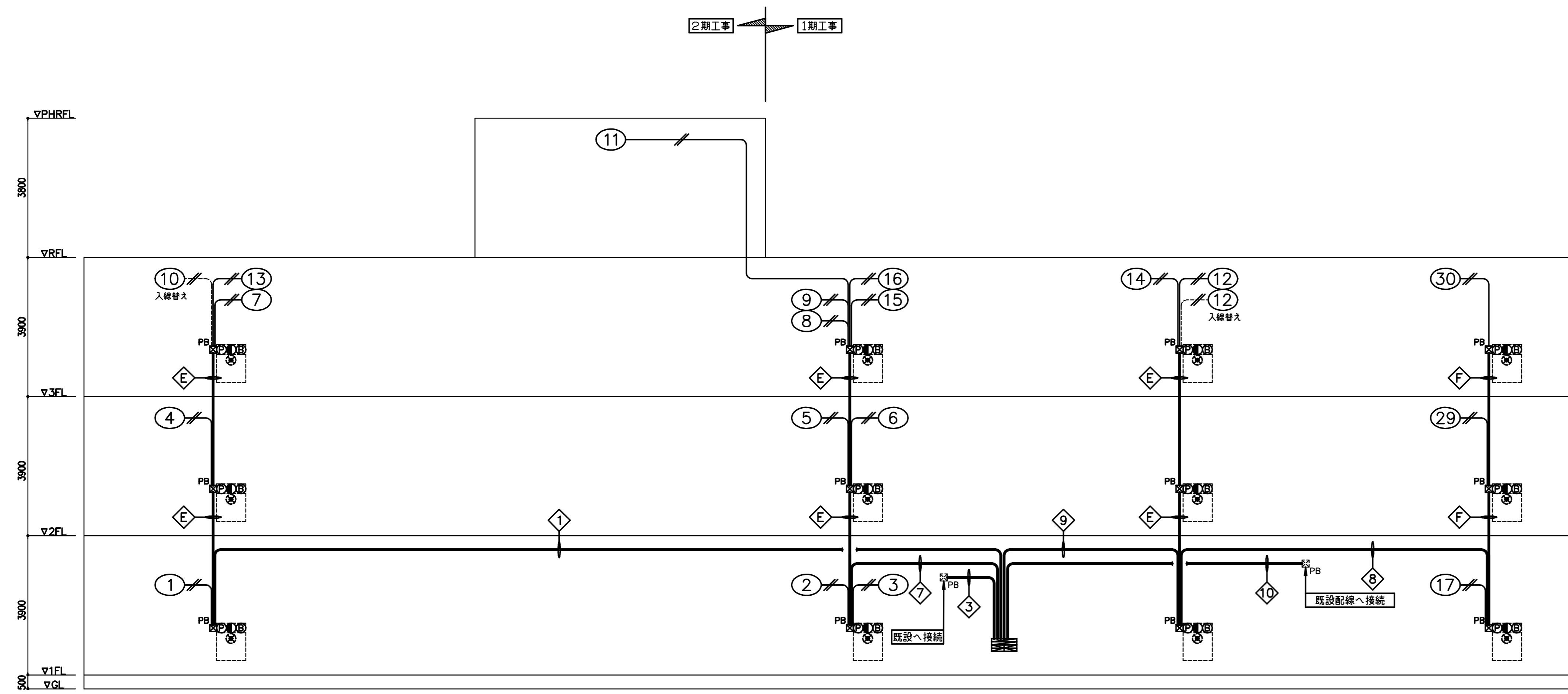
特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

情報通信回路 UTP 0.5-4Pr x 1 (PF16)
// UTP 0.5-4Pr x 2 (PF16)

- 1) 特記なき機器、器具、配線、配管等はすべて新設とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は学校の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とする。
- 12) インベイ部のケーブル配線の立上り、立下りはPF管で保護の事。但し、打込配管は極力流用する事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
- 14) 職員室の校務用パソコン、校務用プリンター購入業者：宮川商店 TEL: 0749-62-0490、PC教室購入業者Pod充電保管庫等：大塚ITソリューション TEL: 0749-68-2070、ネットワークサーバー保守業者：NTT滋賀支店担当片山氏 TEL: 077-527-7431
校内LAN整備日本ソフト開発 TEL: 0749-52-8132の各社と連携調整し、仮設校舎、仮設職員室、改修後の教室及び職員室への移設を各社の責任の上行うこと。
- 15) 凡例
○ はつり挿修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
MMA メタルモールA型を示す。

凡例

記号	名称	備考
PC	パソコン	44台 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
サーバ	サーバー	既設職員室より仮設職員室へ移設
HUB8	ハブ	8ポート 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
HUB16	ハブ	16ポート 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
LAN	床埋込型LAN受口(情報通信)	ローテーション OAフロア用
LAN	LAN受口(壁付型)	モジュラージャック 8極8芯



凡例

記号	名称	備考
[Symbol]	複合型受信機 自火報 P型1級 30回線 防火扉 10回線 ガス漏れ警報 10回線 一般警報 15回線	非常用電源付 既設再取付
[Symbol]	副受信機	— 回線
[Symbol]	通動制御盤 防火扉 5回線	非常用電源付 新設 T-0に組込
[Symbol]	綜合盤 端子台取付	埋込露出型 縦型 消火栓ボックス
[Symbol]	発信機 P型1級	埋込型 消火栓ボックスに組込
[Symbol]	表示灯 AC 24V	露出型 消火栓ボックスに組込
[Symbol]	電鈴 DC 24V φ150mm	露出型 消火栓ボックスに組込
[Symbol]	消火栓起動ボタン(簡易操作性:機械工事) AC 24V	内蔵型
[Symbol]	感知器 差動式スポット型 2種	確認ランプ付
[Symbol]	感知器 差動式スポット型 2種	確認ランプ付 小屋裏
[Symbol]	感知器 差動式スポット型 2種	確認ランプ付 防水型
[Symbol]	感知器 定温式スポット型 特種	確認ランプ付
[Symbol]	感知器 定温式スポット型 特種	確認ランプ付 防水型
[Symbol]	感知器 定温式スポット型 特種	確認ランプ付 防爆型
[Symbol]	煙感知器 光電式煙感知器 2種	確認ランプ付
[Symbol]	煙感知器 光電式煙感知器 2種	確認ランプ付 点検口付(厚1.6mm)
[Symbol]	終端抵抗器	
[Symbol]	感知器 差動式分布型	埋込型
[Symbol]	回路試験器	
[Symbol]	空気管 ビニール被覆管	
[Symbol]	警戒区域線	メッセージワイヤー付
[Symbol]	警戒区域番号 NO 1-30	
[Symbol]	煙感知器 光電式煙感知器 3種	確認ランプ付
[Symbol]	煙感知器 光電式煙感知器 3種	確認ランプ付 点検口付
[Symbol]	防火扉閉鎖器	木工事
[Symbol]	防火シャッター閉鎖器	建築工事
[Symbol]	警戒区域番号 NO 1-10、1-2	
[Symbol]	ガス漏れ検知器 LPGガス用 DC 24V	
[Symbol]	中継器 1~3個用	
[Symbol]	中継器 4~5個用	
[Symbol]	警戒区域番号 NO 1-7	
[Symbol]	プルボックス アウトレットボックス	
[Symbol]	露出丸ボックス	
[Symbol]	立上り、立下り	
[Symbol]	天井インベ配線工事	
[Symbol]	床インベ配線工事	
[Symbol]	露出配管工事	
[Symbol]	地中埋設配線工事	

既設改修
自動火災報知設備系統図

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

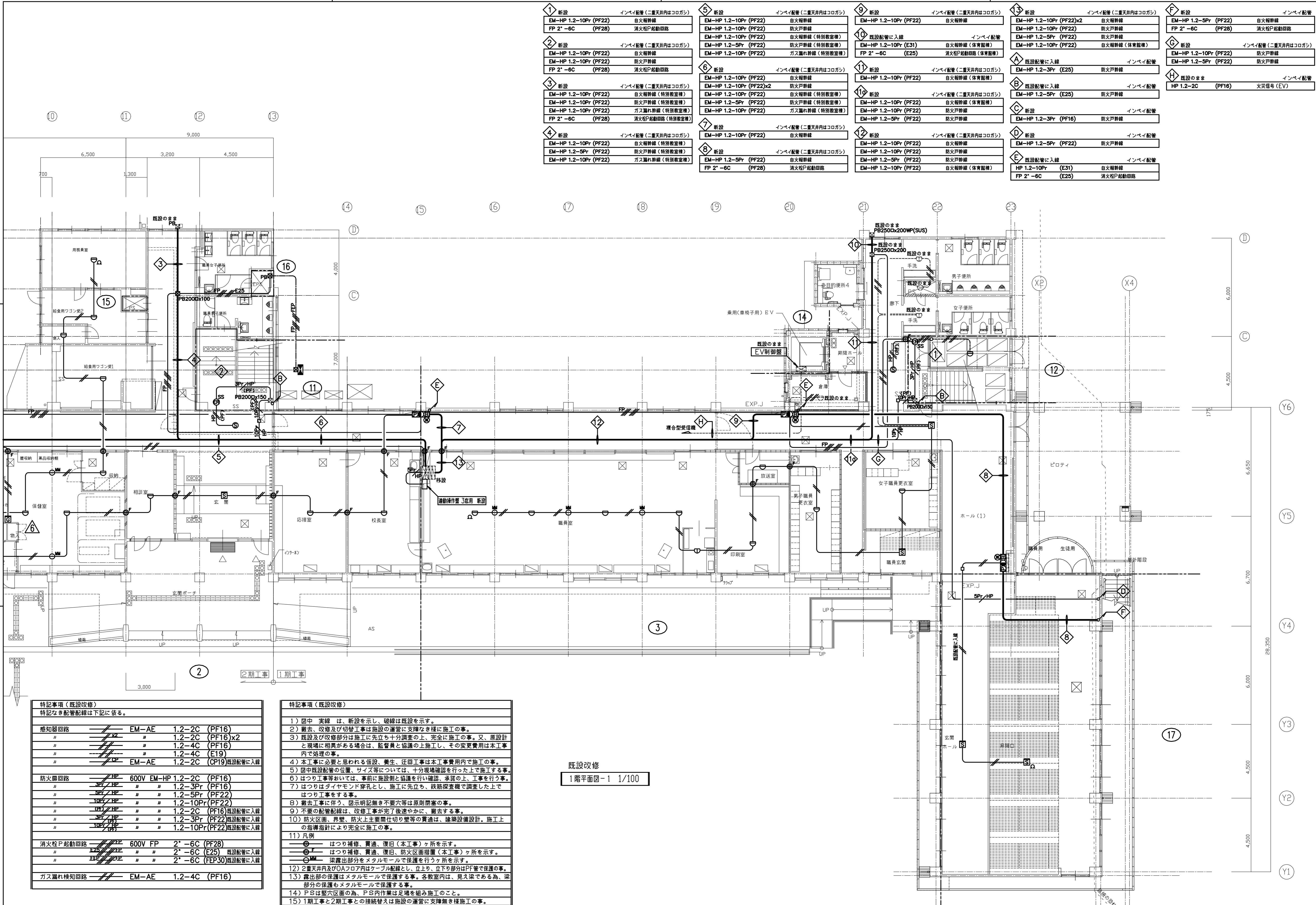
感知器回路	EM-AE	1.2-2C (PF16)
"	"	1.2-2C (PF16)x2
"	"	1.2-4C (PF16)
"	"	1.2-4C (E19)
"	EM-AE	1.2-2C (CP19)既設配管に入線

防火扉回路	HP	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)
"	HP	1.2-3Pr (PF16)
"	HP	1.2-5Pr (PF22)
"	HP	1.2-10Pr (PF22)
"	HP	1.2-2C (PF16)既設配管に入線
"	HP	1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線
"	HP	1.2-5Pr (PF22)既設配管に入線
"	HP	1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線

消火栓P起動回路	FEP	600V FP 2"-6C (PF28)
"	FEP	2"-6C (PF28) 既設配管に入線
"	FEP	2"-6C (FEP30)既設配管に入線

- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

- ① 新設 インベ配管(二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報幹線
FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動回路
- ③ 新設 インベ配管(二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報幹線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ幹線(特別教室棟)
FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動回路(特別教室棟)
- ⑦ 新設 インベ配管(二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報幹線
- ⑧ 新設 インベ配管(二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線
FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動回路
- ⑨ 新設 インベ配管(二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報幹線
- ⑩ 既設配管に入線 インベ配管
EM-HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線(体育館棟)
FP 2"-6C (E25) 消火栓P起動回路(体育館棟)
- ⑤ 既設配管に入線 インベ配管
HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線
FP 2"-6C (E25) 消火栓P起動回路
- ⑥ 新設 インベ配管
EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線
FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動回路



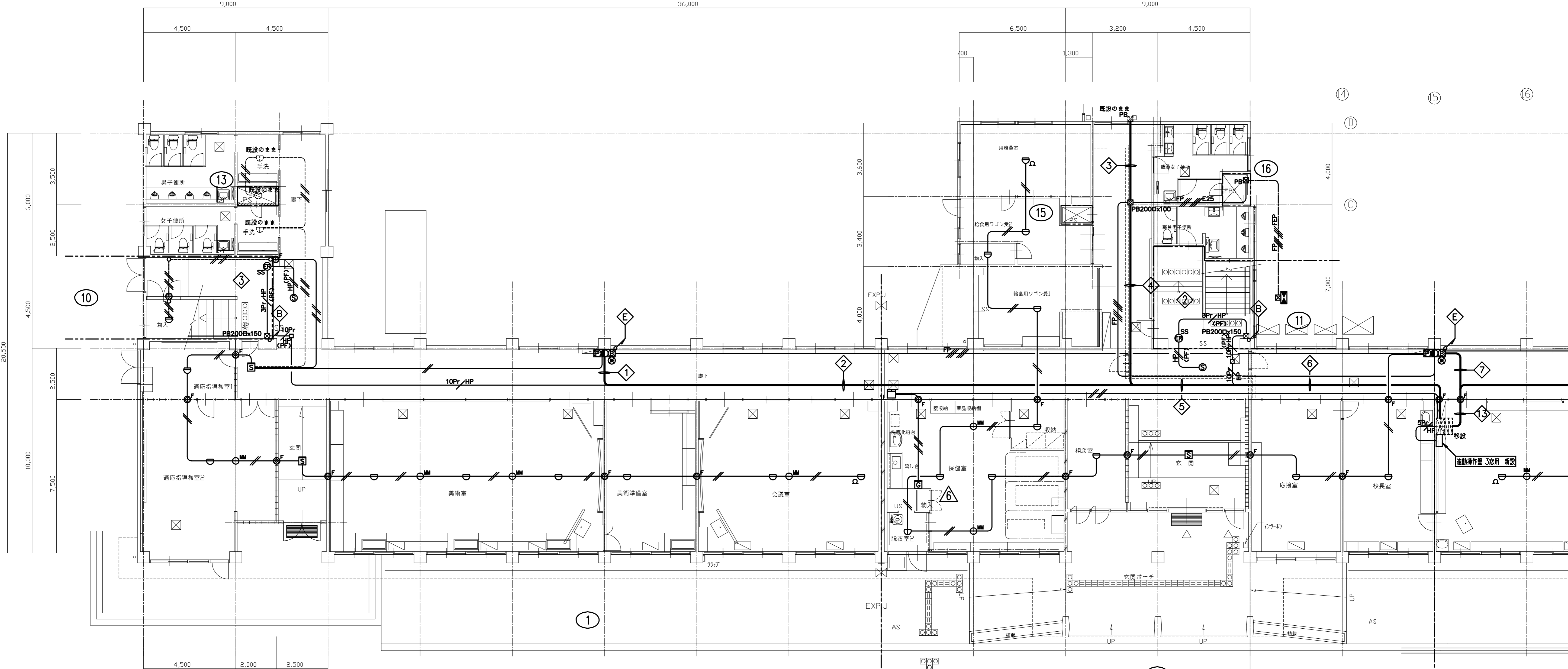
① 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路	⑤ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(特別教室棟) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線(特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ幹線(特別教室棟)	⑨ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線	⑬ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22)x2 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(体育館棟)	⑦ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線	⑪ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(体育館棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	③ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線(特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ幹線(特別教室棟) FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路(特別教室棟)	⑥ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22)x2 防火戸幹線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(特別教室棟) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線(特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ幹線(特別教室棟)	⑩ 既設配管に入線 インベイ配管 EM-HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線(体育館棟) FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路(体育館棟)	④ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線	⑧ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報警線 FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路	⑫ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線(体育館棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	② 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線(特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ幹線(特別教室棟)	⑩ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑭ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑬ 既設配管に入線 インベイ配管 EM-HP 1.2-3Pr (E25) 防火戸幹線	④ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑥ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	⑦ 既設配管に入線 インベイ配管 EM-HP 1.2-3Pr (PF16) 防火戸幹線	⑨ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑪ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	⑫ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑭ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑮ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	⑯ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑰ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	⑱ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⑲ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	⑳ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉑ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉒ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉓ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉔ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉕ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉖ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉗ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉘ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉙ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉚ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉛ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉜ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉝ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㉞ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㉟ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊱ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊲ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊳ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊴ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊵ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊶ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊷ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊸ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊹ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊺ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊻ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊼ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊽ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	㊾ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	㊿ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	⓫ 既設配管に入線 インベイ配管 HP 1.2-2C (PF16) 火災信号 (EV)
---	--	---	---	---	--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---

既設改修
1階平面図-1 1/100

特記事項(既設改修)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
感知器回路	EM-AE	1.2-2C (PF16)	
"	"	1.2-2C (PF16)x2	
"	"	1.2-4C (PF16)	
"	"	1.2-4C (E19)	
"	EM-AE	1.2-2C (CP19)	既設配管に入線
防火扉回路	HP	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)	
"	SPC/HP	" " 1.2-3Pr (PF16)	
"	SPC/HP	" " 1.2-5Pr (PF22)	
"	10Pr/HP	" " 1.2-10Pr (PF22)	
"	CP/HP	" " 1.2-2C (PF16)	既設配管に入線
"	SPC/HP	" " 1.2-3Pr (PF22)	既設配管に入線
"	10Pr/HP	" " 1.2-10Pr (PF22)	既設配管に入線
消火栓P起動回路	600V FP	2'-6C (PF28)	
"	E25/FP	" " 2'-6C (E25)	既設配管に入線
"	E25/FP	" " 2'-6C (FEP30)	既設配管に入線
ガス漏れ検知回路	EM-AE	1.2-4C (PF16)	

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所仕切等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬



① 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路

② 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路

③ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線(特別教室棟)
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路(特別教室棟)

④ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	ガス漏れ警線(特別教室棟)

⑤ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	ガス漏れ警線(特別教室棟)

⑥ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)x2	防火戸警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線(特別教室棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	ガス漏れ警線(特別教室棟)

⑦ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
-----------------------	-------

⑧ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報警線
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路

⑨ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
-----------------------	-------

⑩ 既設配管に入線 インベイ配管

EM-HP 1.2-10Pr (E31)	自火報警線(体育館棟)
FP 2'-6C (E25)	消火栓P起動回路(体育館棟)

⑪ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(体育館棟)
-----------------------	-------------

⑫ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線(体育館棟)

⑬ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(体育館棟)
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線

⑭ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	自火報警線(体育館棟)

⑮ 既設配管に入線 インベイ配管

EM-HP 1.2-3Pr (E25)	防火戸警線
---------------------	-------

⑯ 既設配管に入線 インベイ配管

EM-HP 1.2-3Pr (PF16)	防火戸警線
----------------------	-------

⑰ 新設 インベイ配管

EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線
----------------------	-------

⑱ 既設配管に入線 インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報警線
FP 2'-6C (E25)	消火栓P起動回路

⑲ 新設 インベイ配管

EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報警線
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路

⑳ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線

㉑ 既設のまま インベイ配管

HP 1.2-2C (PF16)	火災信号(EV)
------------------	----------

① 既設配管に入線 インベイ配管

EM-HP 1.2-3Pr (E25)	防火戸警線
---------------------	-------

② 既設配管に入線 インベイ配管

EM-HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸警線
---------------------	-------

③ 新設 インベイ配管

EM-HP 1.2-3Pr (PF16)	防火戸警線
----------------------	-------

④ 新設 インベイ配管

EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線
----------------------	-------

⑤ 既設配管に入線 インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報警線
FP 2'-6C (E25)	消火栓P起動回路

⑥ 新設 インベイ配管

EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報警線
FP 2'-6C (PF28)	消火栓P起動回路

⑦ 新設 インベイ配管(二重天井内はコロガシ)

EM-HP 1.2-10Pr (PF22)	防火戸警線
EM-HP 1.2-5Pr (PF22)	防火戸警線

⑧ 既設のまま インベイ配管

HP 1.2-2C (PF16)	火災信号(EV)
------------------	----------

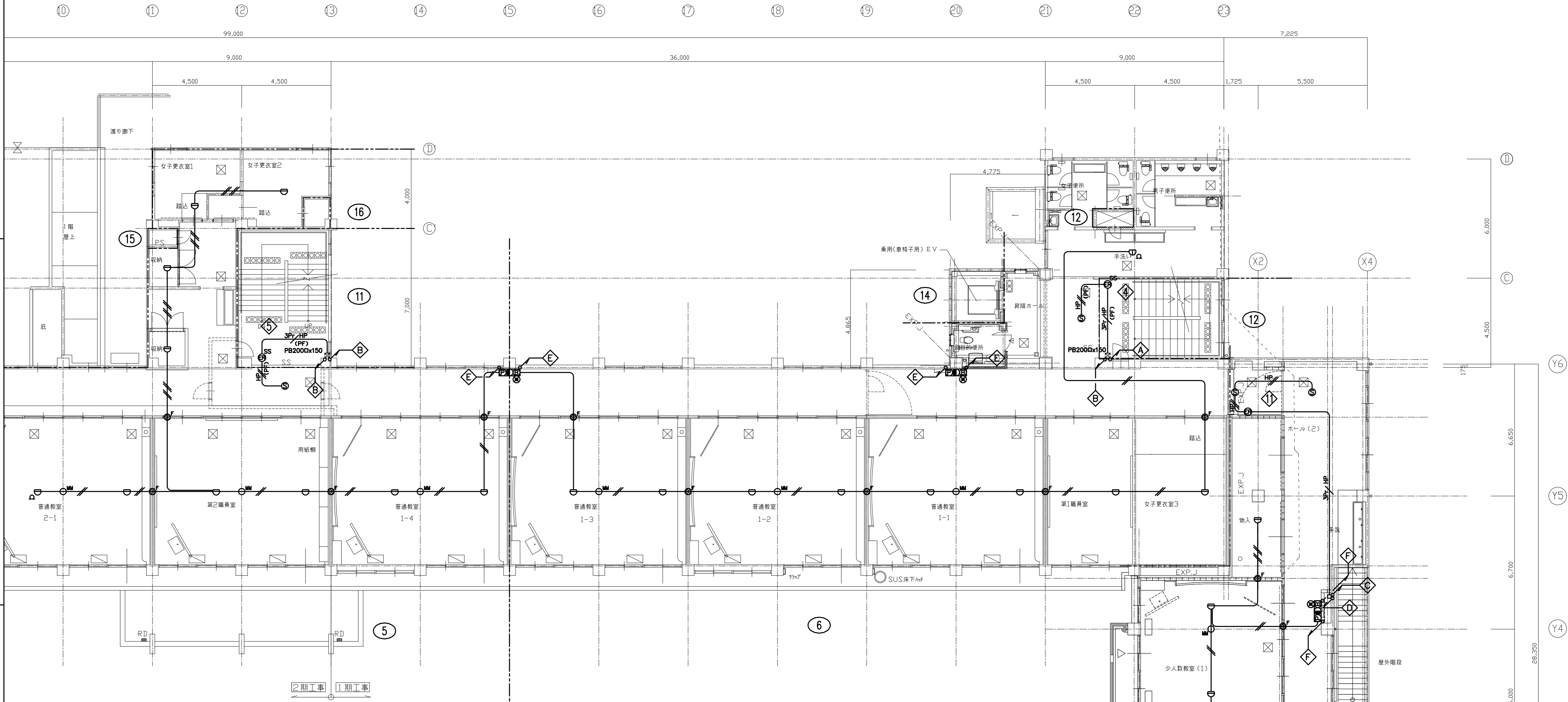
既設改修
1階平面図-2 1/100

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

感知器回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-2C (PF16)x2
"	" 1.2-4C (PF16)
"	" 1.2-4C (E19)
"	EM-AE 1.2-2C (CP19)既設配管に入線
防火扉回路	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-3Pr (PF16)
"	" 1.2-5Pr (PF22)
"	" 1.2-10Pr (PF22)
"	" 1.2-2C (PF16)既設配管に入線
"	" 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線
"	" 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線
消火栓P起動回路	600V FP 2'-6C (PF28)
"	" 2'-6C (E25) 既設配管に入線
"	" 2'-6C (FP30)既設配管に入線
ガス漏れ検知回路	EM-AE 1.2-4C (PF16)

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所切替等の費用は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
 - 14) PSは整火区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続は施設の運営に支障なき様に施工の事。

A 既設配管に入線 EM-HP 1.2-3Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	E 既設配管に入線 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線 FP 2"-6C (E25) 消火栓P起動回路	インベイ配管	H 既設のまま HP 1.2-2C (PF16) 火災信号 (EV)	インベイ配管
B 既設配管に入線 EM-HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	F 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線 FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動回路	インベイ配管		
C 新設 EM-HP 1.2-3Pr (PF16) 防火戸幹線	インベイ配管	G 新設 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管 (二重天井内はコゴシ)		
D 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管				

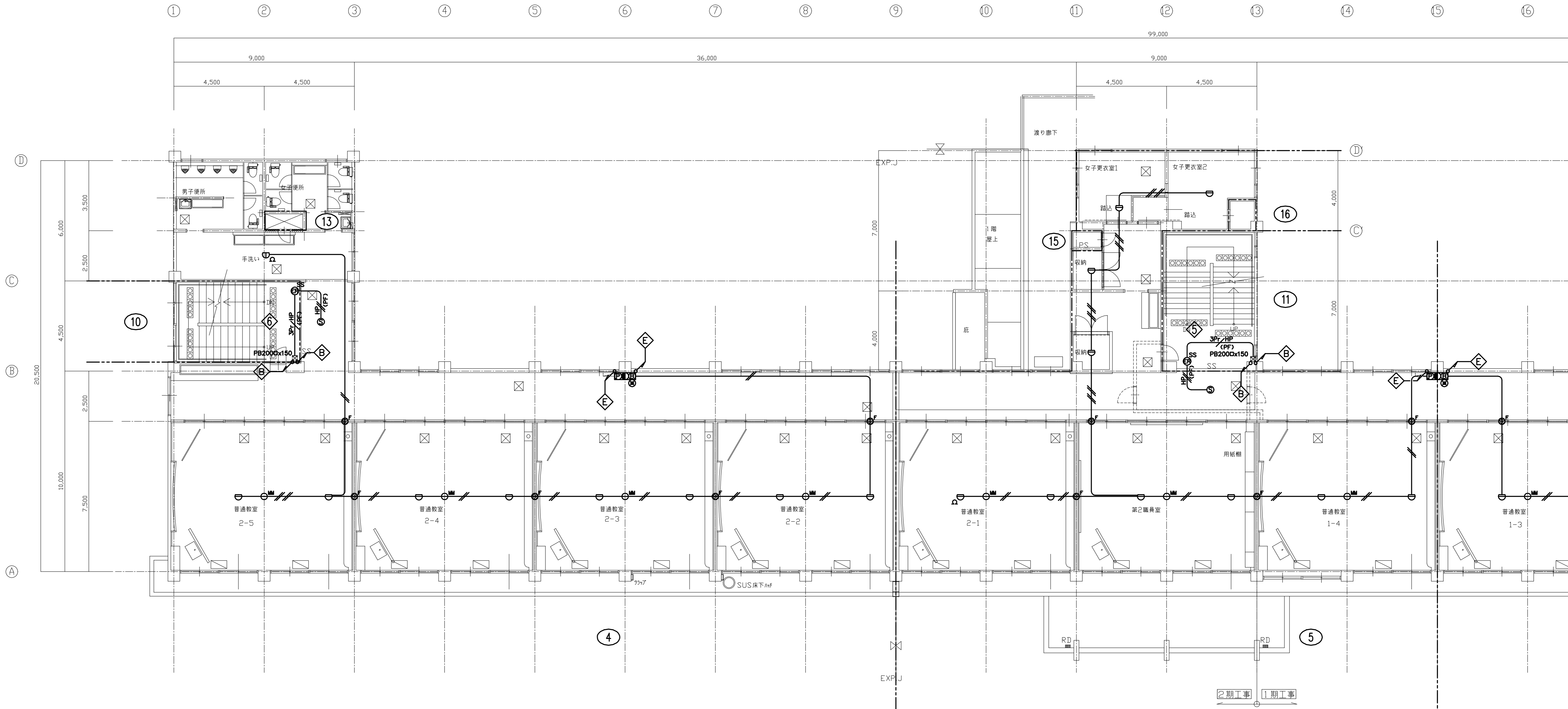


特記事項 (既設改修)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
感知器回路	EM-AE	1.2-2C (PF16)	
"	"	1.2-2C (PF16)x2	
"	"	1.2-4C (PF16)	
"	"	1.2-4C (E19)	
"	EM-AE	1.2-2C (CP19)既設配管に入線	
防火扉回路	HP	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)	
"	HP	" " 1.2-3Pr (PF16)	
"	HP	" " 1.2-5Pr (PF22)	
"	HP	" " 1.2-10Pr (PF22)	
"	HP	" " 1.2-2C (PF16)既設配管に入線	
"	HP	" " 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線	
"	HP	" " 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線	
消火栓P起動回路	600V FP	2"-6C (PF28)	
"	E25	2"-6C (E25) 既設配管に入線	
"	FEP	2"-6C (FEP30)既設配管に入線	
ガス漏れ検知回路	EM-AE	1.2-4C (PF16)	

- 特記事項 (既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

既設改修
2階平面図-1 1/100

A 既設配管に入線 EM-HP 1.2-3Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	E 既設配管に入線 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	インベイ配管	H 既設のまま HP 1.2-2C (PF16) 火災番号 (EV)	インベイ配管
B 既設配管に入線 EM-HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	F 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線 FP 2'-6C (PF26) 消火栓P起動回路	インベイ配管		
C 新設 EM-HP 1.2-3Pr (PF16) 防火戸幹線	インベイ配管				
D 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管	G 新設 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)		

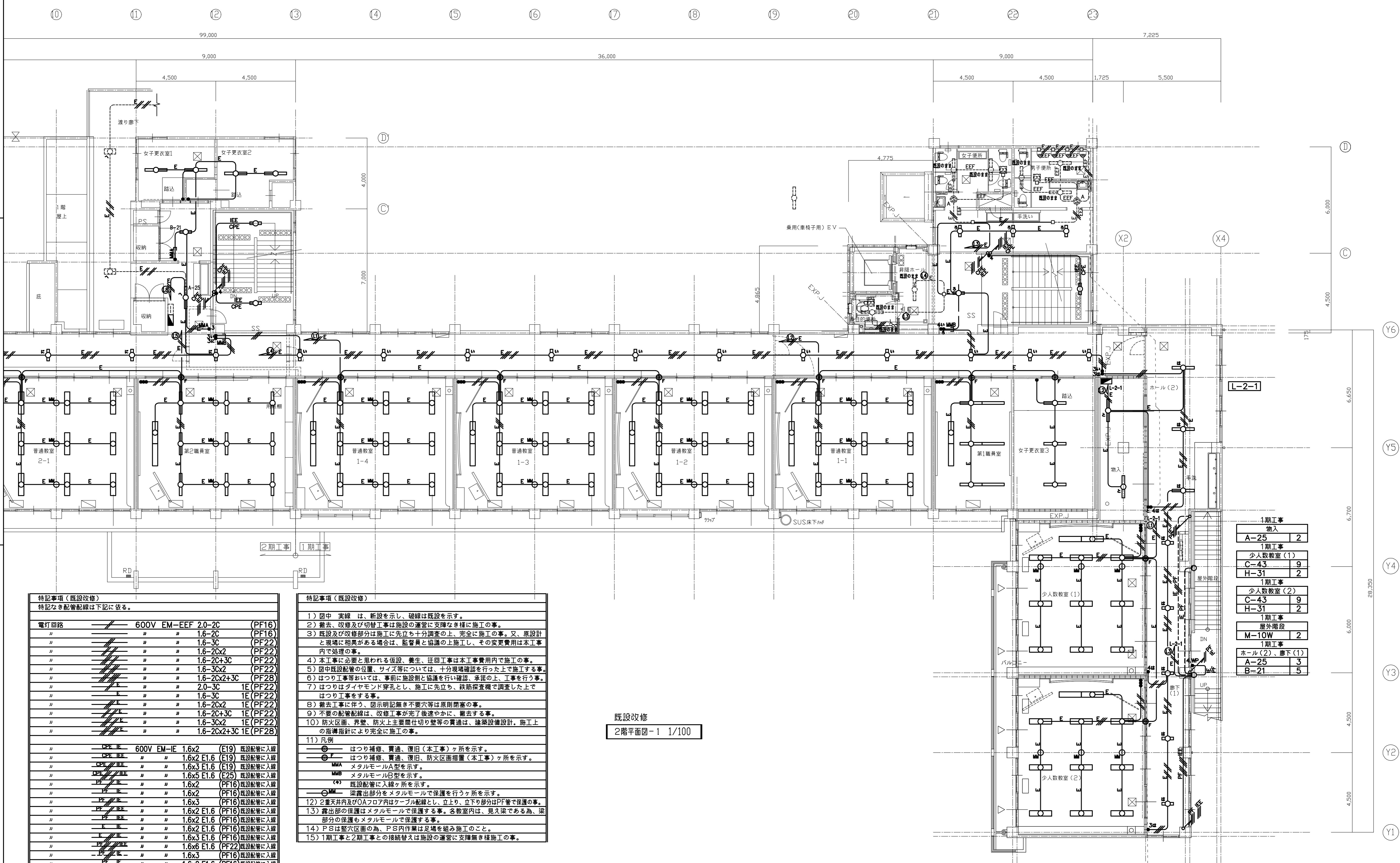


既設改修
2階平面図-2 1/100

特記事項 (既設改修) 特記なき配管配線は下記に依る。		
感知器回路		EM-AE 1.2-2C (PF16)
"		" 1.2-2C (PF16)x2
"		" 1.2-4C (PF16)
"		" 1.2-4C (E19)
"		EM-AE 1.2-2C (CP19)既設配管に入線
防火扉回路		HP 600V EM-HP 1.2-2C (PF16)
"		" " 1.2-3Pr (PF16)
"		" " 1.2-5Pr (PF22)
"		" " 1.2-10Pr (PF22)
"		" " 1.2-2C (PF16)既設配管に入線
"		" " 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線
"		" " 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線
消火栓P 起動回路		600V FP 2'-6C (PF28)
"		" " 2'-6C (E25) 既設配管に入線
"		" " 2'-6C (FEP30)既設配管に入線
ガス漏れ検知回路		EM-AE 1.2-4C (PF16)

- 特記事項 (既設改修)
- 1) 箇中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 箇中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇盤、防火上主要箇所切り替等の費用は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びO/Aフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
 - 14) P/Sは堅穴区画の為、P/S内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

1期工事 普通教室1-3 C-43 9 H-31 2	1期工事 普通教室1-1 C-43 9 H-31 2	1期工事 女子更衣室3 A-43 3	1期工事 廊下、手洗い B-21 15	1期工事 階段(東) B-21 1
1期工事 普通教室1-4 C-43 9 H-31 2	1期工事 普通教室1-2 C-43 9 H-31 2	1期工事 第1職員室 A-43 6 H-31 2		



特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

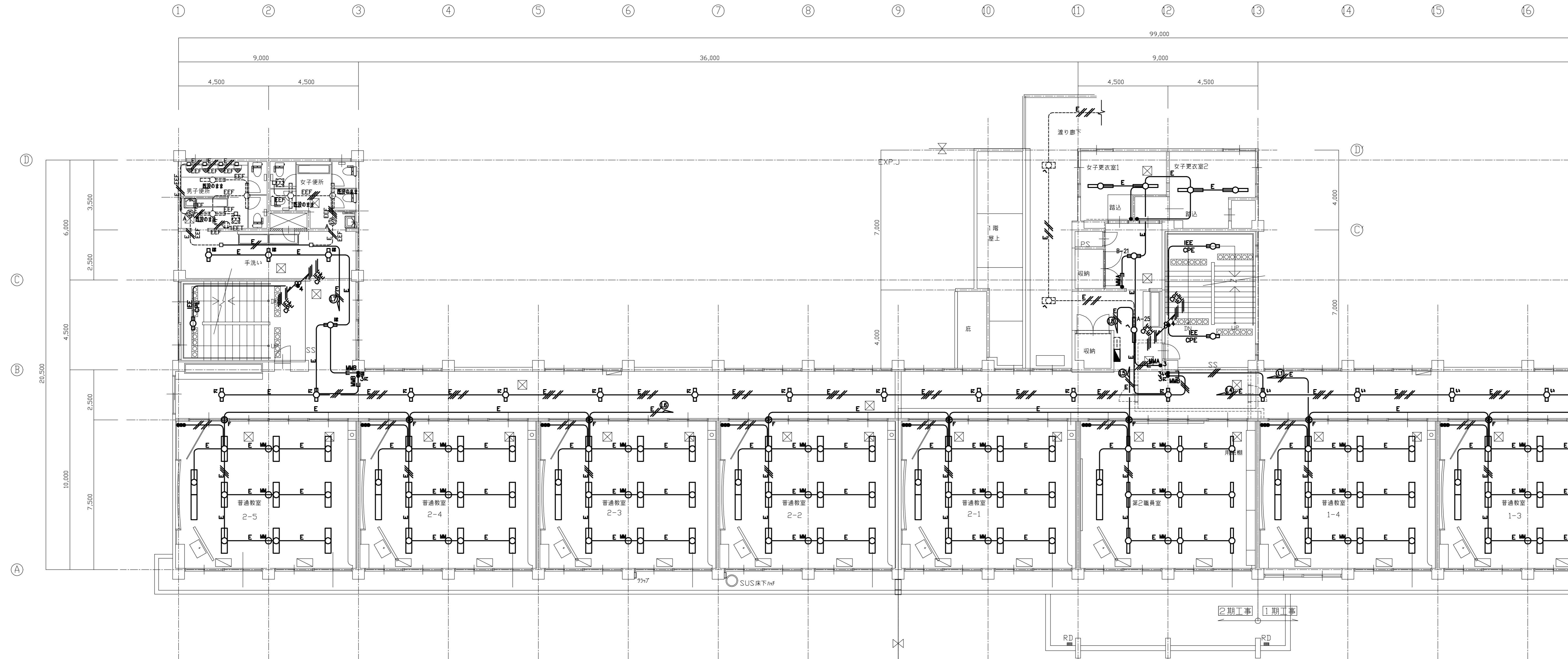
電灯回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
〃	〃	1.6-2C (PF16)
〃	〃	1.6-3C (PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2 (PF22)
〃	〃	1.6-2C+3C (PF22)
〃	〃	1.6-3Cx2 (PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2+3C (PF28)
〃	〃	2.0-3C 1E (PF22)
〃	〃	1.6-3C 1E (PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2 1E (PF22)
〃	〃	1.6-2C+3C 1E (PF22)
〃	〃	1.6-3Cx2 1E (PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2+3C 1E (PF28)
〃	CPE IE 600V EM-IE 1.6x2	(E19) 既設配管に入線
〃	CPE IE 〃	1.6x2 E1.6 (E19) 既設配管に入線
〃	CPE IE 〃	1.6x3 E1.6 (E19) 既設配管に入線
〃	CPE IE 〃	1.6x5 E1.6 (E25) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x2 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x2 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x3 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x3 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x6 E1.6 (PF22) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x3 (PF16) 既設配管に入線
〃	PF IE 〃	1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - △ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MMA メタルモールA型を示す。
 - MMB メタルモールB型を示す。
 - (*) 既設配管に入線ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。

既設改修
2階平面図-1 1/100

1期工事 物入	A-25	2
1期工事 少人数教室(1)	C-43	9
1期工事 少人数教室(2)	H-31	2
1期工事 廊下	C-43	9
1期工事 廊下	H-31	2
1期工事 屋外階段	M-10W	2
1期工事 ホール(2)、廊下(1)	A-25	3
	B-21	5

2期工事 廊下、手洗い		2期工事 普通教室2-4		2期工事 普通教室2-2		2期工事 普通教室2-1		2期工事 階段(中央)		2期工事 女子更衣室1	
A-25	1	C-43	9	C-43	9	C-43	9	B-21	1	A-43	2
B-21	16	H-31	2	H-31	2	H-31	2			2期工事 女子更衣室2	
2期工事 階段(西)		2期工事 普通教室2-5		2期工事 普通教室2-3		2期工事 第2職員室				A-43	
B-21	1	C-43	9	C-43	9	A-43	9			2	
		H-31	2	H-31	2	H-31	2				

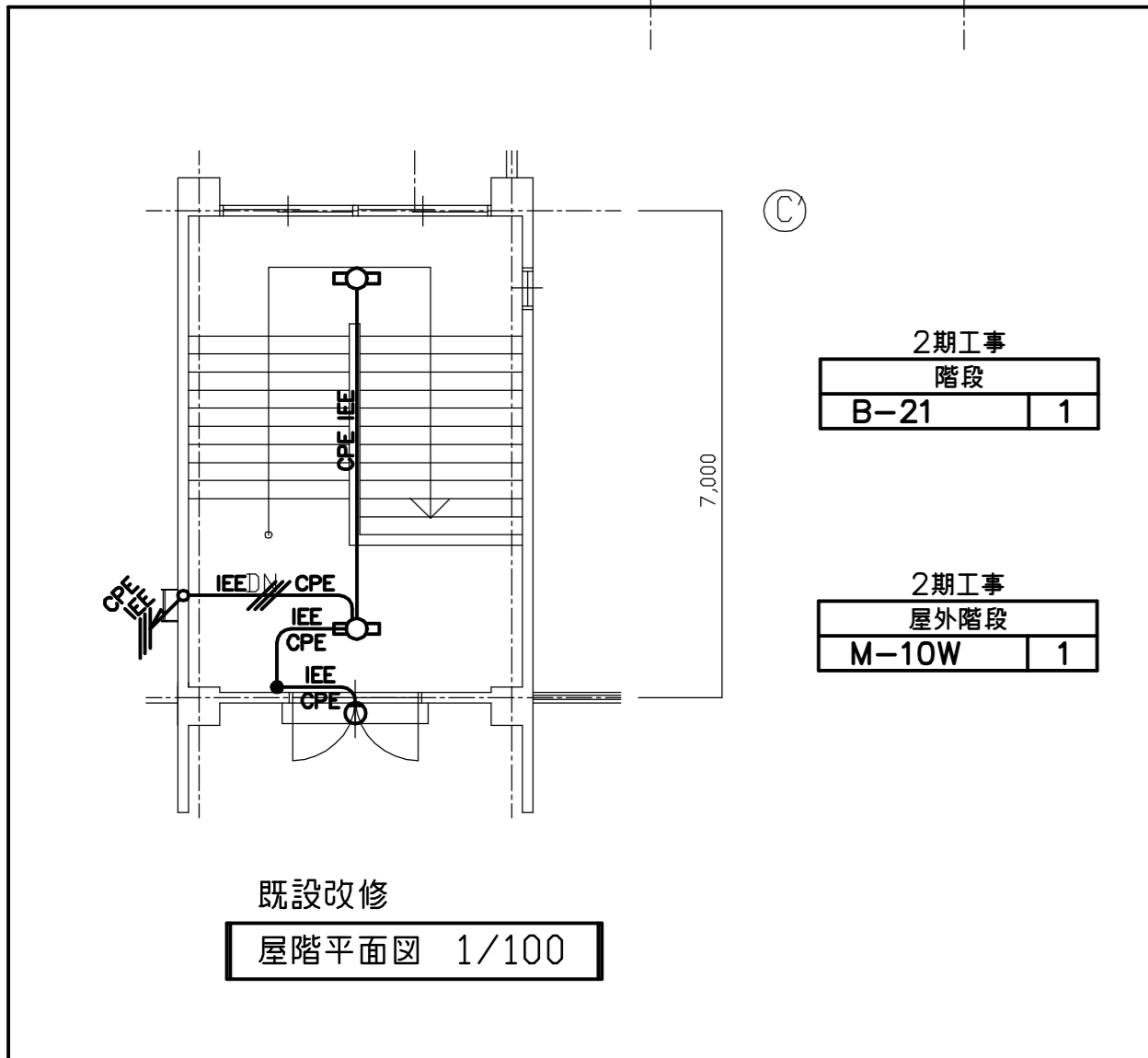
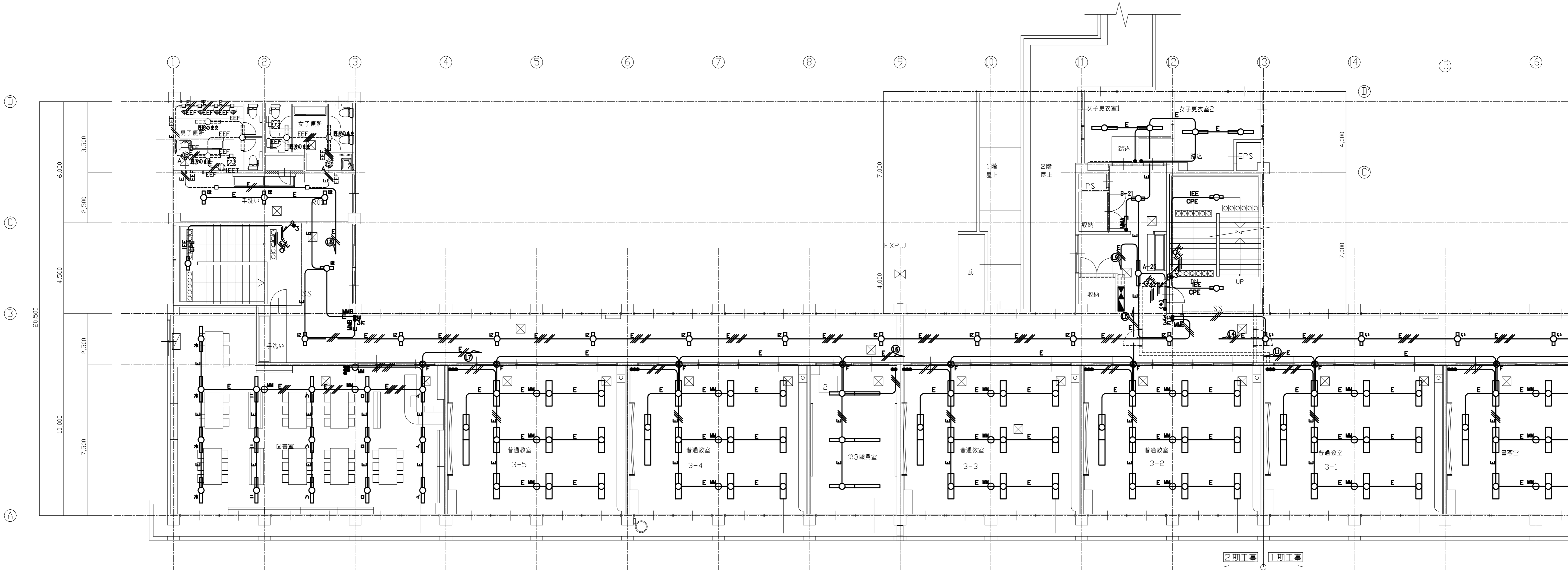


既設改修
2階平面図-2 1/100

特記事項(既設改修)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	600V EM-EEF 2.0-2C	(PF16)	
"	" " 1.6-2C	(PF16)	
"	" " 1.6-3C	(PF22)	
"	" " 1.6-2Cx2	(PF22)	
"	" " 1.6-2C+3C	(PF22)	
"	" " 1.6-3Cx2	(PF22)	
"	" " 1.6-2Cx2+3C	(PF28)	
"	" " 2.0-3C 1E	(PF22)	
"	" " 1.6-3C 1E	(PF22)	
"	" " 1.6-2Cx2 1E	(PF22)	
"	" " 1.6-2C+3C 1E	(PF22)	
"	" " 1.6-3Cx2 1E	(PF22)	
"	" " 1.6-2Cx2+3C 1E	(PF28)	
"	CPE IE 600V EM-IE 1.6x2	(E19)	既設配管に入線
"	CPE IE " " 1.6x2 E1.6	(E19)	既設配管に入線
"	CPE IE " " 1.6x3 E1.6	(E19)	既設配管に入線
"	CPE IE " " 1.6x5 E1.6	(E25)	既設配管に入線
"	IE IE " " 1.6x2	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x2	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x3	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x2 E1.6	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x2 E1.6	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x2 E1.6	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x6 E1.6	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x3	(PF16)	既設配管に入線
"	PF IE " " 1.6x2 E1.6	(PF16)	既設配管に入線

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をすする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MMA メタルモールA型を示す。
 - MMB メタルモールB型を示す。
 - (*) 既設配管に入線ヶ所を示す。
 - 梁露出部分にメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。

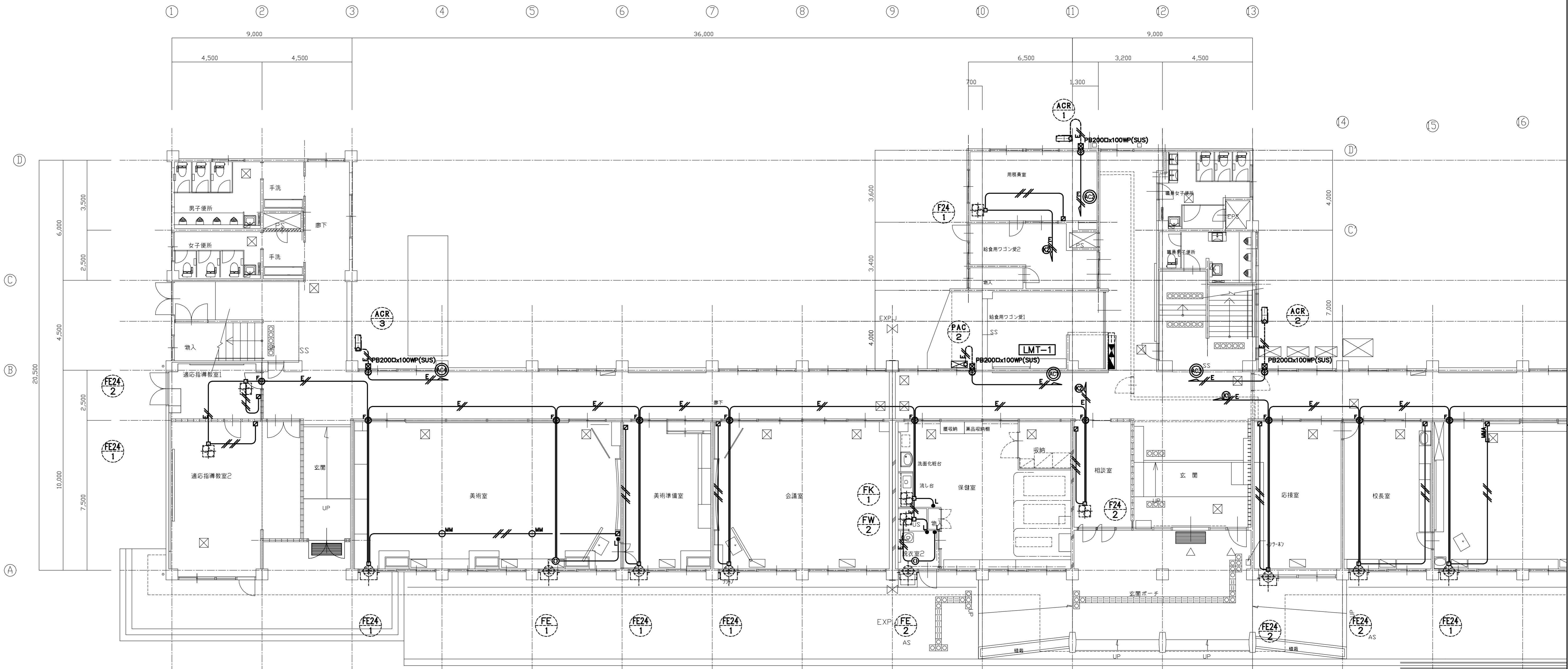
2期工事		2期工事		2期工事		2期工事		2期工事		2期工事	
廊下、手洗い	図書室	普通教室3-4	第3職員室	普通教室3-2	女子更衣室1	階段(中央)					
A-25 1 B-21 15	A-43 16	C-43 9 H-31 2	A-43 6	C-43 9 H-31 2	A-43 2	B-21 1					
2期工事		2期工事		2期工事		2期工事					
階段(西)		普通教室3-5		普通教室3-3		女子更衣室2					
B-21 1		C-43 9 H-31 2		C-43 9 H-31 2		A-43 2					



既設改修
3階平面図-2 1/100

特記事項(既設改修)	特記なき配管配線は下記に依る。
電灯回路	600V EM-EEF 2.0-2C (PF16)
"	" " 1.6-2C (PF16)
"	" " 1.6-3C (PF22)
"	" " 1.6-2Cx2 (PF22)
"	" " 1.6-2Cx3C (PF22)
"	" " 1.6-3Cx2 (PF22)
"	" " 1.6-2Cx2+3C (PF28)
"	" " 2.0-3C 1E (PF22)
"	" " 1.6-3C 1E (PF22)
"	" " 1.6-2Cx2 1E (PF22)
"	" " 1.6-2Cx3C 1E (PF22)
"	" " 1.6-3Cx2 1E (PF22)
"	" " 1.6-2Cx2+3C 1E (PF28)
"	CPE-IE 600V EM-IE 1.6x2 (E19) 既設配管に入線
"	CPE-IEE " " 1.6x2 E1.6 (E19) 既設配管に入線
"	CPE-IE " " 1.6x3 E1.6 (E19) 既設配管に入線
"	CPE-IEE " " 1.6x5 E1.6 (E25) 既設配管に入線
"	IE-IE " " 1.6x2 (PF16) 既設配管に入線
"	PF-IE " " 1.6x2 (PF16) 既設配管に入線
"	PF-IEE " " 1.6x3 (PF16) 既設配管に入線
"	PF-IEE " " 1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
"	PF-IEE " " 1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
"	PF-IEE " " 1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
"	E-IE " " 1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
"	E-IEE " " 1.6x3 E1.6 (PF16) 既設配管に入線
"	E-IEE " " 1.6x6 E1.6 (PF22) 既設配管に入線
"	IE-IEE " " 1.6x3 (PF16) 既設配管に入線
"	IE-IEE " " 1.6x2 E1.6 (PF16) 既設配管に入線

- | 特記事項(既設改修) |
|--|
| 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。 |
| 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 |
| 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事で処理の事。 |
| 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 |
| 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 |
| 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 |
| 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で はつり工事を施工する事。 |
| 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。 |
| 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 |
| 10) 防火区画、境界、防火上主要開口切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 |
| 11) 凡例 |
| ① はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。 |
| ② はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。 |
| MMA 金属モールA型を示す。 |
| MMB 金属モールB型を示す。 |
| (*) 既設配管に入線ヶ所を示す。 |
| MM 梁露出部分を金属モールで保護を行うヶ所を示す。 |
| 12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。 |
| 13) 露出部の保護は金属モールで保護する事。各教室室内は、見立梁である為、梁部分の保護も金属モールで保護する事。 |
| 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。 |
| 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。 |

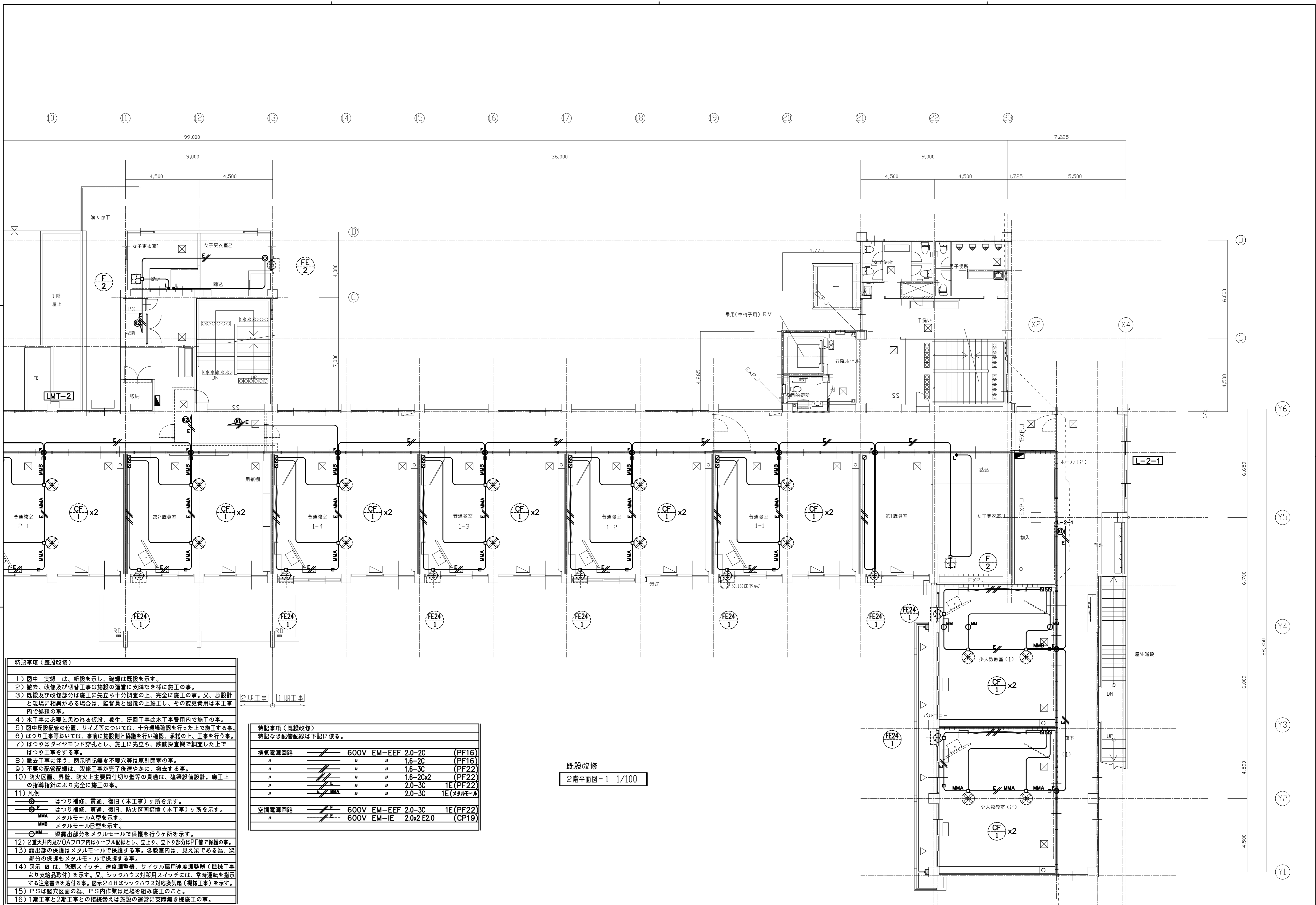


既設改修
1階平面図-2 1/100

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MMA マタルモールドA型を示す。
 - MMB マタルモールドB型を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
 - 14) 図示 □ は、強弱スイッチ、速度調整器、サイクル扇用速度調整器(機械工事より支給品取付)を示す。又、シックハウス対策用スイッチには、常時運転を指示する注意書きを貼付する事。図示△はシックハウス対策用スイッチ(機械工事)を示す。
 - 15) P/Sは壁穴区画の為、P/S内作業は足場を組み施工の事。
 - 16) 1期工事と2期工事との接続は施設の運営に支障なき様に施工の事。

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

換気電源回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
"	"	1.6-2C (PF16)
"	"	1.6-3C (PF22)
"	"	1.6-2Cx2 (PF22)
"	"	2.0-3C 1E (PF22)
"	"	2.0-3C 1E (メタルモールド)
空調電源回路	600V EM-EFF 2.0-3C	1E (PF22)
"	600V EM-IE	2.0x2 E2.0 (CP19)



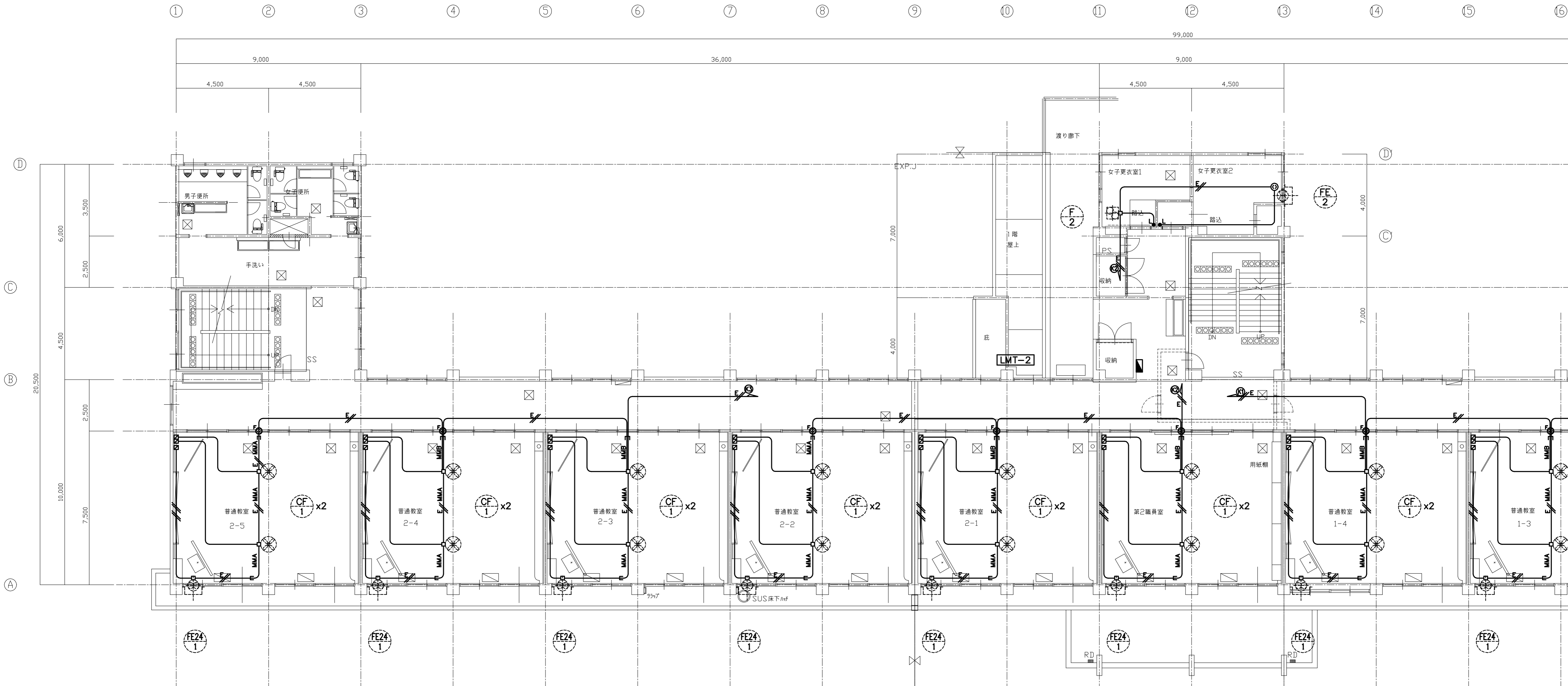
- 特記事項（既設改修）**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、明示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - MMA メタルモールA型を示す。
 - MMB メタルモールB型を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) 図示 □ は、強弱スイッチ、速度調整器、サイクル扇用速度調整器（機械工事より支給品取付）を示す。又、シックハウス対策用スイッチには、常時運転を指示する注意書きを貼付する事。図示24Hはシックハウス対応換気扇（機械工事）を示す。
 - 15) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 16) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。

特記事項（既設改修）

特記なき配管配線は下記に依る。

換気電源回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
"	" " 1.6-2C	(PF16)
"	" " 1.6-3C	(PF22)
"	" " 1.6-2Cx2	(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(メタルモール)
空調電源回路	600V EM-EFF 2.0-3C	1E(PF22)
"	600V EM-IE 2.0x2 E2.0	(CP19)

既設改修
2階平面図-1 1/100

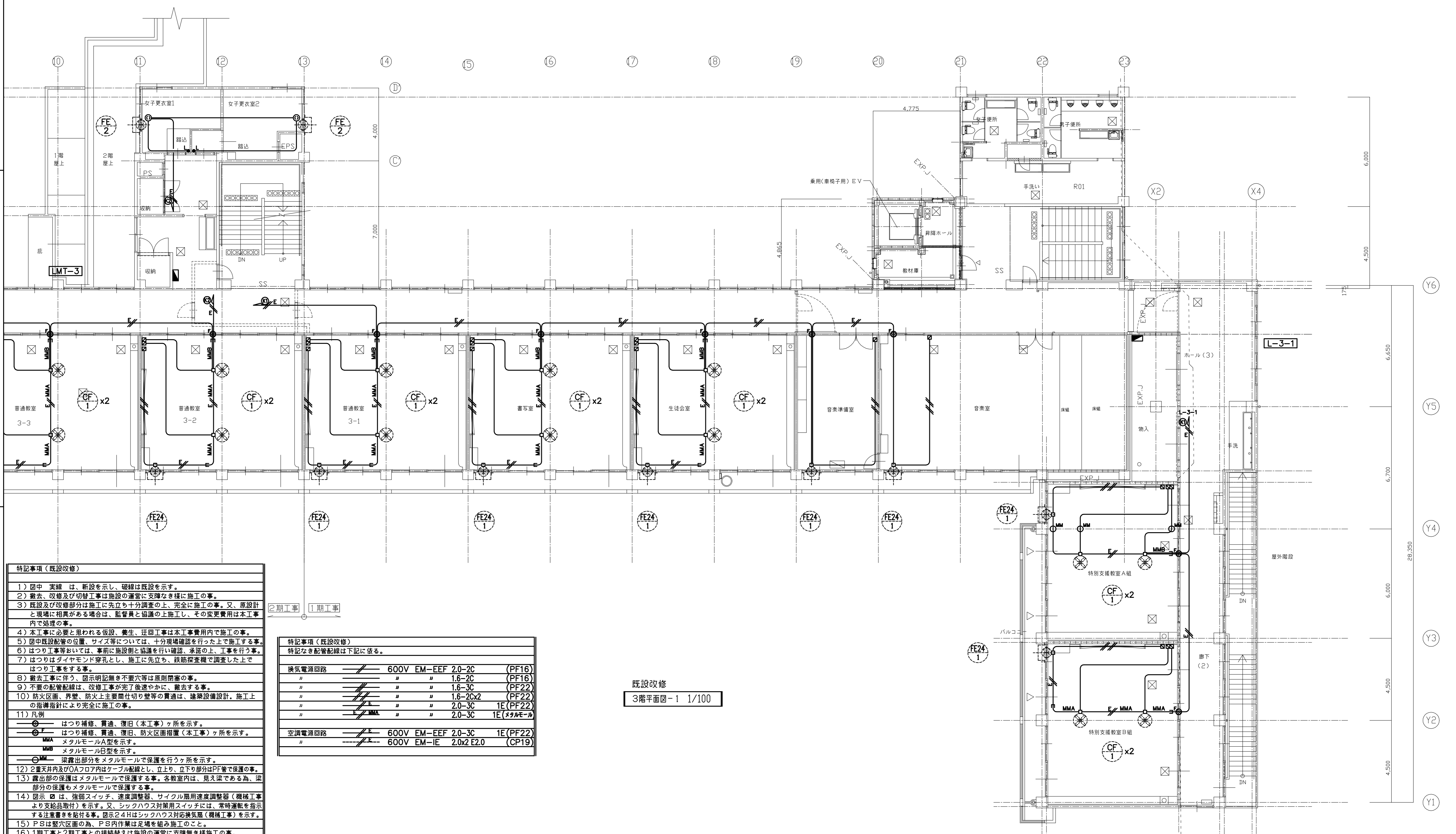


既設改修
2階平面図-2 1/100

- 特記事項(既設改修)**
- 1) 图中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 图中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MMA メタルモールA型を示す。
 - MMB メタルモールB型を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室室内は、見栄梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) 図示 □ は、強弱スイッチ、速度調整器、サイクル扇用速度調整器(機械工事より支給品取付)を示す。又、シックハウス対策用スイッチには、常時運転を指示する注意書きを貼付する事。図示△はシックハウス対策用速度調整器(機械工事)を示す。
 - 15) PSは壁穴区画の為、P内作業は足場を組み施工のこと。
 - 16) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

換気電源回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
"	"	1.6-2C (PF16)
"	"	1.6-3C (PF22)
"	"	1.6-2Cx2 (PF22)
"	"	2.0-3C 1E (PF22)
"	"	2.0-3C 1E (メタルモール)
空調電源回路	600V EM-EFF 2.0-3C	1E (PF22)
"	600V EM-IE 2.0x2 E2.0	(CP19)

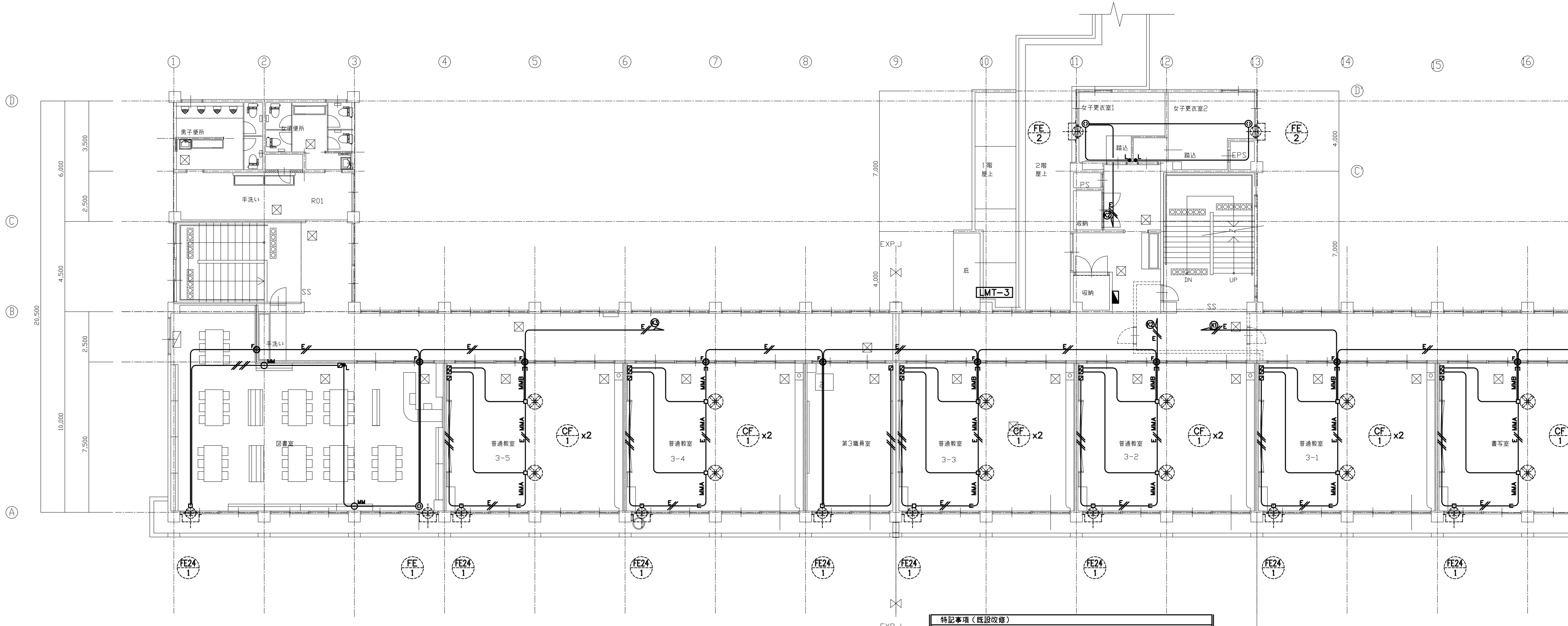


- 特記事項（既設改修）**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - MMA メタルモールA型を示す。
 - MMB メタルモールB型を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) 図示 □ は、強弱スイッチ、速度調整器、サイクル扇用速度調整器（機械工事より支給品取付）を示す。又、シックハウス対策用スイッチには、常時運転を指示する注意書きを貼付する事。図示24Hはシックハウス対応換気扇（機械工事）を示す。
 - 15) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 16) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。

特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。

換気電源回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
"	" " 1.6-2C	(PF16)
"	" " 1.6-3C	(PF22)
"	" " 1.6-2Cx2	(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(メタルモール)
空調電源回路	600V EM-EFF 2.0-3C	1E(PF22)
"	600V EM-IE 2.0x2 E2.0	(CP19)

既設改修
3階平面図-1 1/100



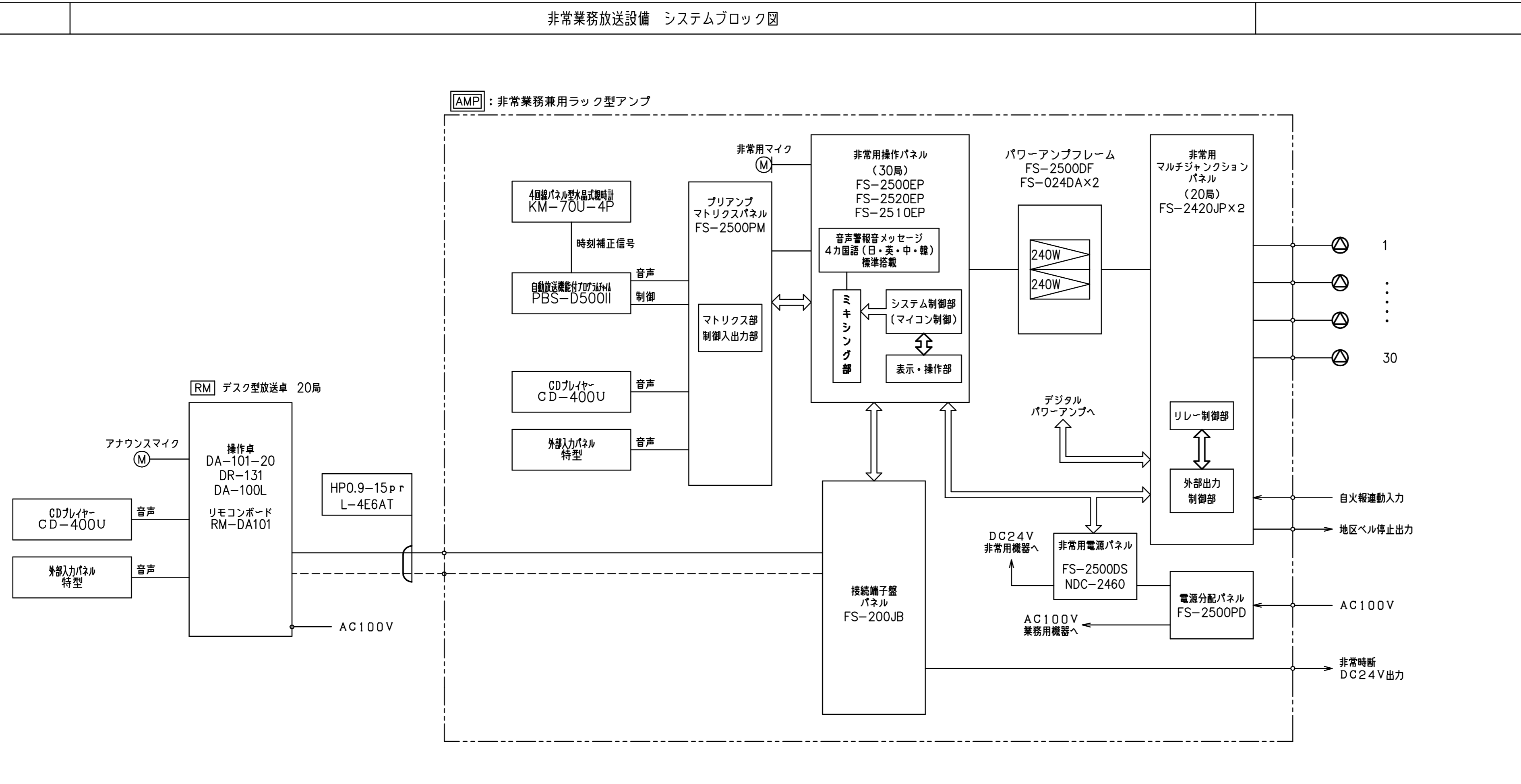
既設改修
3階平面図-2 1/100

- 特記事項(既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - MMA マタルモールドA型を示す。
 - MMB マタルモールドB型を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
 - 14) 図示 □ は、強弱スイッチ、速度調整器、サイクル扇用速度調整器(機械工事より支給品取付)を示す。又、シックハウス対策用スイッチには、常時運転を指示する注意書きを貼付する事。図示△はシックハウス対策用スイッチ(機械工事)を示す。
 - 15) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のごと。
 - 16) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

換気電源回路	600V EM-EFF 2.0-2C	(PF16)
"	" " 1.6-2C	(PF16)
"	" " 1.6-3C	(PF22)
"	" " 1.6-2Cx2	(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(PF22)
"	" " 2.0-3C	1E(メタルモールド)
空調電源回路	600V EM-EFF 2.0-3C	1E(PF22)
"	600V EM-IE 2.0x2 E2.0	(CP19)

非常業務放送設備 システムブロック図



天井埋込型スピーカー	CM-2330A+CP-233A	アッテネーター	AT-063A
天井埋込型スピーカー ATT付	CM-2330AT+CP-233A	ホーンスピーカー	SC-710AM

天井埋込型スピーカー	BS-34	木製壁掛型スピーカー	BS-34
天井埋込型スピーカー ATT付	BS-34T	木製壁掛型スピーカー ATT付	BS-34T

規格	定格入力 3W(3.3kΩ), 1W(10kΩ) 出力音圧レベル 95dB(1W, 1m) 周波数特性 90Hz~15kHz スピーカー 16cmコーン型 仕上 枠:樹脂 オフホワイト ネット:アルミエキスパンド オフホワイト その他 防塵カバー一体型、音量調節5段階
----	--

規格	定格入力 10W(1kΩ), 5W(2kΩ), 3W(3.3kΩ), 1W(10kΩ) 出力音圧レベル 108dB(1W, 1m) 周波数特性 350Hz~10kHz その他 防塵・防水性能:IP65 ホーン色:オフホワイト
----	--

非常業務兼用ラック型アンプ

デスク型放送卓 20局

*総合盤組込

No.	名称	品番
1	キャビネットラック	CR-413
2	通気パネル 2U	PF-023B
3	4回線パネル型水晶式時計	KM-70U-4P
4	ブラックパネル 1U	BK-013B
5	プリアンプマトリクスパネル	FS-2500PM
6	非常用操作パネル	FS-2500EP
7	非常用増設操作パネル 20局	FS-2520EP
8	非常用増設操作パネル 10局	FS-2510EP
9	自動放送機能付アナログ型	PBS-D500II
10	ブラックパネル 2U	BK-023B
11	CDプレイヤー	CD-400U
12	外部入力パネル	特型
13	通気パネル 1U	PF-013B
14	非常用電源パネル	FS-2500DS
15	ニカド電池24V 6000mAh/5HR	NDC-2460
16	パワーアンプフレーム	FS-2500DF
17	デジタルパワーアンプモジュール 240W X2	FS-024DA X2
18	接続端子盤パネル	FS-200JB
19	非常用マルチジャンクションパネル 20局	FS-2420JP
20	電源分配パネル	FS-2500PD

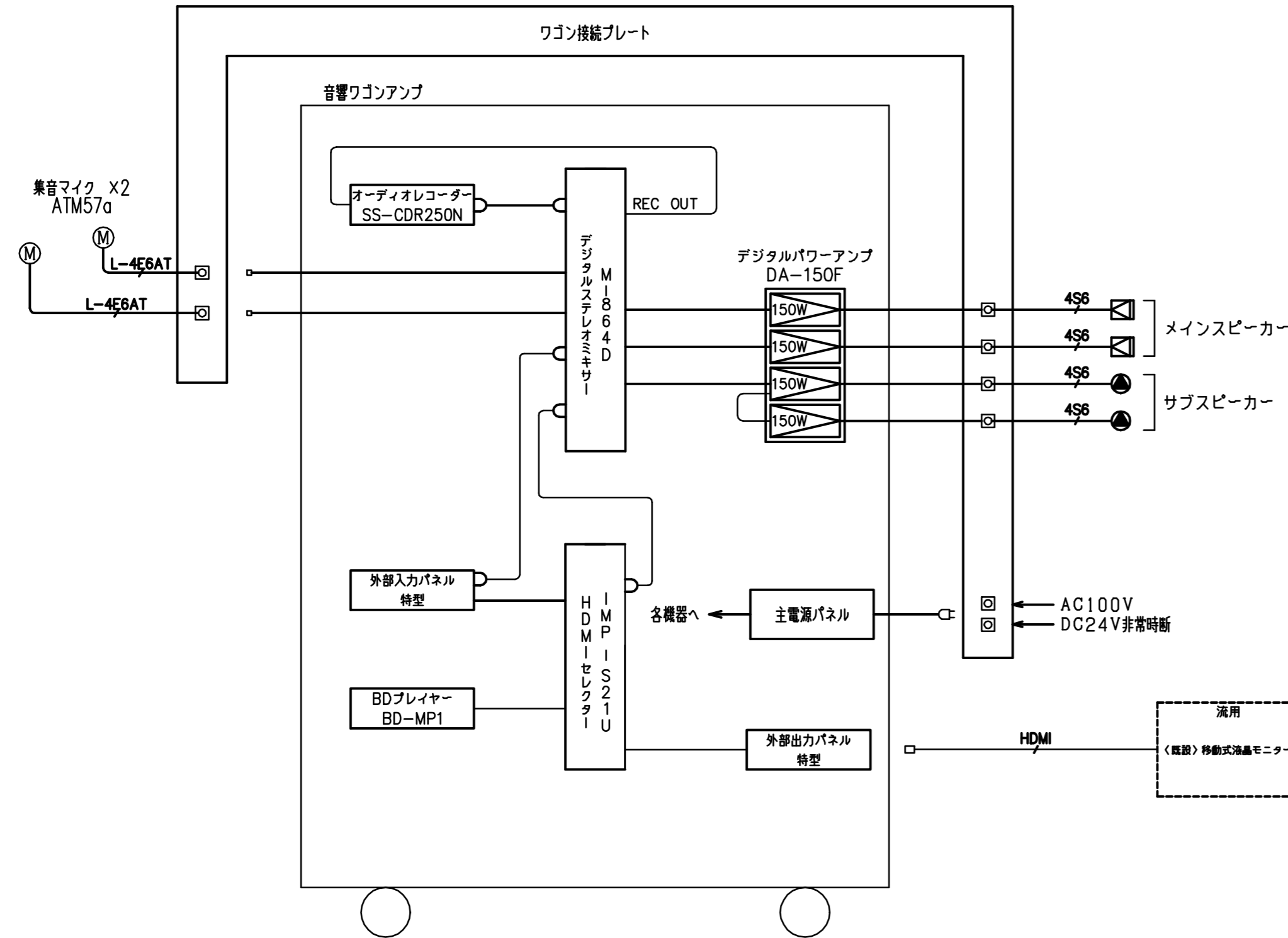
*放送室設置

No.	名称	品番
1	デスク型放送卓	DA-101-20
2	デスク用脚	DR-131
3	デスク型放送卓用脚	DA-100L
4	操作卓用リモコンボード	RM-DA101
5	ブラックパネル 2U	BK-023B
6	ブラックパネル 3U	BK-033B
7	CDプレイヤー	CD-400U

規格	常用電源 AC100V 50/60Hz 非常電源 DC24V (ニカド蓄電池) 定格出力 240W X2, 120W 音声入力 8入力+外部放送入力 出力制御 非常・業務とも20局+一斉 (一斉は緊急・通常の2モード選定式) 非常警報音 音声合成音(第1シグナル、第2シグナル、感知器発報放送、火災放送、非火災放送) 出火階情報 81種類標準搭載 フロントマイク ※上記以外の階情報メッセージは特注対応可能 単一指向性ダイナミック型 機能 非常業務兼用、音量調節可能(業務放送時のみ) 自動放送機能付アナログ型、液晶表示(放送手順、動作設定表示、異常表示、動作履歴、タイマー移行時間表示等) リモコン 接点による内部時計調整機能 非常用(業務兼用) 最大16台接続可(システム拡張時) 業務用 最大20台接続可(システム拡張時) 非常時電源 2系統 DC24V 各250mA (非常時に電源供給断) 制御入力 緊急地震放送: 1系統、外部放送: 1系統 (緊急地震放送系統は停電時ニカド電池により動作可能) 制御出力 非常接続出力: 1系統、外部モニター: 1系統 制御出力: 12系統(任意の放送状態、階選択スイッチ操作を設定可能) 点検機能 点検モード時、非常時DC24V遮断なし、音声出力なしで動作チェックが可能 自動放送機能付プログラムタイム 時刻調整 NTPサーバー、手動、接点・有極信号入力 時計精度 月差±5秒以内(20℃) 録音可能数 タイム15ch/メッセージ99ch 録音時間 約60分(録音方式による) CDプレイヤー 対応メディア CD、CD-R、CD-RW、WSDカード、SDHCカード Bluetooth パーシオン 4.2 / CLASS 2 4回線パネル型水晶式時計 精度 過差±0.7秒以内 / 0°~40° 停電時電源 内蔵密閉型ニッケル水素蓄電池 / 約30時間 時刻修正機能 地デジコントロール装置 受信周波数範囲 470~770MHz(13ch~62ch/UHF帯) 外部入力パネル 入力 RCA X2 / 100V対応
----	---

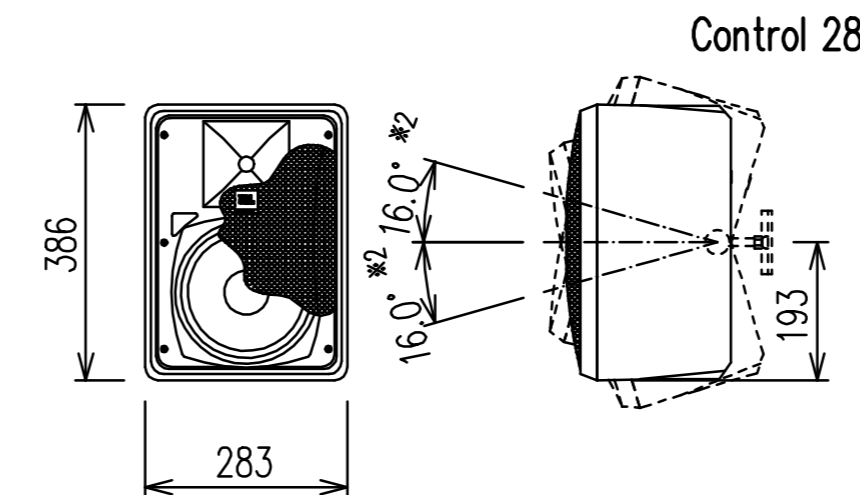
規格	電源 リモコンボード: DC24V デスク操作卓: AC100V 50/60Hz 制御出力 個別1~20、一斉、無電圧マイク接続 制御入力 リモコン、放送中 ねじなし端子台 CDプレイヤー 対応メディア CD、CD-R、CD-RW SDカード、SDHCカード USBメモリー Bluetooth パーシオン 4.2 CLASS 2 外部入力パネル 入力 RCA X2 / 100V対応
----	---

音楽室音響設備 システムブロック図



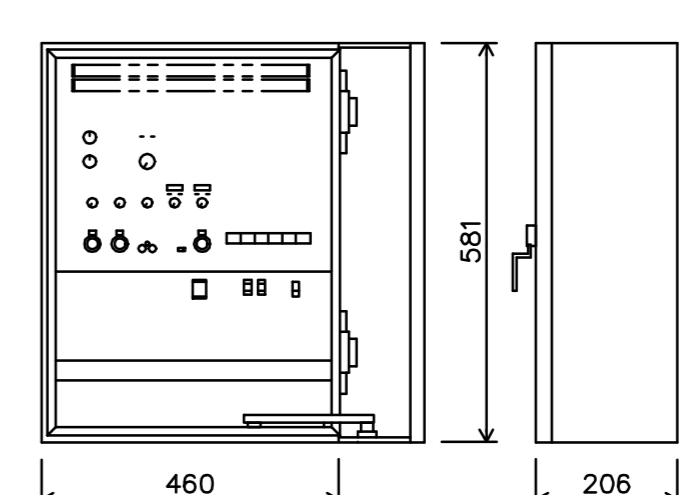
*モニター接続用HDMIケーブルは学校と協議の上、納品

メインスピーカー



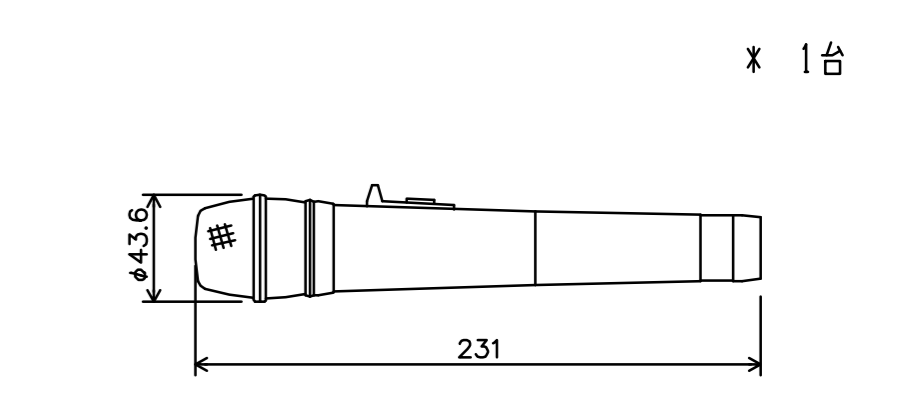
連続プログラム入力	240W/120W
出力音圧レベル	91dB
周波数特性	45Hz~20kHz
ドライバー構成	LF8インチ(203mm) / HF1インチ(25mm)
インピーダンス	8Ω
寸法(W×H×D)	283×386×230mm(除突起部)
その他	天井取付 参考金具：MTC-28UB-1

AMP VP グランド用屋外用アンプ



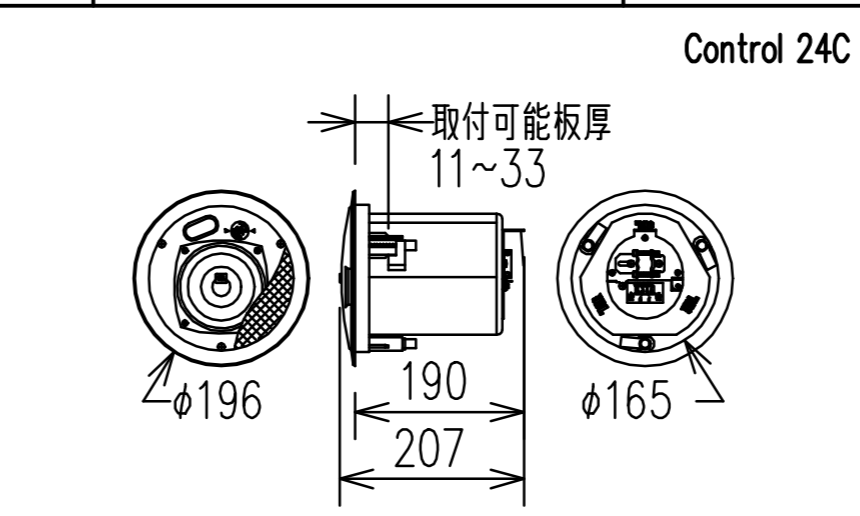
電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	120W
入力	マイク×2、ライン×2、他
出力特性	5局+齊
その他	ステンレスケース収納、ブレーカー内蔵 ダイバシティーワイヤレスチューナー2波実装済 ポール取付

ワイヤレスマイク ハンド型



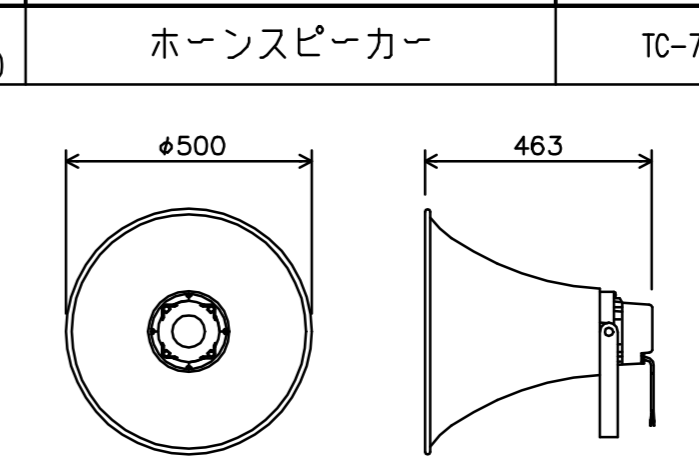
送信周波数	800MHz帯(30波のうち1波スイッチ切替)
発振方式	PLLシンセサイザー方式
使用マイク	単一指向特性エレクトレットコンデンサー型

サブスピーカー



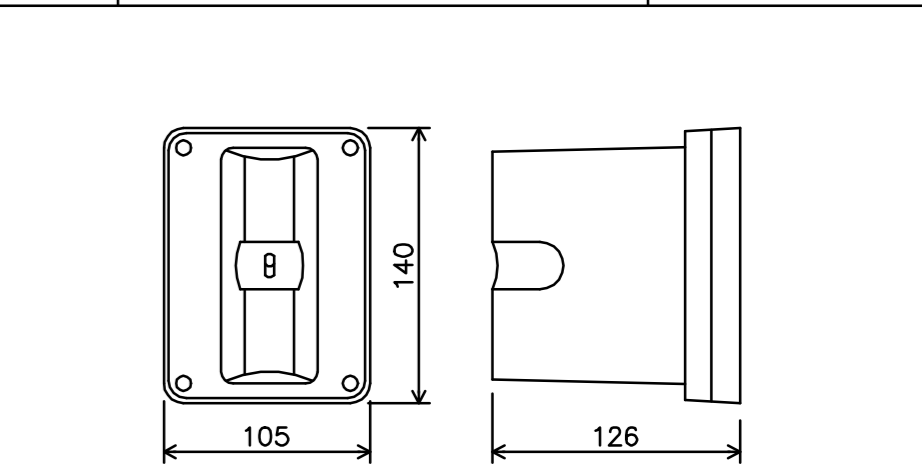
周波数レンジ	80Hz~20kHz
連続プログラム入力	80W/40W(8Ω)
最大音圧レベル	86dB SPL
ドライバー構成	LF:100mm / HF:19mm
寸法(φ×H)	196×207mm : 開口寸法 φ170mm
質量	2.7kg
その他	サポート金具共

ホーンスピーカー



定格入力	30W(330Ω), 15W(670Ω), 10W(1kΩ), 5W(2kΩ)
出力音圧レベル	112dB(1W, 1m)
周波数特性	200Hz~6kHz
その他	防水性能: IP65 ホーン色: オフホワイト

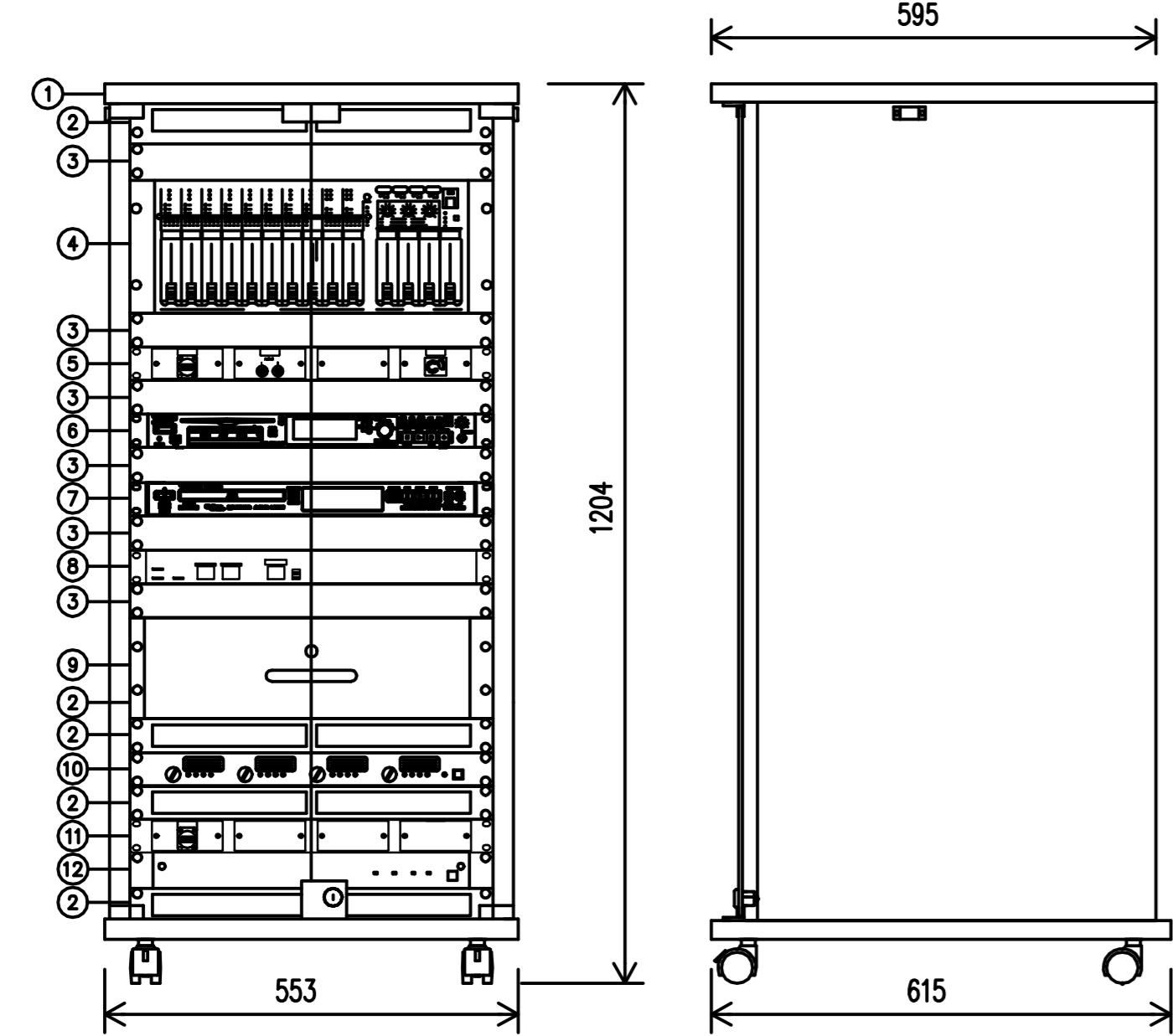
壁取付用ワイヤレスアンテナ



電源	DC7~12V(本体より供給)
消費電流	15mA(9V時)
受信周波数	800MHz帯
ダイポール比相対利得	約+8dB
アッテネーター	0, -10, -20dB
その他	防水性能: IPX2 *屋外用ブラボックスに収納する

音響ワゴンアンプ

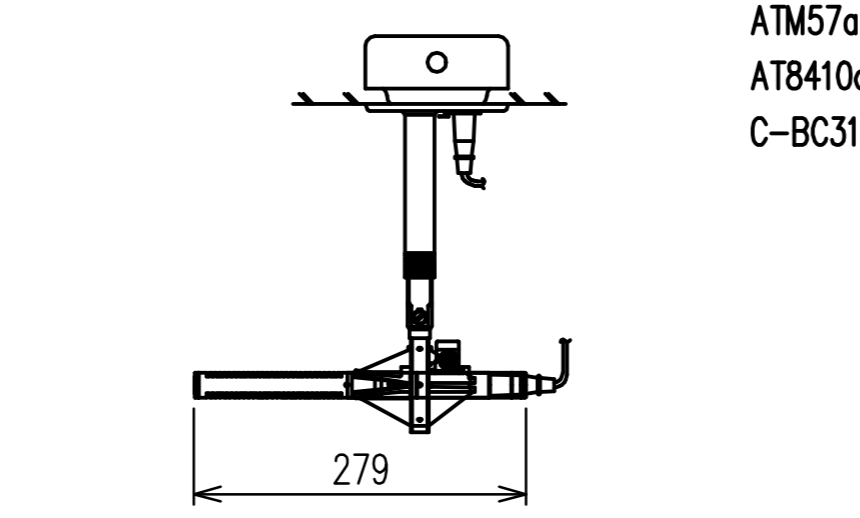
No.	名称	品番
1	木製ラック	WR-024EB
2	通気パネル 1U	PF-013B
3	ブランクパネル 1U	BK-013B
4	デジタルステレオミキサー	M-864D
5	外部入力パネル	特型
6	リット/スト/CD/DVDプレーヤー	SS-CDR250N
7	DVD/BDプレーヤー	DB-MP1
8	2入力1出力HDMI切替器	IMP-S21U
9	引出パネル 3U	WR-310DP
10	パワーアンプ	DA-150F
11	外部出力パネル	特型
12	主電源パネル	PD-1130



*ワゴン~接続パネル間の配線長さは学校と協議する事

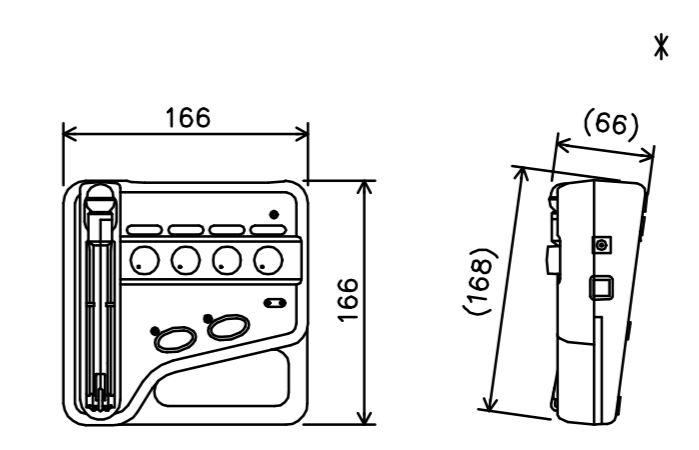
木製ラック	
寸法	553(W)×1204(H)×615(D)
仕上	表面: コート紙 / ガラス: 透明強化ガラス
デジタルステレオミキサー	
入力	モノラル: 8系統 脱着ターミナルブロック ファンタム電源(DC24V 10mA) ステレオ入力: 7系統
出力	4系統 電子バランス 脱着ターミナルブロック
REC OUT	
周波数特性	20Hz~20kHz ±1dB以内
機能	入力PAD制御、ローカット制御、フロントパネルロック機能
アナログ出力アッテネーター他	
寸法	482.6(W)×177.1(H)×157.2(D)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	30W
外部入力パネル	
入力	HDMI×1 / RCA×2 / 電源100V20A×1
リット/スト/CD/DVDプレーヤー	
記録メディア	SDカード、SDHCカード、SDXCカード、USBメモリ CD-R、CD-RW、DA、CD-RW、CD-DA
録音再生ファイル	MP3 / WAV / CD-DA
周波数特性	20Hz~20kHz / 20Hz~40kHz
ダイナミックレンジ	106dB
電源	AC100V
DVD/BDプレーヤー	
電源	AC100V
対応メディア	Blu-ray、DVD、CD
出力定格	HDMI出力、デジタルオーディオ出力、アナログオーディオ出力
オーディオ特性	周波数特性: 20Hz~20kHz ダイナミックレンジ: 96dB
2入力1出力HDMI切替器	
入力	HDMI×2
出力	HDMI×1 / AUDIO OUT×1
特性	HDCP対応、入力チャンネル自動切替機能搭載 音声ディエンベッド機能
パワーアンプ	
増幅方式	D級増幅方式(デジタルアンプ)
周波数特性	20Hz~20kHz ±1dB以内
寸法	482(W)×44(H)×401.8(D)
外部出力パネル	
出力	HDMI×1
主電源パネル	
入力	運動A系統 6個 / B系統 6個 非運動 2個

集音マイク



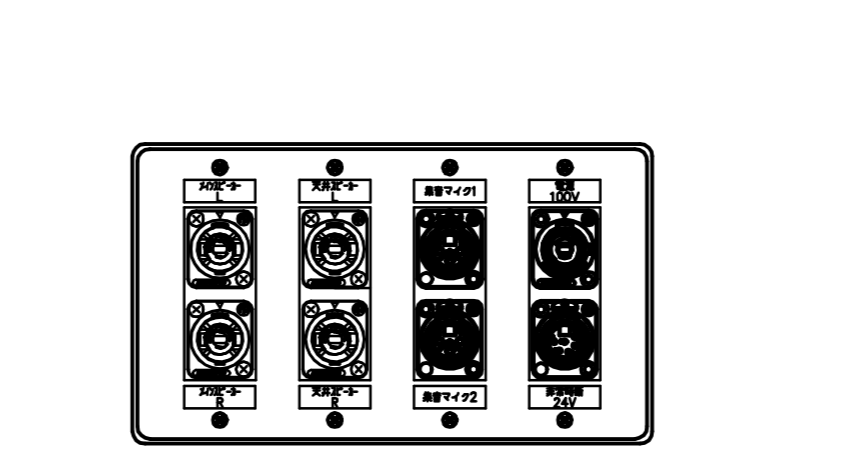
型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向性	超指向性
周波数特性	20~20,000Hz
感度	-40dB (ファンタム時)
その他	ウインドスクリーン・ショックマウント 天井吊下げ金具 共 2連ボックスに取付

ワイヤレスマイクミキサー



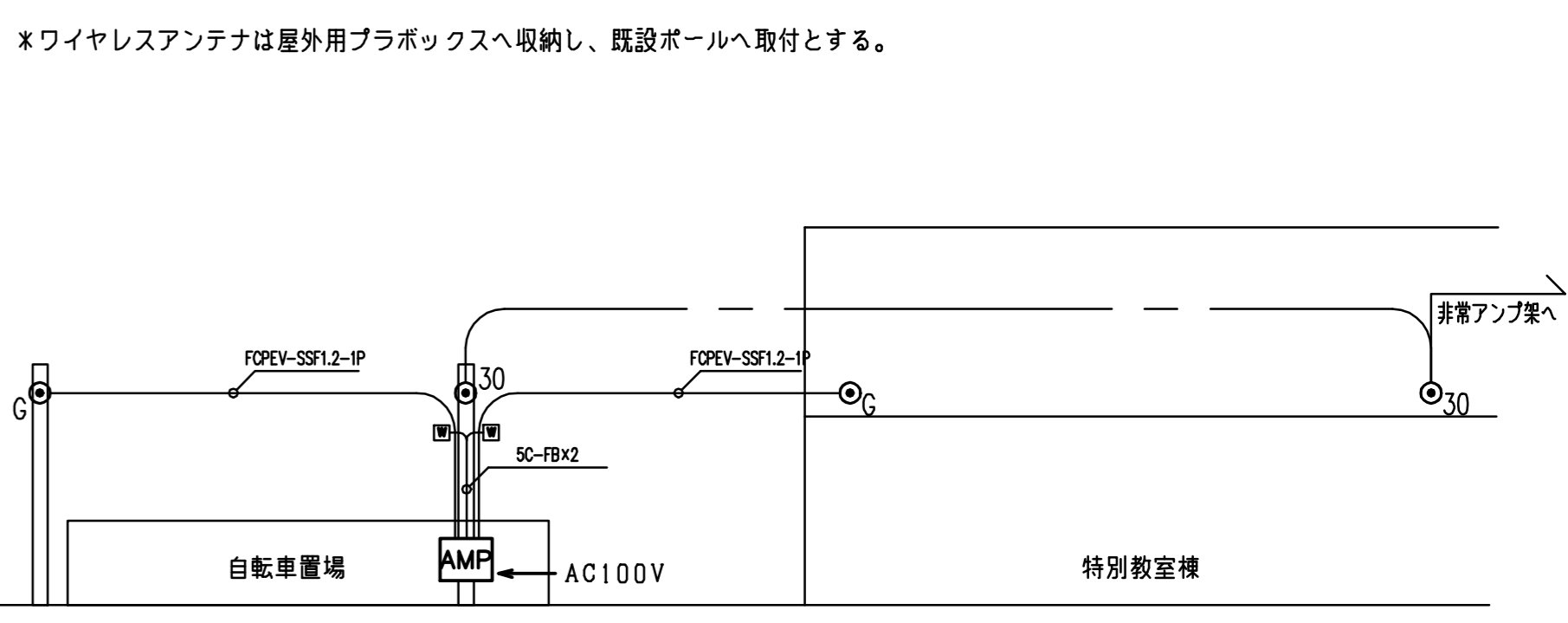
電源	AC100V 50/60HzまたはDC3V
無線局の種類	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
送信周波数	800MHz帯
入力	マイク×4(2入力マイク/ライン切替、本体マイク含む)
使用マイク	単一指向性コンデンサー型
電池持続時間	約15時間: 単3形アルカリ乾電池
その他	折りたたみ収納式マイク、アンテナ内蔵

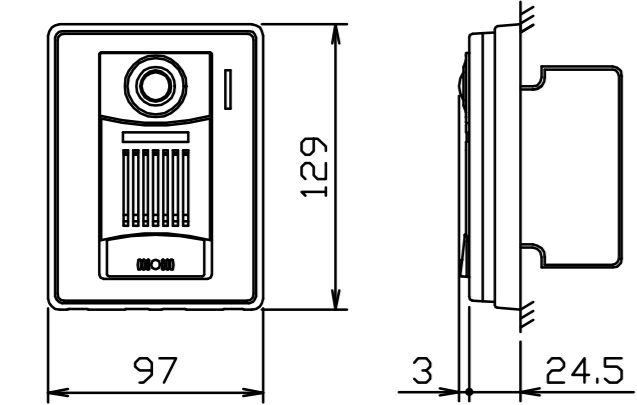
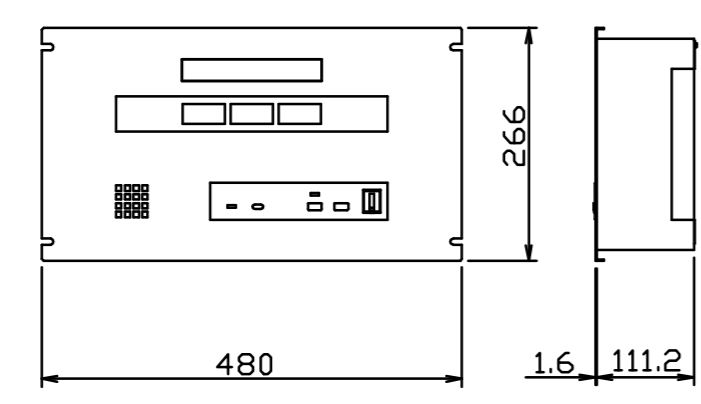
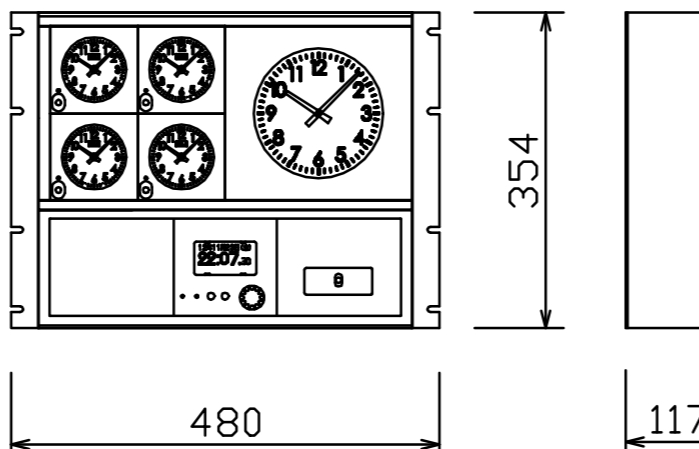
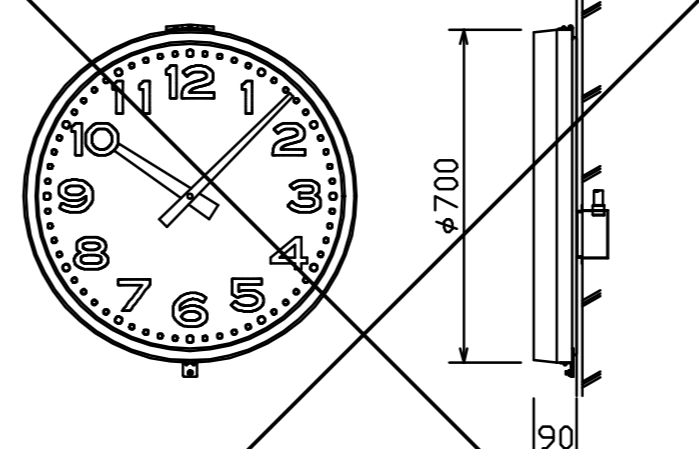
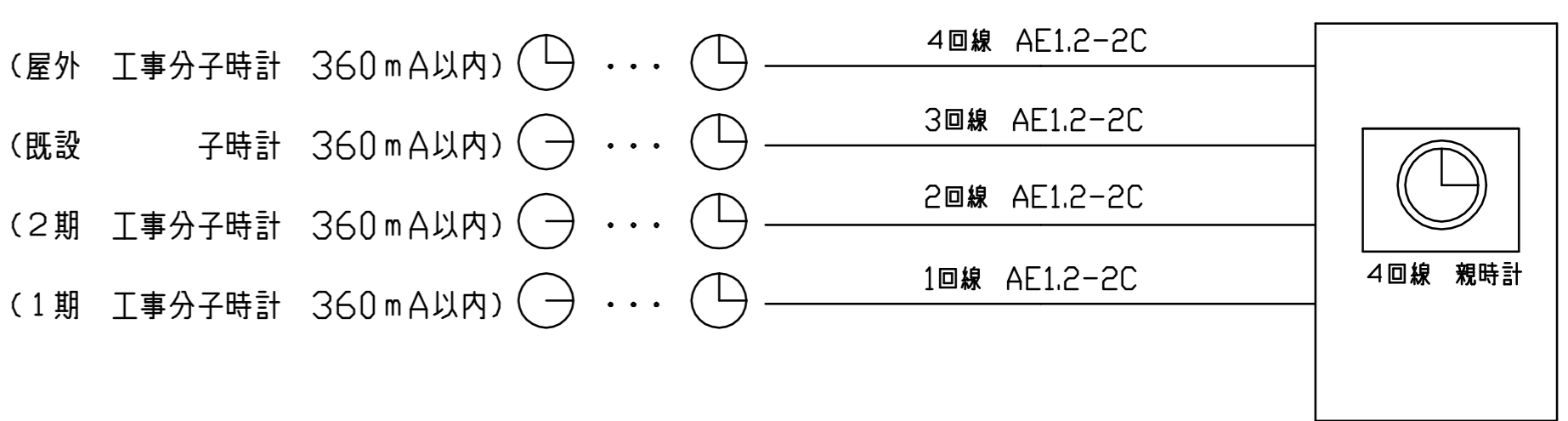
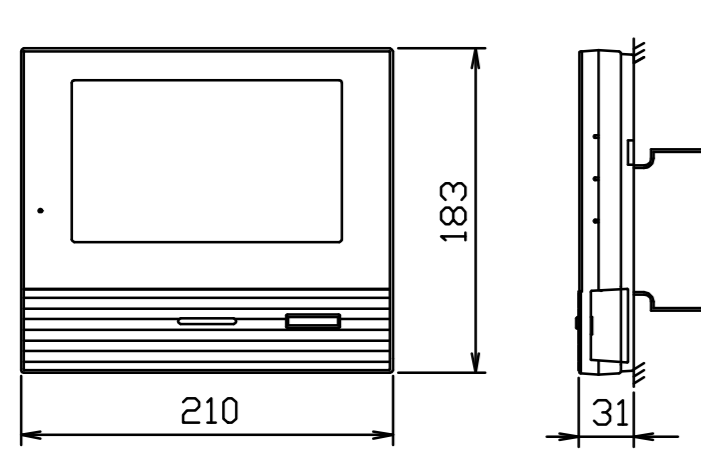
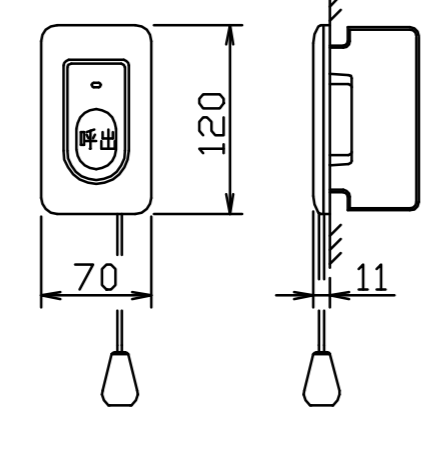
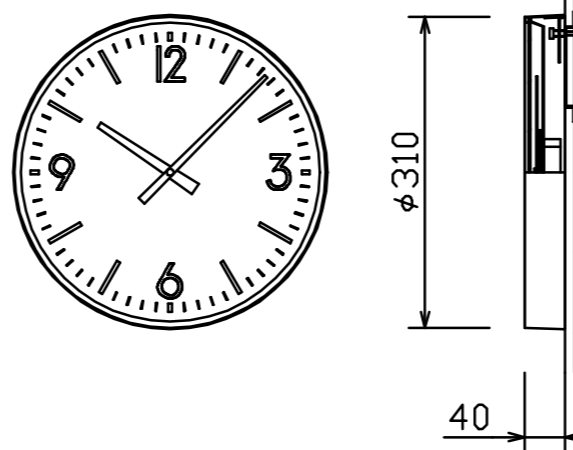
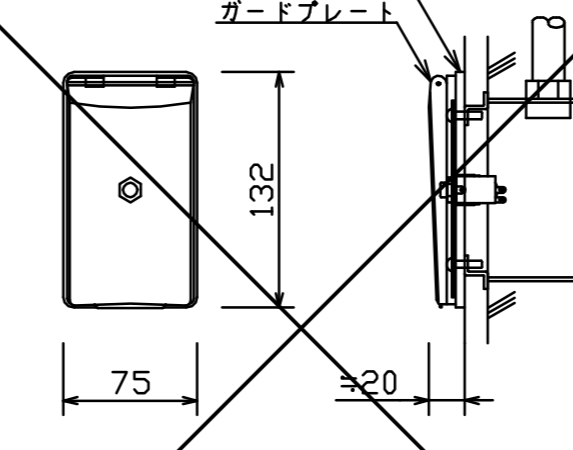
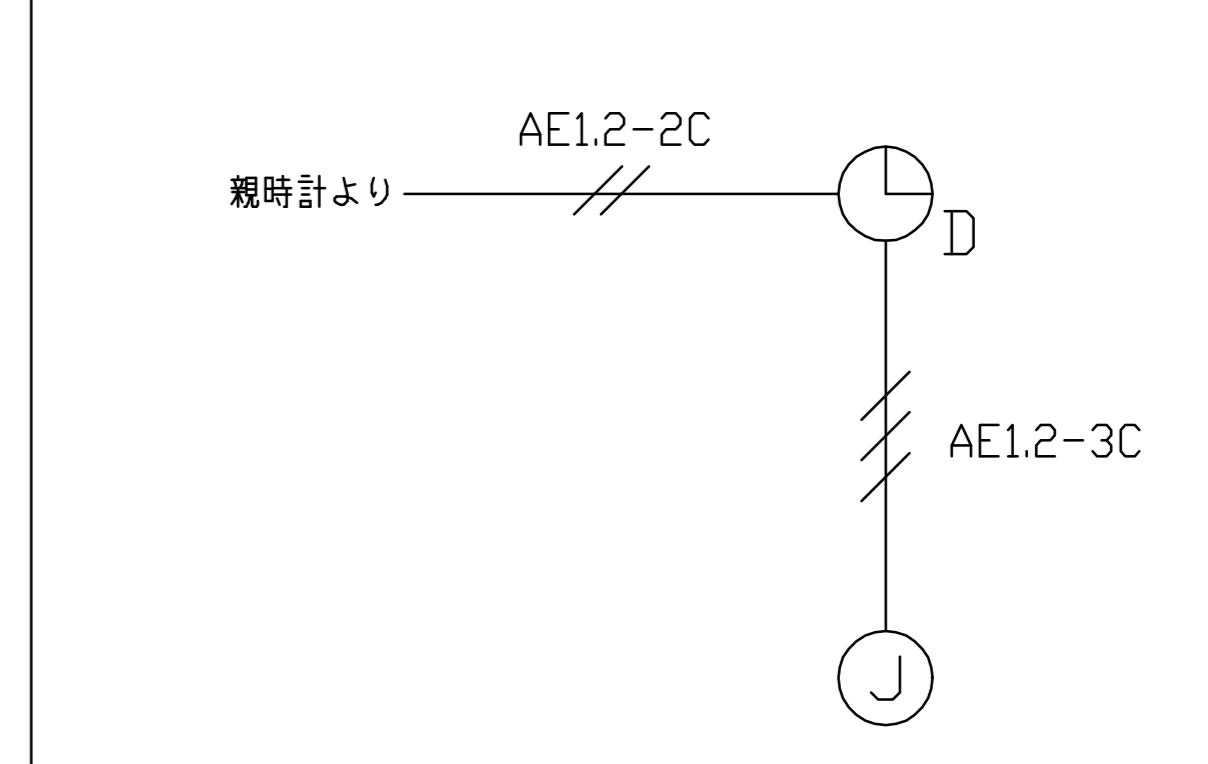
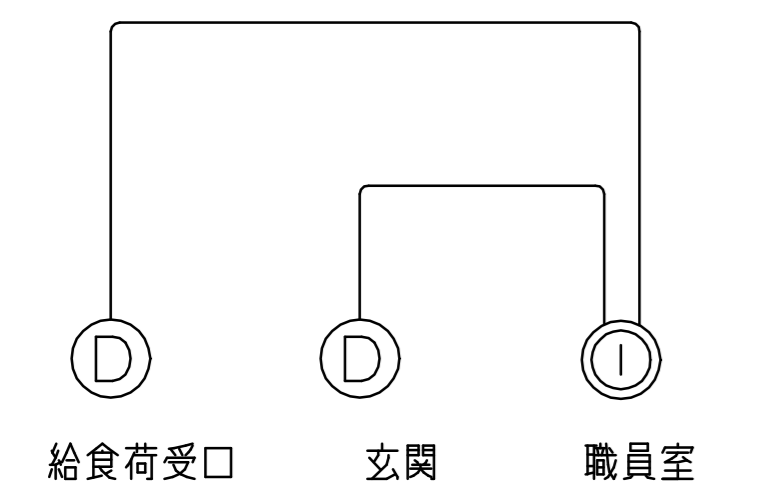
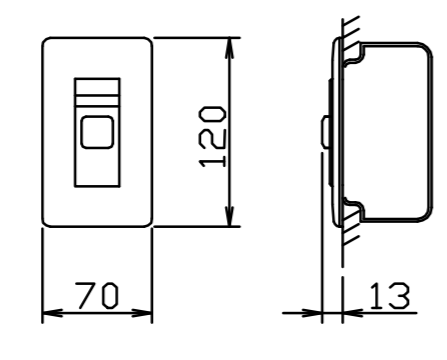
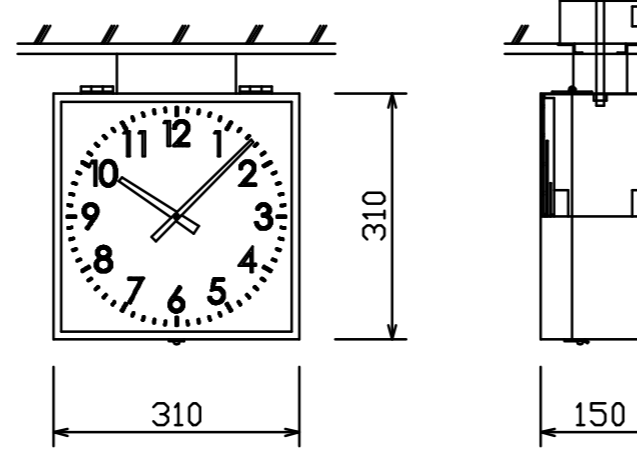
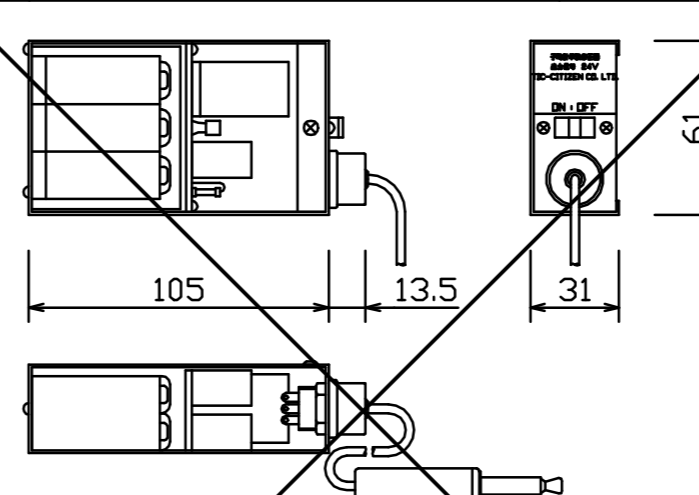
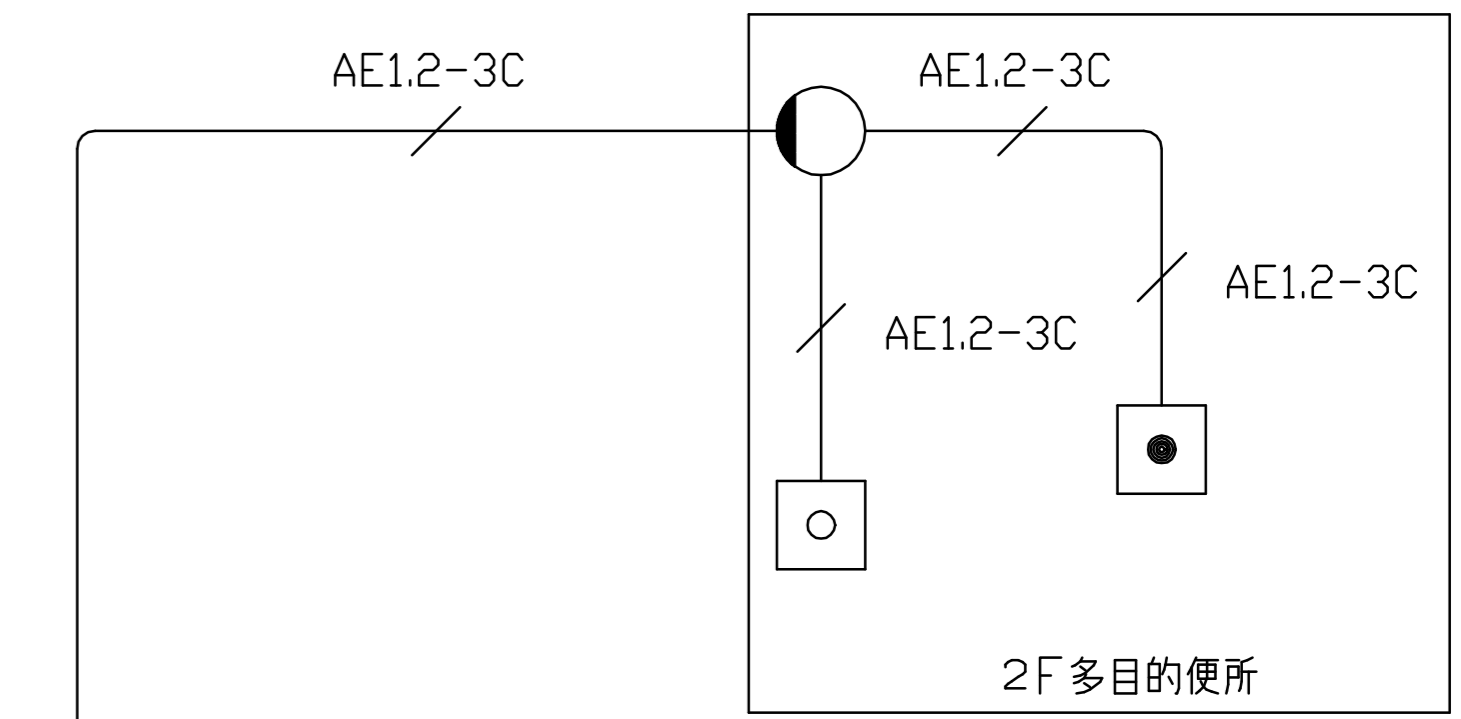
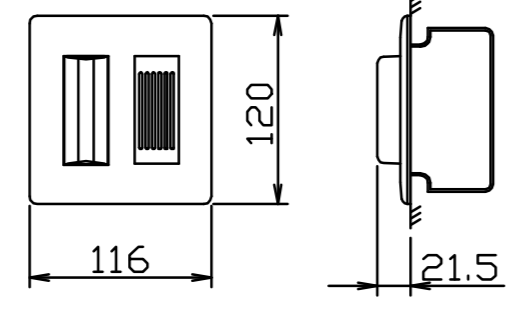
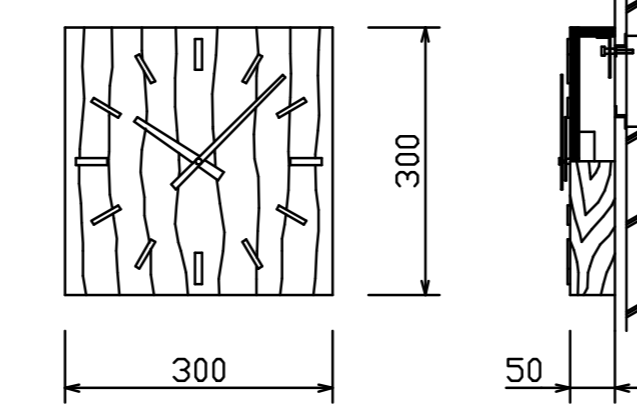
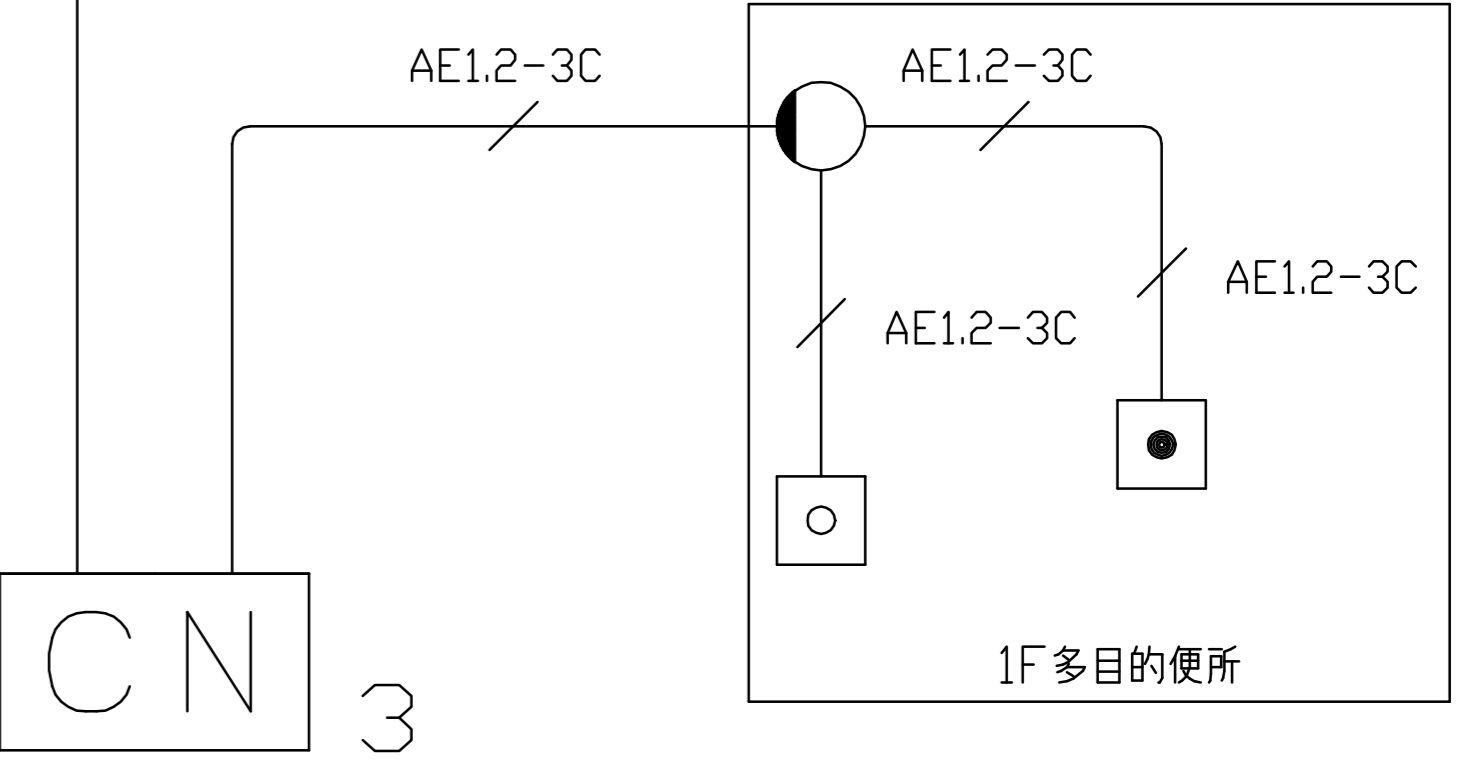
接続パネル



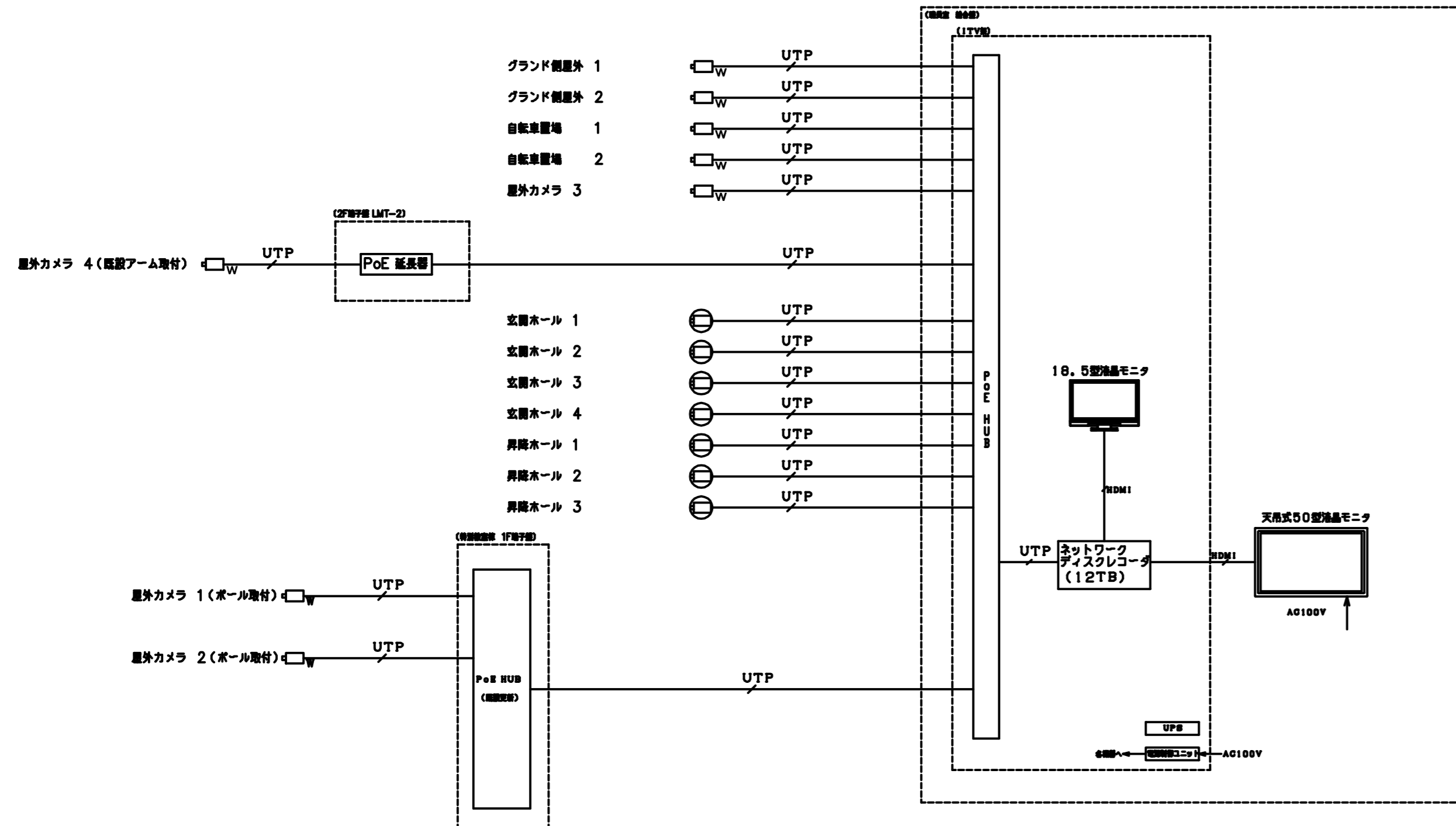
コネクタ	NC6FD-LX X1 (非常カット番号用)
	NAC3MPB-1 X1 (AC100V用)
	NC3FD-LX X2 (兼音マイク用)
	NL4MP-ST X4 (スピーカー用)
その他	新金属 4連プレート

運動場ローカル放送 参考図



<p>①D カメラ付玄関機 WJ-DA</p>  <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>カメラ</td><td>1/2.7型カラーCMOS</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>自動交互通話</td></tr> <tr><td>備考</td><td>防塵・防まつ形(JIS C 0920 1P54 相当)</td></tr> </table>	電源電圧	モニター付親機から供給	形状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	カメラ	1/2.7型カラーCMOS	通話方式	自動交互通話	備考	防塵・防まつ形(JIS C 0920 1P54 相当)	<p>NC 呼出表示器(3窓用) CBN-3E</p> <p>*総合盤 ITVフック架組込</p>  <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>形状</td><td>組込型(EIA規格フック)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>SPCC t1.2 (パネル部はt1.6)</td></tr> <tr><td>窓数</td><td>3窓</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	形状	組込型(EIA規格フック)	材質	SPCC t1.2 (パネル部はt1.6)	窓数	3窓	<p>4回線 水晶式親時計</p> <p>*総合盤 非常放送フック架組込</p>  <table border="1"> <tr><td>子時計回路</td><td>4回線 (1回線あたり最大30個/12mA)</td></tr> <tr><td>精度</td><td>誤差±0.7秒以内</td></tr> <tr><td>停電時電源</td><td>密閉型ニッケル水素蓄電池(DC24V)</td></tr> <tr><td>停電動作時間</td><td>約30時間</td></tr> <tr><td>時刻補正</td><td>電子コントロール</td></tr> <tr><td>時刻修正回数</td><td>1日2回 (受信時刻は変更可能)</td></tr> </table>	子時計回路	4回線 (1回線あたり最大30個/12mA)	精度	誤差±0.7秒以内	停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池(DC24V)	停電動作時間	約30時間	時刻補正	電子コントロール	時刻修正回数	1日2回 (受信時刻は変更可能)	<p>φ700 屋外子時計 J-7001C</p> <p>正面玄関 / グラウンド</p>  <table border="1"> <tr><td>ケース</td><td>鋼板 クリーム色</td></tr> <tr><td>文字盤</td><td>アルミニウム 白色</td></tr> <tr><td>文字</td><td>黒色</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>風防</td><td>ガラス 透明 t4</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒遅進</td></tr> </table>	ケース	鋼板 クリーム色	文字盤	アルミニウム 白色	文字	黒色	指針	アルミニウム 黒色	風防	ガラス 透明 t4	機体	DC24V 有極30秒遅進	<p>時計設備</p> <p>(屋外 工事分子時計 360mA以内) Ⓞ ... Ⓞ 4回線 AE1.2-2C</p> <p>(既設 子時計 360mA以内) Ⓞ ... Ⓞ 3回線 AE1.2-2C</p> <p>(2期 工事分子時計 360mA以内) Ⓞ ... Ⓞ 2回線 AE1.2-2C</p> <p>(1期 工事分子時計 360mA以内) Ⓞ ... Ⓞ 1回線 AE1.2-2C</p> 
電源電圧	モニター付親機から供給																																															
形状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)																																															
材質	自己消火性樹脂																																															
カメラ	1/2.7型カラーCMOS																																															
通話方式	自動交互通話																																															
備考	防塵・防まつ形(JIS C 0920 1P54 相当)																																															
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																															
形状	組込型(EIA規格フック)																																															
材質	SPCC t1.2 (パネル部はt1.6)																																															
窓数	3窓																																															
子時計回路	4回線 (1回線あたり最大30個/12mA)																																															
精度	誤差±0.7秒以内																																															
停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池(DC24V)																																															
停電動作時間	約30時間																																															
時刻補正	電子コントロール																																															
時刻修正回数	1日2回 (受信時刻は変更可能)																																															
ケース	鋼板 クリーム色																																															
文字盤	アルミニウム 白色																																															
文字	黒色																																															
指針	アルミニウム 黒色																																															
風防	ガラス 透明 t4																																															
機体	DC24V 有極30秒遅進																																															
<p>①D モニター付親機 WJ-4MED-T</p>  <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>モニター</td><td>7型TFTカラー液晶</td></tr> <tr><td>通信方式</td><td>1.9GHz TDMA-WB(時分割多元接続方式)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>録音機能</td><td>自動・手動録音、再生、保存</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型(JIS2個用または3個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>本体:自己消火性樹脂、アクリルパネル部:難燃性樹脂</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	モニター	7型TFTカラー液晶	通信方式	1.9GHz TDMA-WB(時分割多元接続方式)	通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話	録音機能	自動・手動録音、再生、保存	形状	壁取付型(JIS2個用または3個用スイッチボックス)	材質	本体:自己消火性樹脂、アクリルパネル部:難燃性樹脂	<p>呼出ボタン(引きひも付) NBR-7HWA</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>引きひも式、押印面用</td></tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、押印面用	<p>φ310 子時計 J-3003</p>  <table border="1"> <tr><td>ケース</td><td>鋼板 クリーム色</td></tr> <tr><td>文字盤</td><td>アルミニウム 白色</td></tr> <tr><td>文字</td><td>黒色</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>風防</td><td>ガラス 透明 t2</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒遅進</td></tr> </table>	ケース	鋼板 クリーム色	文字盤	アルミニウム 白色	文字	黒色	指針	アルミニウム 黒色	風防	ガラス 透明 t2	機体	DC24V 有極30秒遅進	<p>ジャックプレート J-8002</p>  <table border="1"> <tr><td>プレート</td><td>防滴プレート</td></tr> <tr><td>ジャック</td><td>1P</td></tr> </table>	プレート	防滴プレート	ジャック	1P	<p>(屋外子時計のみ)</p> 								
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																															
モニター	7型TFTカラー液晶																																															
通信方式	1.9GHz TDMA-WB(時分割多元接続方式)																																															
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話																																															
録音機能	自動・手動録音、再生、保存																																															
形状	壁取付型(JIS2個用または3個用スイッチボックス)																																															
材質	本体:自己消火性樹脂、アクリルパネル部:難燃性樹脂																																															
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																																															
材質	自己消火性樹脂																																															
備考	引きひも式、押印面用																																															
ケース	鋼板 クリーム色																																															
文字盤	アルミニウム 白色																																															
文字	黒色																																															
指針	アルミニウム 黒色																																															
風防	ガラス 透明 t2																																															
機体	DC24V 有極30秒遅進																																															
プレート	防滴プレート																																															
ジャック	1P																																															
<p>インターホン系統図</p>  <p>給食荷受口 玄関 職員室</p>	<p>復旧ボタン NBR-2A-C</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>非防水形</td></tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	樹脂	備考	非防水形	<p>角310両面吊下時計 KW-3002T</p>  <table border="1"> <tr><td>ケース</td><td>鋼板 クリーム色</td></tr> <tr><td>文字盤</td><td>アルミニウム 白色</td></tr> <tr><td>文字</td><td>黒色</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>風防</td><td>ガラス 透明 t2</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒遅進</td></tr> </table>	ケース	鋼板 クリーム色	文字盤	アルミニウム 白色	文字	黒色	指針	アルミニウム 黒色	風防	ガラス 透明 t2	機体	DC24V 有極30秒遅進	<p>単独修正器 M-2000</p>  <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>006P (乾電池) × 3個直列27V (最低18V)</td></tr> <tr><td>出力パルス</td><td>1.5秒 (但し20℃にて)</td></tr> <tr><td></td><td>パルス数24 (2.5'') ~ 46 (1.3'')</td></tr> </table> <p>1台 納品</p>	電源電圧	006P (乾電池) × 3個直列27V (最低18V)	出力パルス	1.5秒 (但し20℃にて)		パルス数24 (2.5'') ~ 46 (1.3'')	<p>呼出設備系統図</p>  <p>2F 多目的便所</p>																				
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																																															
材質	樹脂																																															
備考	非防水形																																															
ケース	鋼板 クリーム色																																															
文字盤	アルミニウム 白色																																															
文字	黒色																																															
指針	アルミニウム 黒色																																															
風防	ガラス 透明 t2																																															
機体	DC24V 有極30秒遅進																																															
電源電圧	006P (乾電池) × 3個直列27V (最低18V)																																															
出力パルス	1.5秒 (但し20℃にて)																																															
	パルス数24 (2.5'') ~ 46 (1.3'')																																															
<p>ブザー付廊下灯 NR-BZLB27</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>プレート:自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td></td><td>ランプカバー:ポリカーボネート</td></tr> <tr><td>備考</td><td>ブザー付</td></tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス)	材質	プレート:自己消火性樹脂		ランプカバー:ポリカーボネート	備考	ブザー付	<p>角型子時計 K-7103a</p>  <table border="1"> <tr><td>文字盤</td><td>化粧合板練付(チーク)</td></tr> <tr><td>文字</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒遅進</td></tr> </table>	文字盤	化粧合板練付(チーク)	文字	アルミニウム 黒色	指針	アルミニウム 黒色	機体	DC24V 有極30秒遅進		<p>職員室</p>  <p>1F 多目的便所</p>																													
形状	壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス)																																															
材質	プレート:自己消火性樹脂																																															
	ランプカバー:ポリカーボネート																																															
備考	ブザー付																																															
文字盤	化粧合板練付(チーク)																																															
文字	アルミニウム 黒色																																															
指針	アルミニウム 黒色																																															
機体	DC24V 有極30秒遅進																																															

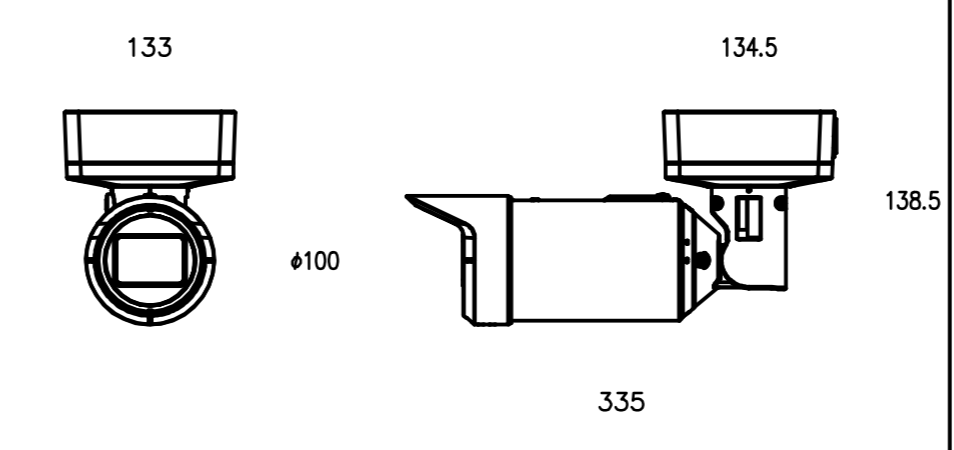
ITV設備 システムブロック図



記号	名称
⊕	屋内ドーム型ネットワークカメラ
⊖	屋外ハウジング一体型ネットワークカメラ

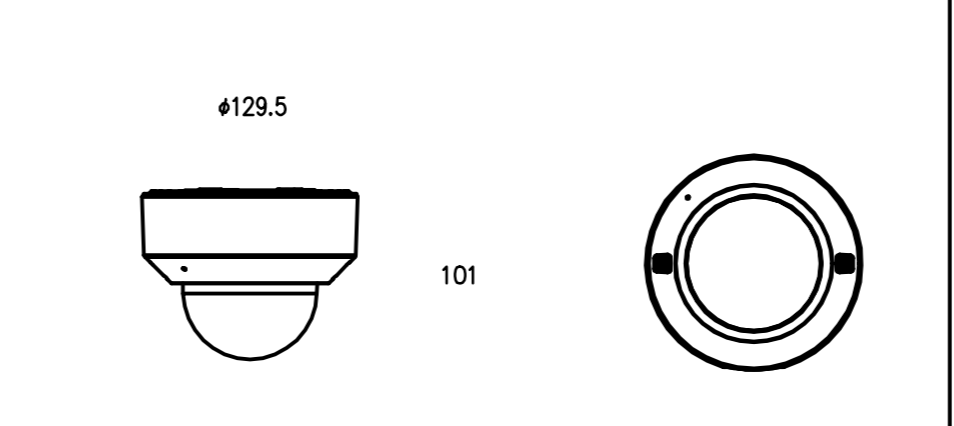
UTP EM-UTP0.5-4P
HDMI HDMIケーブル

屋外ハウジング一体型ネットワークカメラ WV-S1516LN



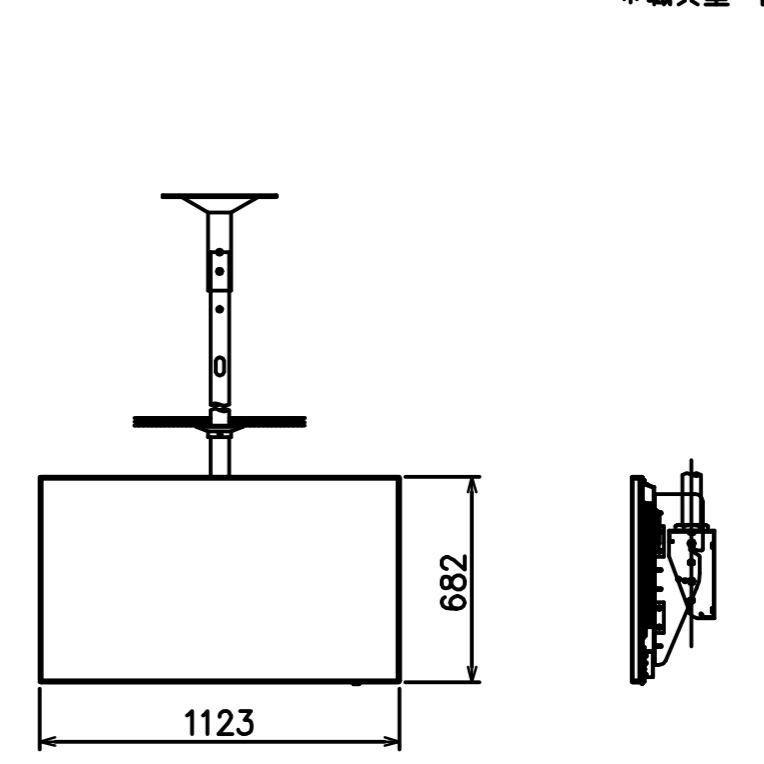
電源	DC12V, PoE (IEEE802.3af準拠)
撮像素子・有効画素数	約1/2.8型CMOSセンサー・約210万画素
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-T RJコネクタ
画圧縮方式	H.265/H.264/JPEG(他4ストリーム設定可)
レンズ部	F=2.9~9mm(3.1倍電動ズーム/電動フォーカス)
防水性・耐衝撃性	IP66, Type4X, NEMA4X 準拠・IK10
その他	壁・天井・ポールへ取付

ドーム型ネットワークカメラ WV-S2136LJ



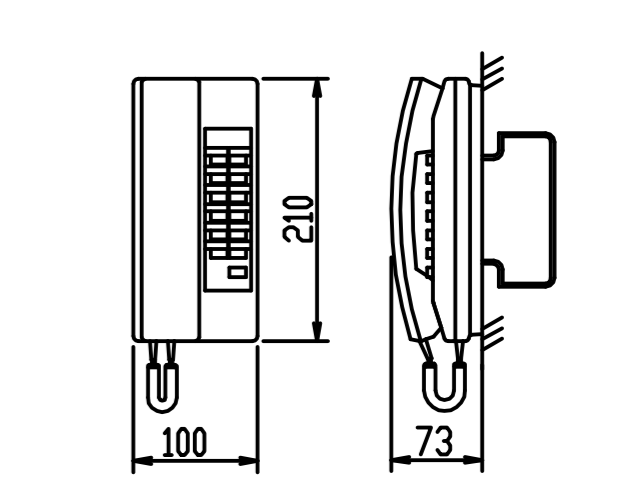
電源	DC12V, PoE (IEEE802.3af準拠)
撮像素子・有効画素数	約1/2.8型CMOSセンサー・約210万画素
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-T RJコネクタ
画圧縮方式	H.265/H.264/JPEG(他4ストリーム設定可)
レンズ部	F=2.9~9mm(3.1倍電動ズーム/電動フォーカス)
防水性・耐衝撃性	IP66, Type4X, NEMA4X 準拠・IK10
その他	天井埋込

天井吊下 50型液晶モニター



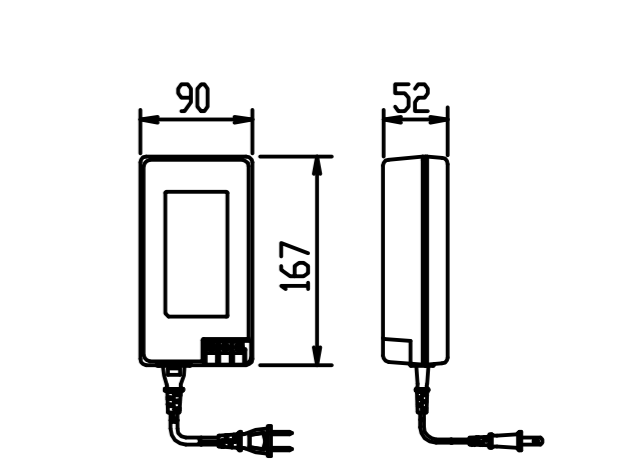
液晶モニター	
電源	AC100V 50/60Hz
画面サイズ	50V型
搭載チューナー	地上デジタル, BS, CS
天井吊下金具	SPCC t1.2 t2.0 t2.3
本体	ブラック マンセルNo.N1.0 (3分画) 縦向き
機能	ディスプレイ傾斜調整3段階可能 ハンガー本体裏でディスプレイ位置 下部に調整可能

インターホン親機 本館棟用 TD-12H/B



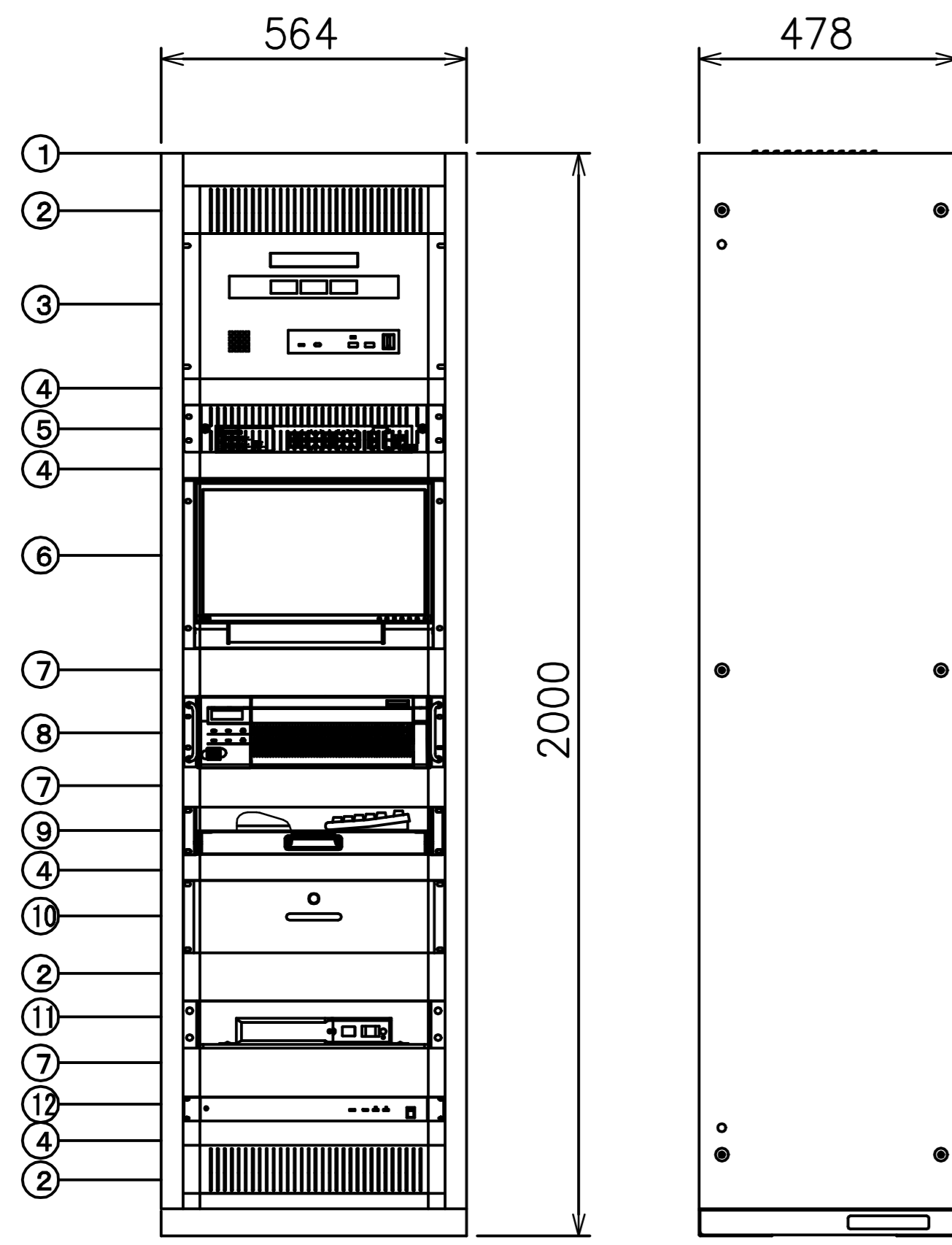
電源電圧	DC12V (電源アダプターから供給)
接続方式	電話回線同時接続
形状	壁掛け・卓上用 (JIS1規格スイッチボックス)
材質	樹脂
厚さ	12mm用
備考	電子式・相互式対応

電源アダプター PS-1225A



電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	75VA
出力電圧	DC12V
出力電流	2.5A
形状	壁掛け・卓取付 (専用金具) 両用
材質	難燃性樹脂

ITVラック架

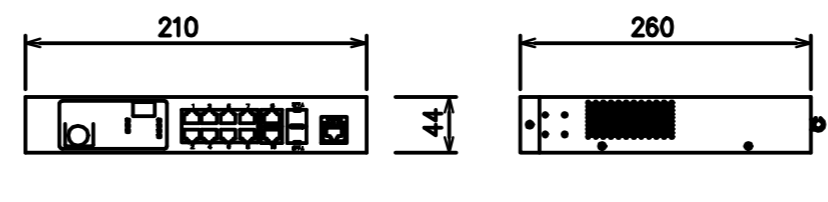


No.	名称	品番
1	キャビネットラック	CR-413
2	通気パネル 2U	PF-023B
3	トイリ呼出表示器 (3層用)	CBN-3E
4	ブラックパネル 1U	BK-013B
5	PoE HUB取納箱 (前面通気)	CSW-2UF-CASE-1-B
6	PoE HUB 16ポート	PN261693
7	18.5型液晶モニター	FDWX1905W
8	モニター用ラックマウント金具	AR-05
9	ブラックパネル 2U	BK-023B
10	ネットワークレコーダー 12TB	WJ-NX400K
11	スライド棚 (7ヶ所・ネオト取納)	NST-88B
12	引出取納パネル	WR-310DP
13	UPS	BY-50FW
14	UPS用ラックマウント金具	BYP50R
15	主電源パネル	PD-1130

キャビネットラック	
寸法	566(W)×2000(H)×435(D)
質量	60kg
PoE HUB取納箱	
寸法	482.6(W)×88.1(H)×300(D)
PoE HUB	
機能	PCレスでのPoEオートリポート・雷サージ耐性あり レイヤ2 PoE給電 (給電ポート数16) 動作環境温度 約50℃
18.5型液晶モニター	
機能	パネル: アンチグレア / バックライト: LED サイズ: 18.5型 / 表示色: 約1677万色
18.5型液晶モニターマウント金具	
寸法	482.6(W)×310.3(H)×51(D) (取付ピッチ 7U)
ネットワークレコーダー	
録画圧縮方式	H.265, H.264, JPEG
搭載HDD	12TB
標準接続台数	64台 (拡張時最大128台)
入出力	映像出力(BNC) x1, モニター出力(HDMI) x2 音声出力(RCA) x1, USB2.0 x2
推奨PC環境	Windows 8.1 / 10 日本語 ウェブブラウザ: Internet Explorer 11 32ビット メモリ: 4GB以上
録画設定	フルHD画質 / 10~15fps / FQ~XF HDD: RAIDS
UPS	
出力定格	500VA / 300W
出力コンセント数	9
バックアップ時間	約3.5分
機能	自動シャットダウンソフト
主電源パネル	
入力	電源A系統 6槽 / B系統 6槽 非連続 2槽
特性	HDCP対応, 入力チャンネル自動切替機能搭載

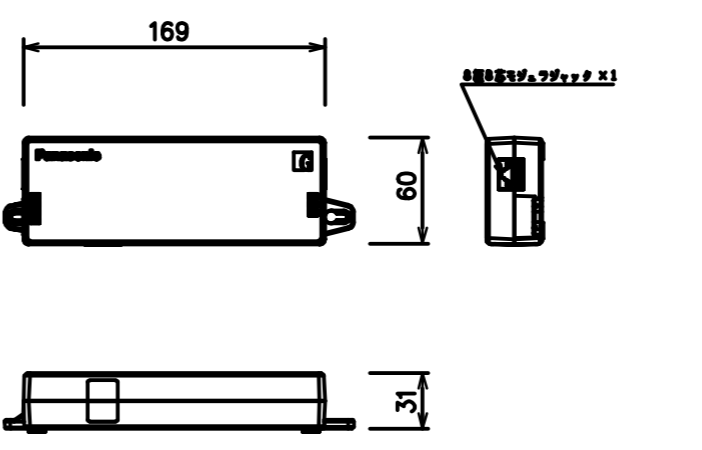
PoE給電スイッチングハブ PN260892

*特別教室棟 1F既設端子盤 取納

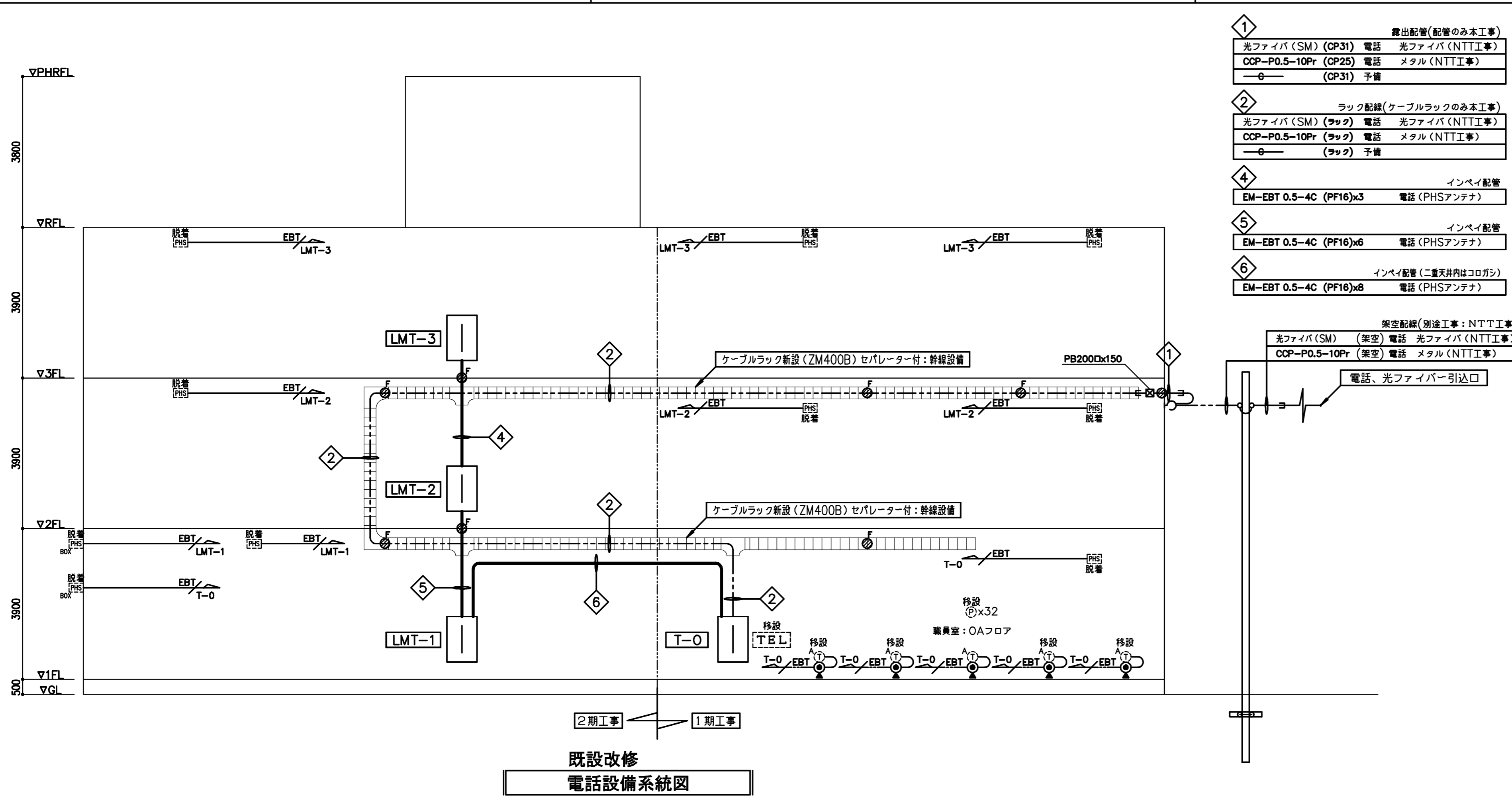


電源	AC100V 50/60Hz
ポート数	10/100/1000BASE-TX x10
	給電ポート数: 8

PoE延長器 PN24015



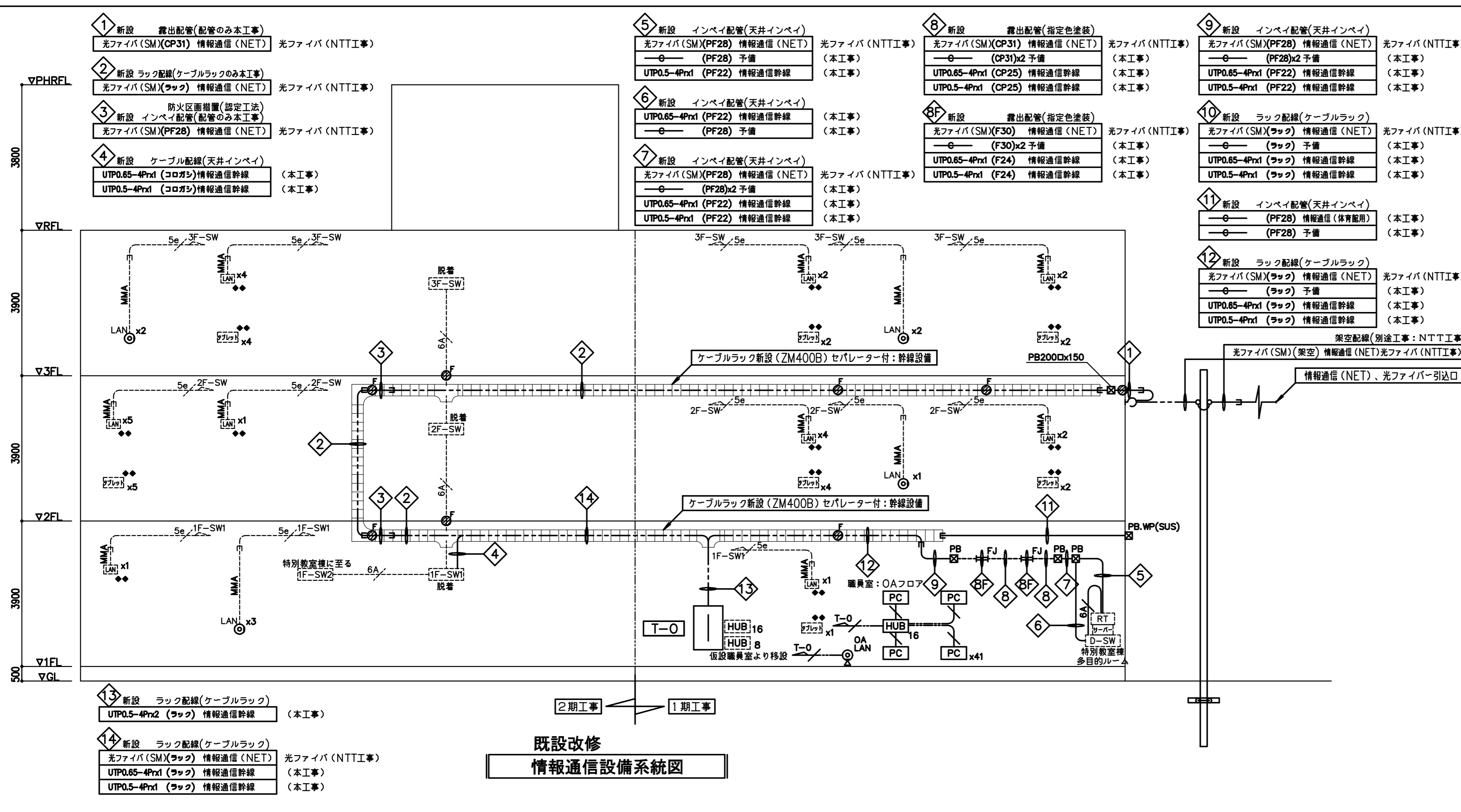
電源	PoE受電IEEE802.3at(PoE+) DC42.5V-57V
インターフェイス	RJ45コネクタ 2ポート
最大伝送距離	100m
耐性	静電気放電・耐伝導ノイズ性・電圧降下耐性・EMI



- 露出配管(配管のみ本工事)**
- ① 光ファイバ(SM)(CP31) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(CP25) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - ② (CP31) 予備
- ラック配線(ケーブルラックのみ本工事)**
- ③ 光ファイバ(SM)(ラック) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(ラック) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - ④ (ラック) 予備
- インベイ配管**
- ⑤ EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3 電話(PHSアンテナ)
 - ⑥ EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6 電話(PHSアンテナ)
 - ⑦ EM-EBT 0.5-4C (PF16)x8 電話(PHSアンテナ)
- 架空配線(別途工事:NTT工事)**
- ⑧ 光ファイバ(SM)(架空) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(架空) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - ⑨ (架空) 電話 光ファイバ(NTT工事)
- 特記事項(既設改修)**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 盤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

凡例

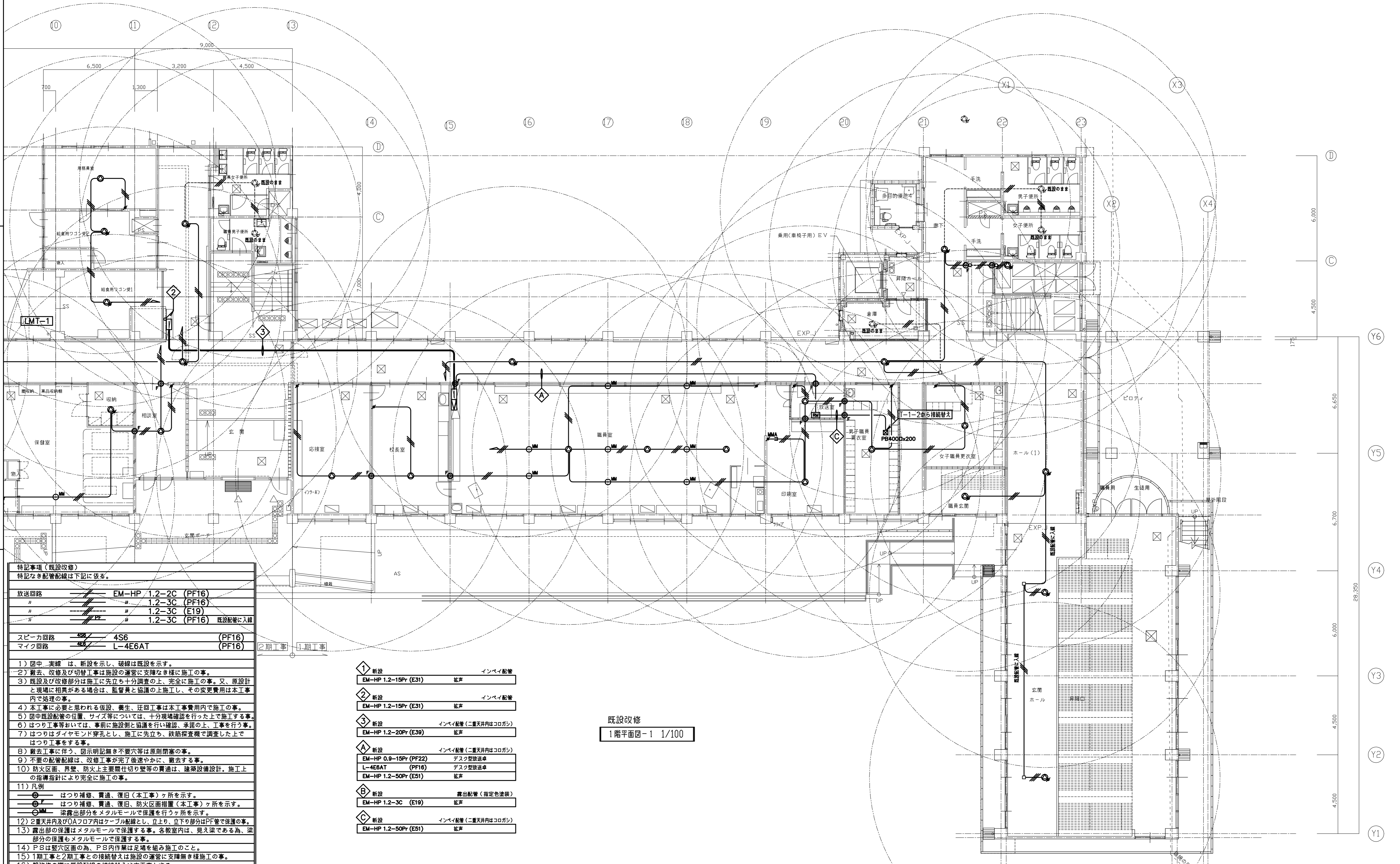
記号	名称	備考
○	電話用受口	6極4芯 新金属プレート
○	OAフロア用電話受口	6極4芯
①A	IP多機能電話機	既設移設(2回) IP-24G-TELSDA:日立
○	PHS	既設移設(2回) 8DPS II:日立
○	PHSアンテナ	既設移設(2回) 日立
○	PHSアンテナ(プラスチックボックスに収納)	日立
TEL	電話主装置	既設移設(2回) MX-01:日立
○	はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。	
○	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。	
MMA	メタルモールA型を示す。	LANケーブルは既設流用。



- 露出配管(指定色塗装)**
- ⑩ 光ファイバ(SM)(F30) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(F30)x2予備 (本工事)
 - ⑪ UTP0.5-4Prx1 (CP25) 情報通信幹線 (本工事)
 - UTP0.5-4Prx1 (CP25) 情報通信幹線 (本工事)
- インベイ配管(天井インベイ)**
- ⑫ 光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(PF28) 予備 (本工事)
 - ⑬ UTP0.5-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
 - UTP0.5-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
- ラック配線(ケーブルラック)**
- ⑭ 光ファイバ(SM)(ラック) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(ラック) 予備 (本工事)
 - ⑮ UTP0.5-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)
 - UTP0.5-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)
- インベイ配管(天井インベイ)**
- ⑯ 光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(PF28)x2予備 (本工事)
 - ⑰ UTP0.5-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
 - UTP0.5-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
- ラック配線(ケーブルラック)**
- ⑱ 光ファイバ(SM)(ラック) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(ラック) 予備 (本工事)
 - ⑲ UTP0.5-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)
 - UTP0.5-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)
- 特記事項(既設改修)**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) コンクリート打込み部分の撤去は配線のみ撤去とする。
 - 12) 特記無き2重天井内はケーブル配線とする。
 - 13) ケーブル配線の立上り、立下りはPF管、露出部分はメタルモールで保護の事。
 - 14) 図示◆は仮設校舎へ移設し、工事が完了後本館棟図示箇所に再取付を行う。
 - 15) 図示明記UTP0.5-4Pr:5eはカテゴリ5eを示し、UTP0.5-4Pr:6Aはカテゴリ6Aを示す。エンハンスド仕様(最長100m)とする。
 - 16) LAN配線工事後はデジタル通信テストを行い合格とする。
 - 17) 施工に先立ち情報通信用ファイバ及び電話用ファイバが電話引込用メタル、光ファイバはNTT(担当:片山氏、TEL:090-4305-7724)と協議すること。
 - 18) 1期工事、2期工事の取り合いは、必ず機能回復出来る様に配線延長、仮設接続替えを行うこと。(共通事項)

凡例

記号	名称	備考
RT	拠点ルーター	ONU共 NTT(担当:片山氏)
D-SW	基幹スイッチ	(サーバー)
1F-SW1	フロアスイッチ	HUB-10ポートPoE PoE給電容量(124W) AT-SH230-10GP:アライドテレシス
1F-SW2	フロアスイッチ	HUB-10ポートPoE PoE給電容量(124W) AT-SH230-10GP:アライドテレシス
2F-SW	フロアスイッチ	HUB-28ポートPoE PoE給電容量(370W) AT-SH230-28GP:アライドテレシス
3F-SW	フロアスイッチ	HUB-28ポートPoE PoE給電容量(370W) AT-SH230-28GP:アライドテレシス
HUB	HUB収納箱	HUB-24ポート
LAN	無線LANアクセスポイント	AT-TQ5403:アライドテレシス
LAN	LAN受口	壁埋込型 8極8芯
LAN	LAN受口	OAフロア用 8極8芯
222	タブレット保管庫	AC100V300W
PC	パソコン	44台 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
サーバー	サーバー	既設職員室より仮設職員室へ移設
HUB ₈	ハブ	8ポート 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
HUB ₁₆	ハブ	16ポート 既設職員室より仮設職員室へ移設 仮設職員室より改修職員室へ移設
○	はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。	
○	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。	
MMA	メタルモールA型を示す。	LANケーブルは既設流用。



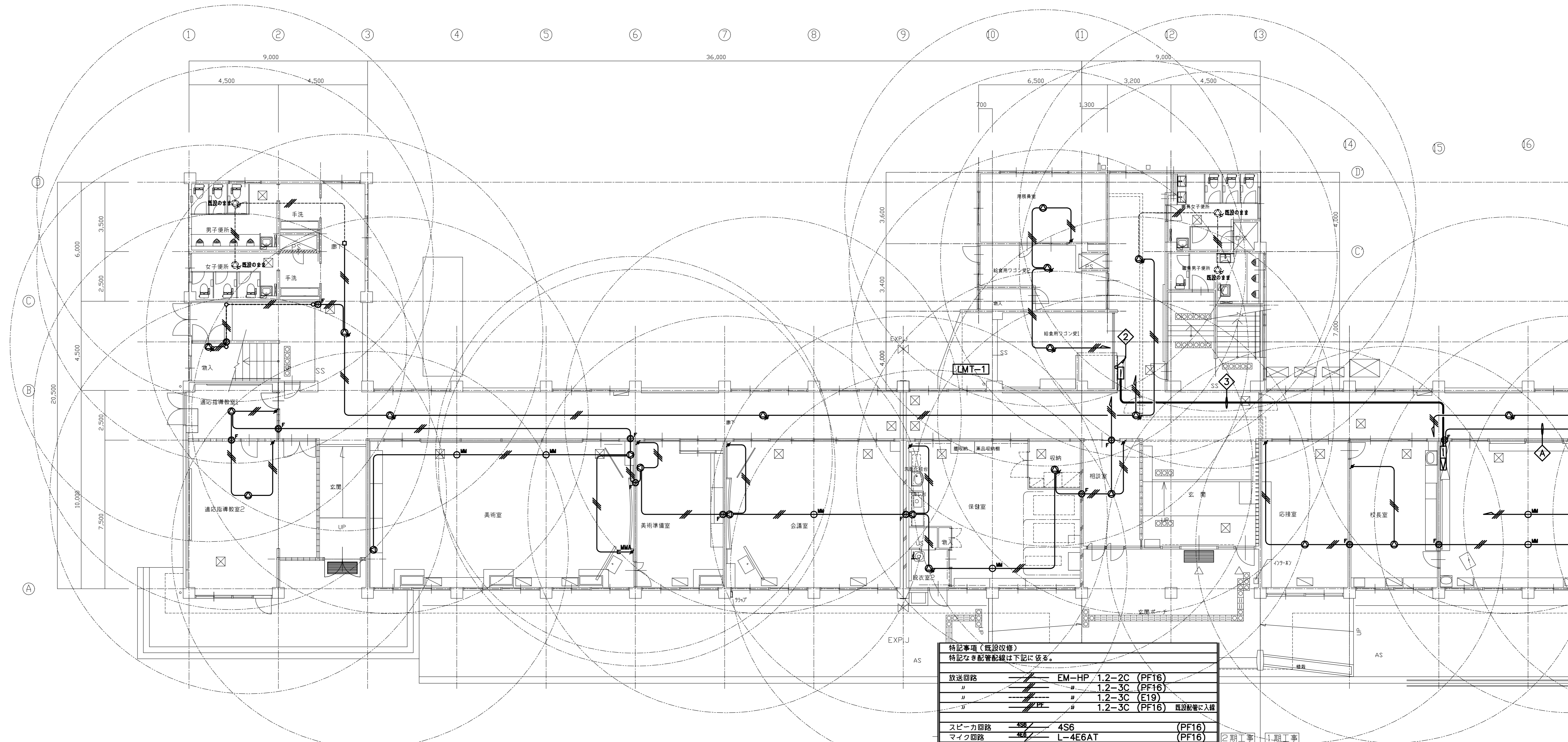
特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。

放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)	
〃	〃 1.2-3C (PF16)	
〃	〃 1.2-3C (E19)	既設配管に入線
〃	〃 1.2-3C (PF16)	既設配管に入線
スピーカ回路	4S6 (PF16)	
マイク回路	L-4E6AT (PF16)	

1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11) 凡例
○ はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
○ F はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
○ MM 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
16) 盤改修の際に既設配線の接続替は本工事とする。

- ① 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
- ② 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
- ③ 新設 インベイ配管（二重天井内はコログシ）
EM-HP 1.2-20Pr (E39) 拡声
- A 新設 インベイ配管（二重天井内はコログシ）
EM-HP 0.9-15Pr (PF22) デスク型放送機
L-4E6AT (PF16) デスク型放送機
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声
- B 新設 露出配管（指定色塗装）
EM-HP 1.2-3C (E19) 拡声
- C 新設 インベイ配管（二重天井内はコログシ）
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声

既設改修
1階平面図-1 1/100

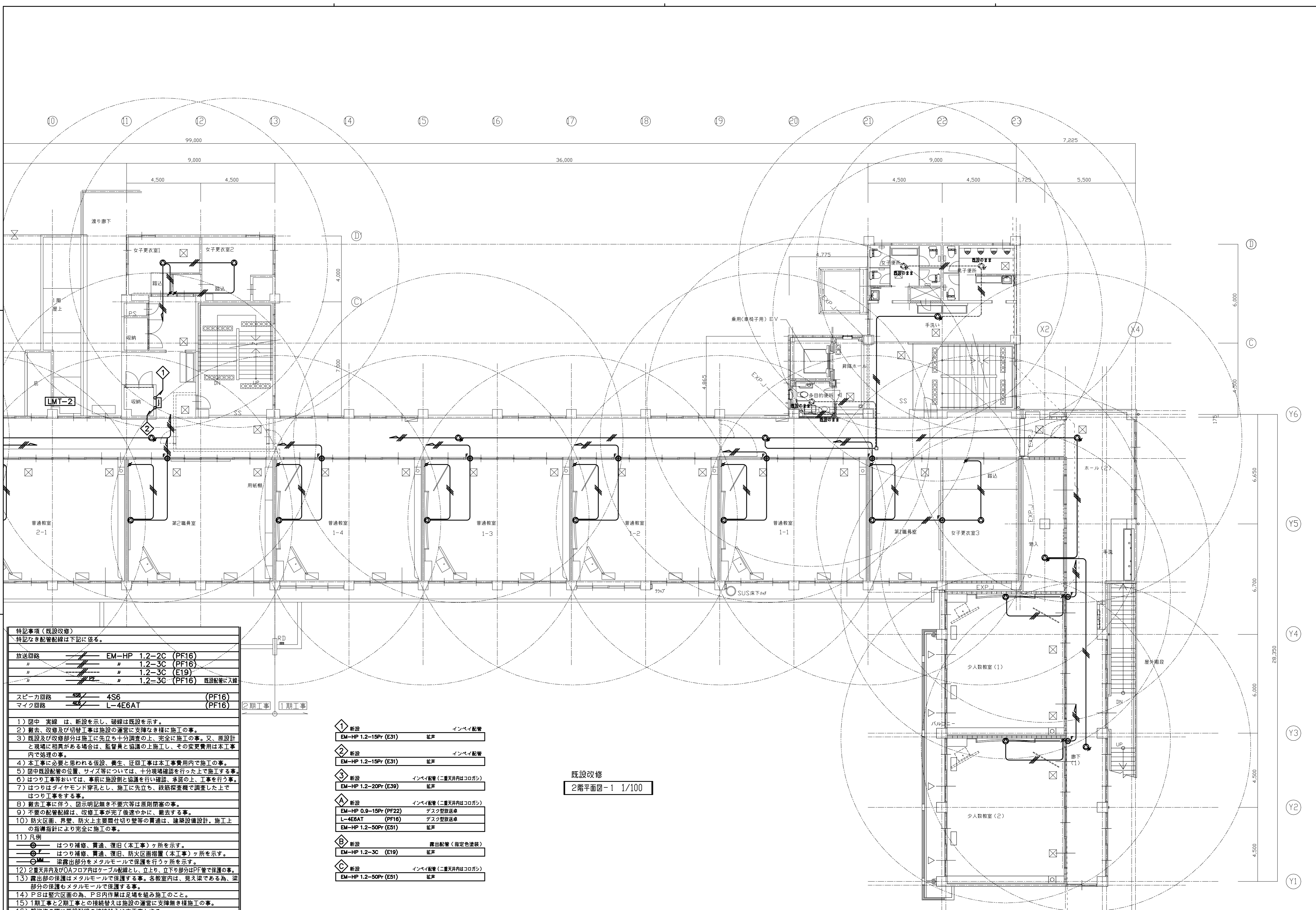


既設改修
1階平面図-2 1/100

特記事項 (既設改修)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)
〃	〃 1.2-3C (PF16)
〃	〃 1.2-3C (E19)
〃	〃 1.2-3C (PF16) 既設配管に入線
スピーカ回路	4S6 (PF16)
マイク回路	L-4E6AT (PF16)

- 1) 図中「実線」は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指揮指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) ケ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) ケ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うケ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 整改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

- ① 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
- ② 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
- ③ 新設 インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-20Pr (E39) 拡声
- A 新設 インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)
EM-HP 0.9-15Pr (PF22) デスク型放送卓
L-4E6AT (PF16) デスク型放送卓
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声
- B 新設 露出配管 (指定色塗装)
EM-HP 1.2-3C (E19) 拡声
- C 新設 インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声



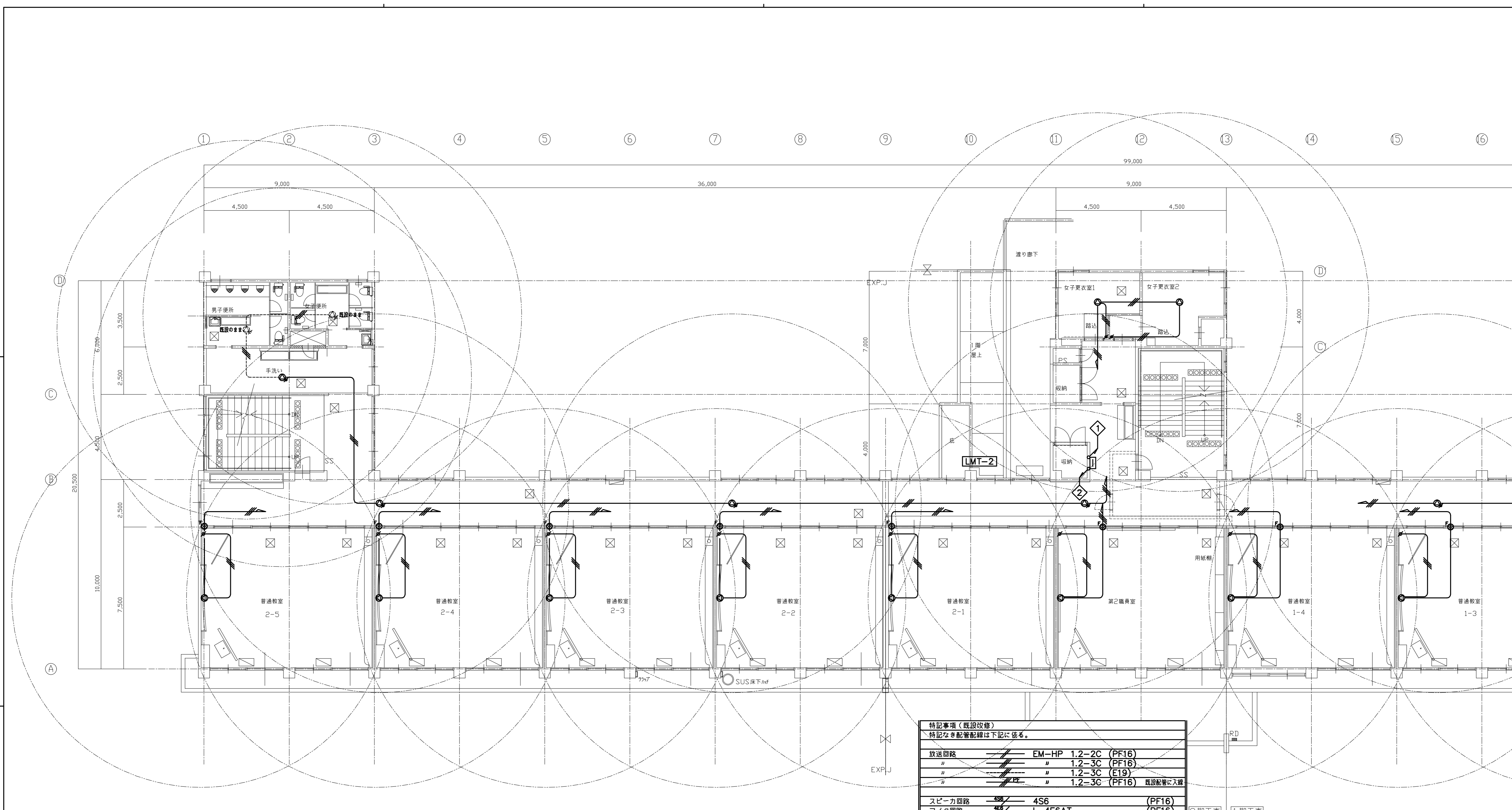
特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。

放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)	
"	" 1.2-3C (PF16)	
"	" 1.2-3C (E19)	
"	" 1.2-3C (PF16)	既設配管に入線
スピーカー回路	4S6	(PF16)
マイク回路	L-4E6AT	(PF16)

2期工事 1期工事

- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要開口部等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOフロア内はケーブル配線とし、立上り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 盤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

- 既設改修**
2階平面図-1 1/100
- ① 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
 - ② 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
 - ③ 新設 インベイ配管（二重天井内はコゴシ）
EM-HP 1.2-20Pr (E39) 拡声
 - A 新設 インベイ配管（二重天井内はコゴシ）
EM-HP 0.9-15Pr (PF22) デスク型放送機
L-4E6AT (PF16) デスク型放送機
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声
 - B 新設 露出配管（指定色塗装）
EM-HP 1.2-3C (E19) 拡声
 - C 新設 インベイ配管（二重天井内はコゴシ）
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声

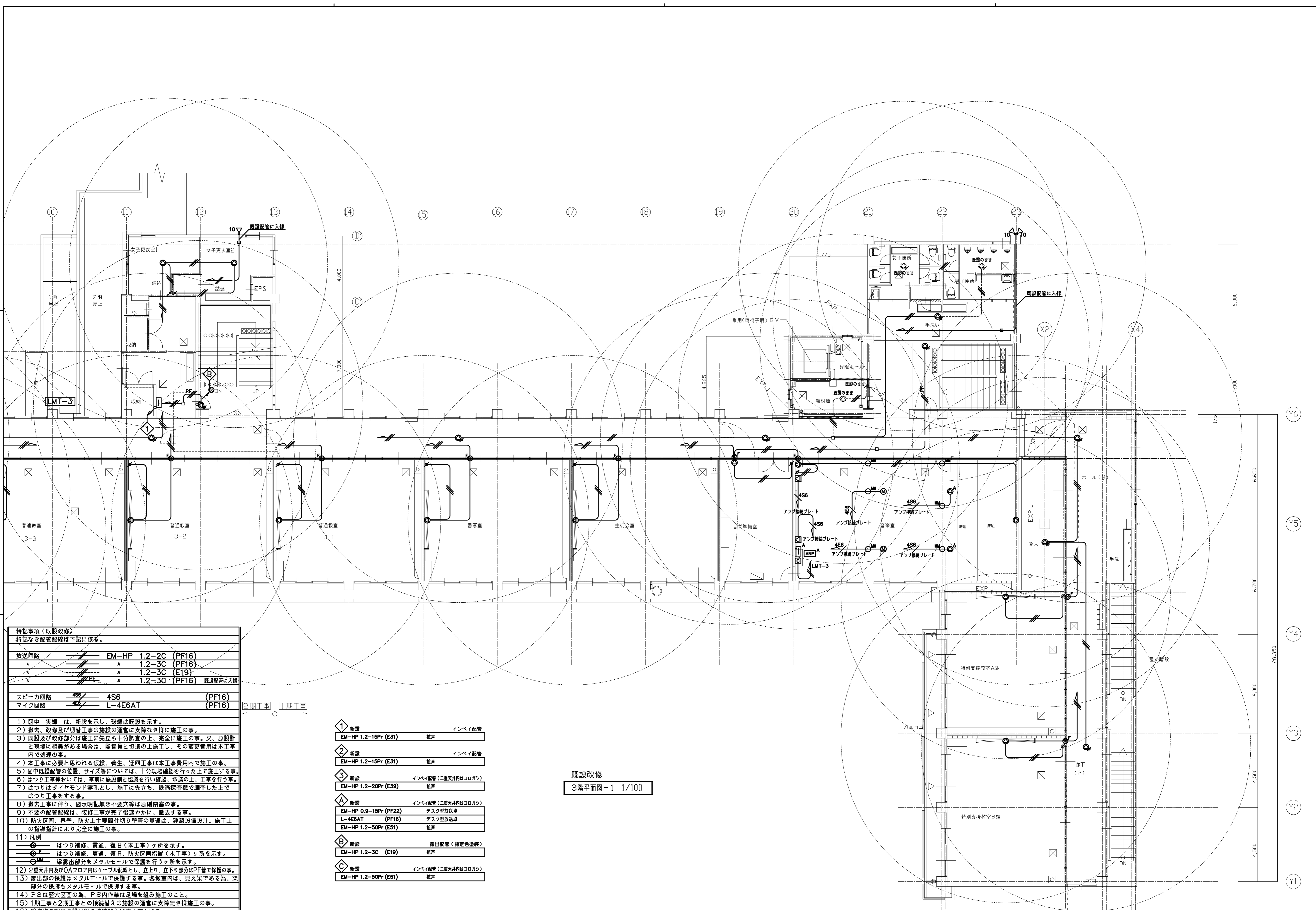


既設改修
2階平面図-2 1/100

特記事項（既設改修）		
特記なき配管配線は下記に依る。		
放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)	
〃	〃 1.2-3C (PF16)	
〃	〃 1.2-3C (E19)	
〃	〃 1.2-3C (PF16)	既設配管に入線
スピーカー回路	4S6	(PF16)
マイク回路	L-4E6AT	(PF16)

- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 撤去の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

①	新設	インベイ配管
	EM-HP 1.2-15Pr (E31)	拡声
②	新設	インベイ配管
	EM-HP 1.2-15Pr (E31)	拡声
③	新設	インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
	EM-HP 1.2-20Pr (E39)	拡声
A	新設	インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
	EM-HP 0.9-15Pr (PF22)	デスク型放送卓
	L-4E6AT (PF16)	デスク型放送卓
	EM-HP 1.2-50Pr (E51)	拡声
B	新設	露出配管（指定色塗装）
	EM-HP 1.2-3C (E19)	拡声
C	新設	インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
	EM-HP 1.2-50Pr (E51)	拡声



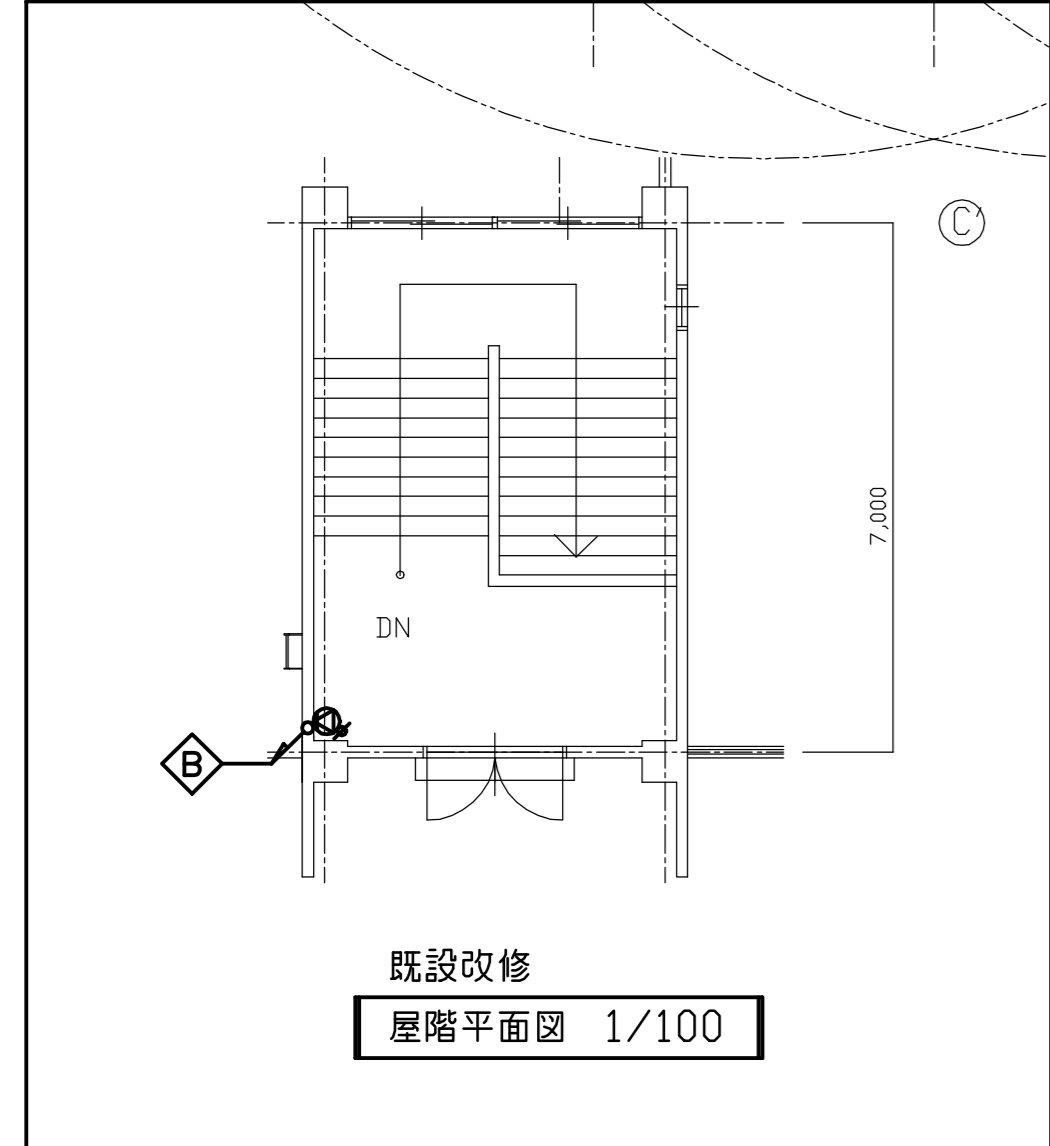
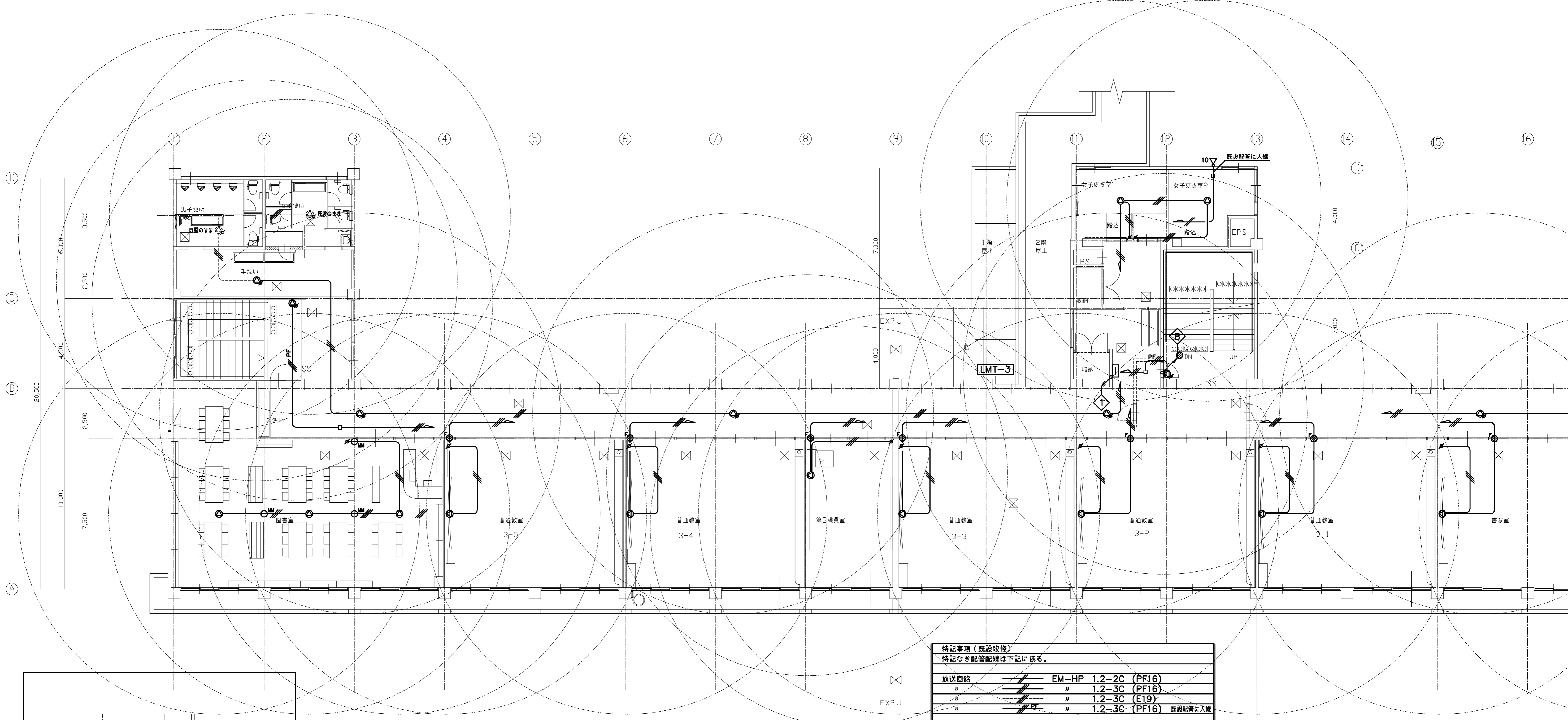
特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。

放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)	
"	" 1.2-3C (PF16)	
"	" 1.2-3C (E19)	
"	" 1.2-3C (PF16)	既設配管に入線
スピーカー回路	4S6	(PF16)
マイク回路	L-4E6AT	(PF16)

2期工事 1期工事

- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要開仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - F はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOフロア内はケーブル配線とし、立上り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 盤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

- 既設改修**
3階平面図-1 1/100
- ① 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
 - ② 新設 インベイ配管
EM-HP 1.2-15Pr (E31) 拡声
 - ③ 新設 インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
EM-HP 1.2-20Pr (E39) 拡声
 - A 新設 インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
EM-HP 0.9-15Pr (PF22) デスク型放送機
L-4E6AT (PF16) デスク型放送機
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声
 - B 新設 露出配管（指定色塗装）
EM-HP 1.2-3C (E19) 拡声
 - C 新設 インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
EM-HP 1.2-50Pr (E51) 拡声



既設改修
3階平面図-2 1/100

特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。

放送回路	EM-HP 1.2-2C (PF16)
〃	〃 1.2-3C (PF16)
〃	〃 1.2-3C (E19)
〃	〃 1.2-3C (PF16) 既設配管に入線
スピーカ回路	4S6 (PF16)
マイク回路	L-4E6AT (PF16)

- 1) 图中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 图中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で はつり工事をとする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
 - △ 梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井及びO/Aフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
- 14) PSは堅穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 撤去の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

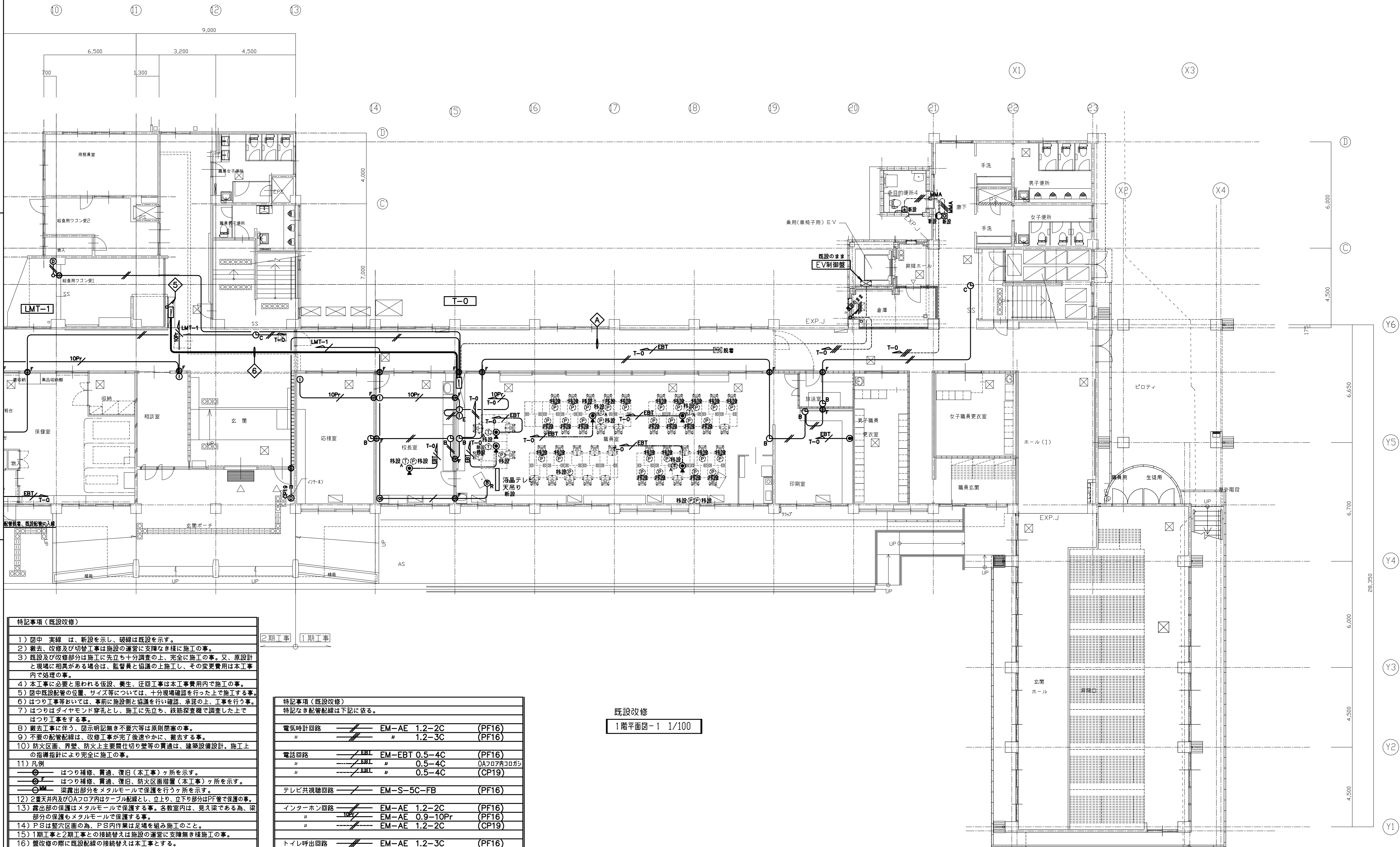
- | | | |
|-----------------------|---------|--------------------|
| ① | 新設 | インベイ配管 |
| EM-HP 1.2-15Pr (E31) | 配管 | |
| ② | 新設 | インベイ配管 |
| EM-HP 1.2-15Pr (E31) | 配管 | |
| ③ | 新設 | インベイ配管（二重天井内はコロガシ） |
| EM-HP 1.2-20Pr (E39) | 配管 | |
| Ⓐ | 新設 | インベイ配管（二重天井内はコロガシ） |
| EM-HP 0.9-15Pr (PF22) | デスク型放送卓 | |
| L-4E6AT (PF16) | デスク型放送卓 | |
| EM-HP 1.2-50Pr (E51) | 配管 | |
| Ⓑ | 新設 | 露出配管（指定色塗装） |
| EM-HP 1.2-3C (E19) | 配管 | |
| Ⓒ | 新設 | インベイ配管（二重天井内はコロガシ） |
| EM-HP 1.2-50Pr (E51) | 配管 | |

①	露出配管 (指定色塗装)	EM-S-7C-FB (PF25)x2	UHF、BS-ANT
②	インベイ配管	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF、BS-ANT
③	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF、BS-ANT

④	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
⑤	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン

⑥	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン (EV)
⑦	既設のまま (T-0に接続替え)	EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
		OPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)

凡例	液晶テレビ	65型	ラック共
----	-------	-----	------

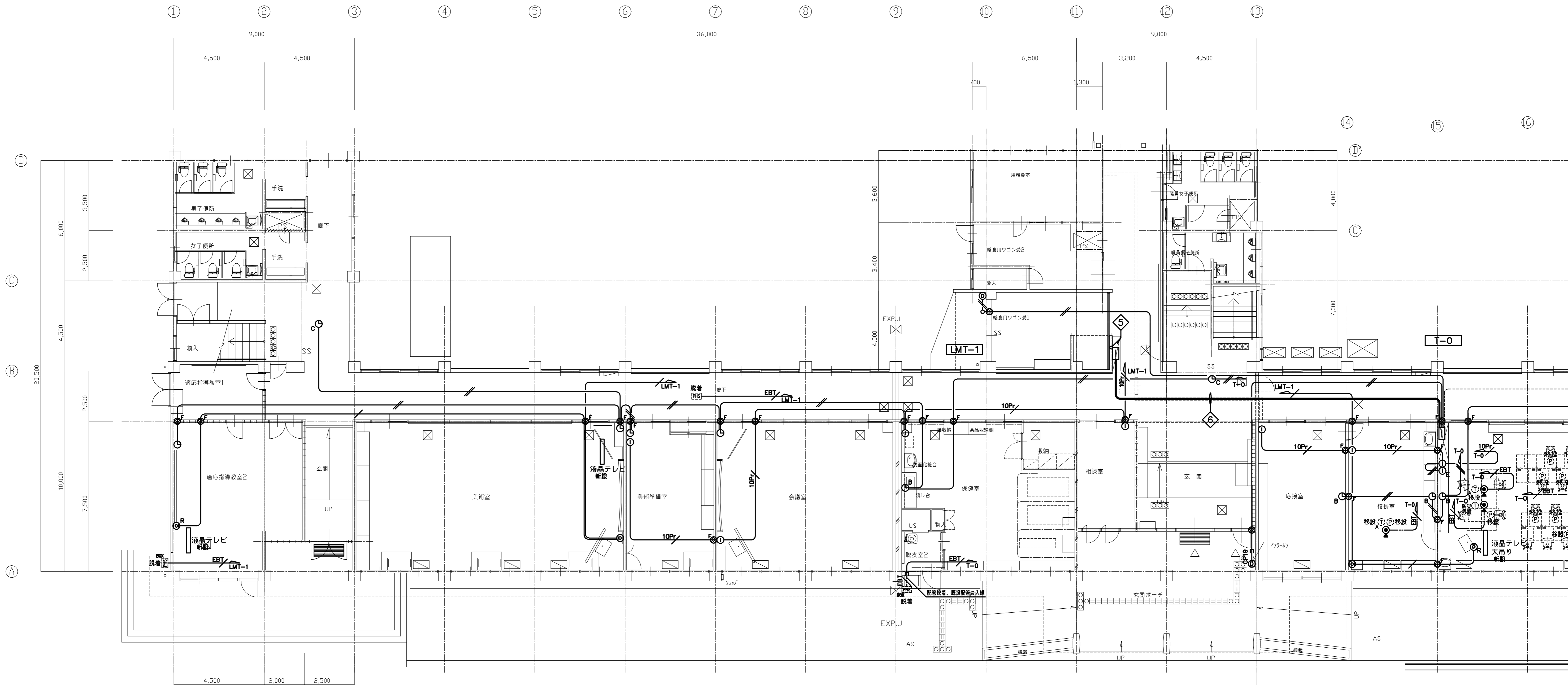


- 特記事項 (既設改修)**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 既設改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

特記事項 (既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
"	" 0.5-4C (OAフロア内コロガシ)
"	" 0.5-4C (CP19)
テレビ視聴回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
"	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)

既設改修
1階平面図-1 1/100



① 露出配管 (指定色塗装)	EM-S-7C-FB (CP25)×2 UHF、BS-ANT	④ インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)×3 電話 (PHSアンテナ)	⑥ インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-EBT 0.5-4C (PF16)×8 電話 (PHSアンテナ)
② インベイ配管	EM-S-7C-FB (PF22)×2 UHF、BS-ANT	⑤ インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-AE 1.2-2C (PF16)×2 時計		EM-AE 1.2-2C (PF16)×2 時計
③ インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-S-7C-FB (PF22)×2 UHF、BS-ANT		EM-S-7C-FB (PF22) テレビ		EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン
			EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン		EM-AE 1.2-2C (PF16) トイレ呼出
					EM-S-7C-FB (PF22) テレビ
					⑧ 既設のまま (T-0)に接続替え
					EM-EBT 0.5-4C (PF16)×6 電話 (PHSアンテナ)
					EM-AE 1.2-2C (PF16)×2 時計
					EM-S-7C-FB (PF22) テレビ
					EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン
					EM-EBT 0.5-4C (PF16)×2 電話 (EV)
					CPEV 0.9-7Pr (PF16) インターホン (EV)

既設改修
1階平面図-2 1/100

- 特記事項 (既設改修)
- 1) 固中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事が必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 固中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要開口部切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは要穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 壁改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

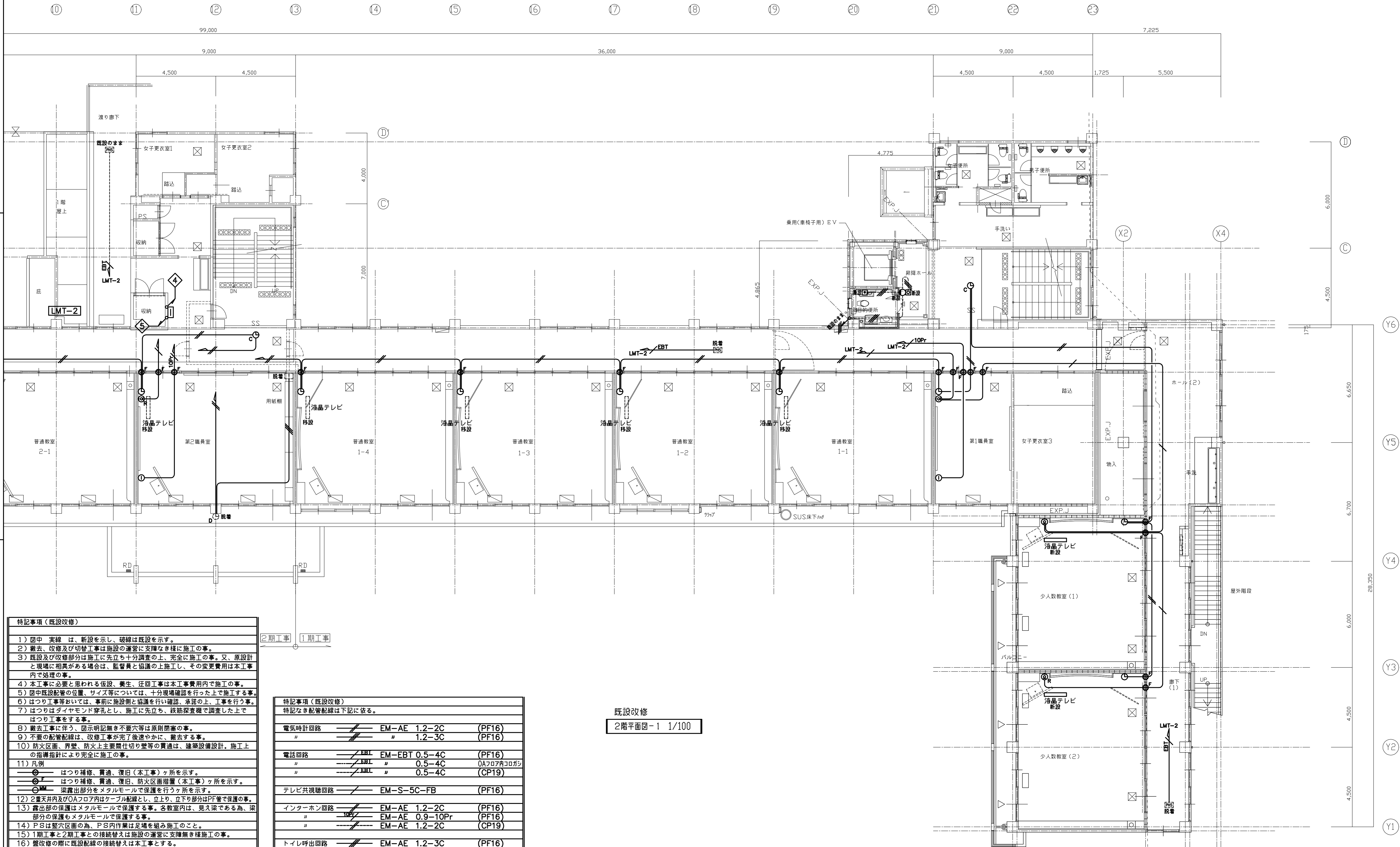
特記事項 (既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
”	” 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
”	” 0.5-4C 0A707コロガシ
”	” 0.5-4C (CP19)
テレビ視聴回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
”	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
”	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)

①	露出配管 (指定色塗装)	EM-S-7C-FB (PF25)x2	UHF, BS-ANT
②	インベイ配管	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF, BS-ANT
③	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF, BS-ANT

④	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
⑤	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン

⑥	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
⑦	既設のまま (T-Oに接続替え)	EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
		CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)



- 特記事項 (既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要開口部等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) 箇所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) 箇所を示す。
 - MM 梁露出部分をメタルモールで保護を行う箇所を示す。
 - 12) 二重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 既設改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

特記事項 (既設改修)

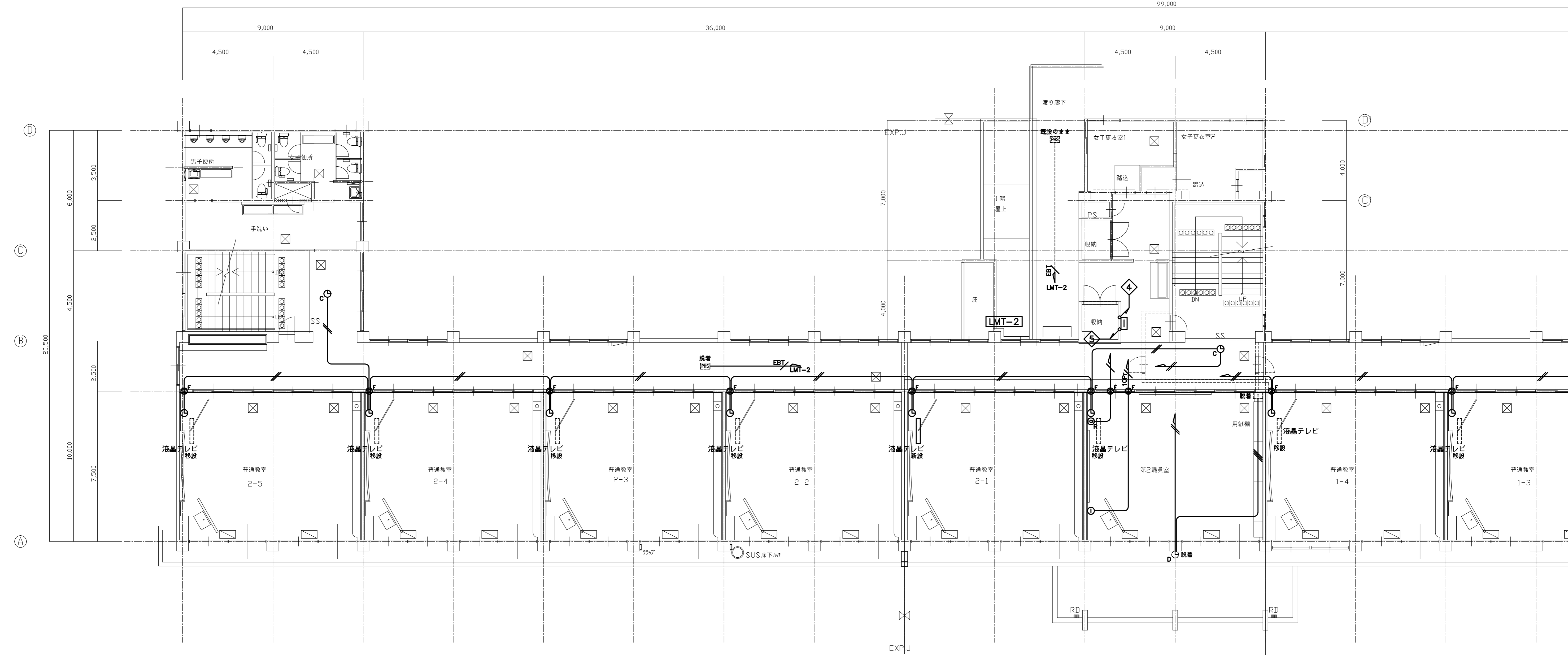
特記なき配管配線は下記に依る。

電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
"	" 0.5-4C (OAフロア内コロガシ)
"	" 0.5-4C (CP19)
テレビ視聴回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
"	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)

既設改修
2階平面図-1 1/100

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

① 露出配管 (指定色塗装) EM-S-7C-FB (CP25)x2 UHF, BS-ANT	④ インベイ配管 EM-S-7C-FB (PF22)x2 UHF, BS-ANT	⑤ インベイ配管 (二重天井内はコロガシ) EM-S-7C-FB (PF22)x2 UHF, BS-ANT	⑥ インベイ配管 EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3 電話 (PHSアンテナ) EM-AE 1.2-2C (PF16)x2 時計 EM-S-7C-FB (PF22) テレビ EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン	⑦ インベイ配管 EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6 電話 (PHSアンテナ) EM-AE 1.2-2C (PF16)x2 時計 EM-S-7C-FB (PF22) テレビ EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン	⑧ インベイ配管 (二重天井内はコロガシ) EM-EBT 0.5-4C (PF16)x8 電話 (PHSアンテナ) EM-AE 1.2-2C (PF16)x2 時計 EM-AE 0.9-10Pr (PF16) インターホン EM-AE 1.2-2C (PF16) トイレ呼出 EM-S-7C-FB (PF22) テレビ	⑨ 既設のまま (T-0に接続替え) インベイ配管 EM-EBT 0.5-4C (PF16) 電話 (EV) CPEV 0.9-7Pr (PF16) インターホン (EV)
--	--	---	---	---	---	---



既設改修
2階平面図-2 1/100

特記事項 (既設改修)	
1)	図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、昇盤、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	凡例
—○—	はつり補修、貫通、復旧 (本工事) を示す。
—●—	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) を示す。
—◯—	梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
—	2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
—	13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
—	14) PSは要穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
—	15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
—	16) 盤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

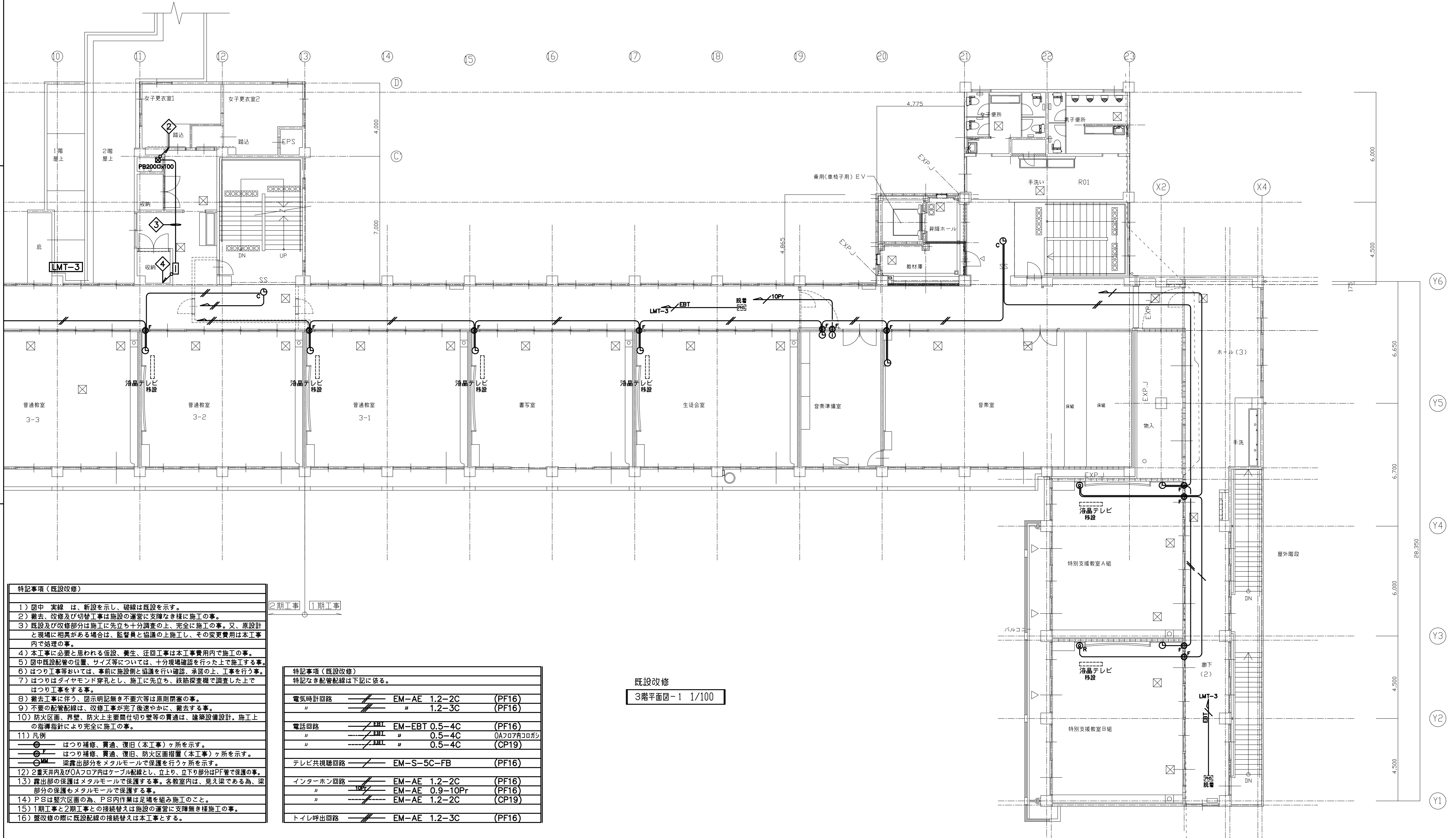
特記事項 (既設改修)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
"	" 0.5-4C OAフロアコロガシ
"	" 0.5-4C (CP19)
テレビ共聴回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
"	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)

①	露出配管 (指定色塗装)
EM-S-7C-FB (CP25)x2	UHF, BS-ANT
②	インベイ配管
EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF, BS-ANT
③	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)
EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF, BS-ANT

④	インベイ配管
EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
⑤	インベイ配管
EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン

⑥	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)
EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ

⑦	既設のまま (T-Oに給線替え)	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	



- 特記事項 (既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要開口部等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) 箇所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) 箇所を示す。
 - 梁露出部分をメタルモールで保護を行う箇所を示す。
 - 12) 二重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 既設改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

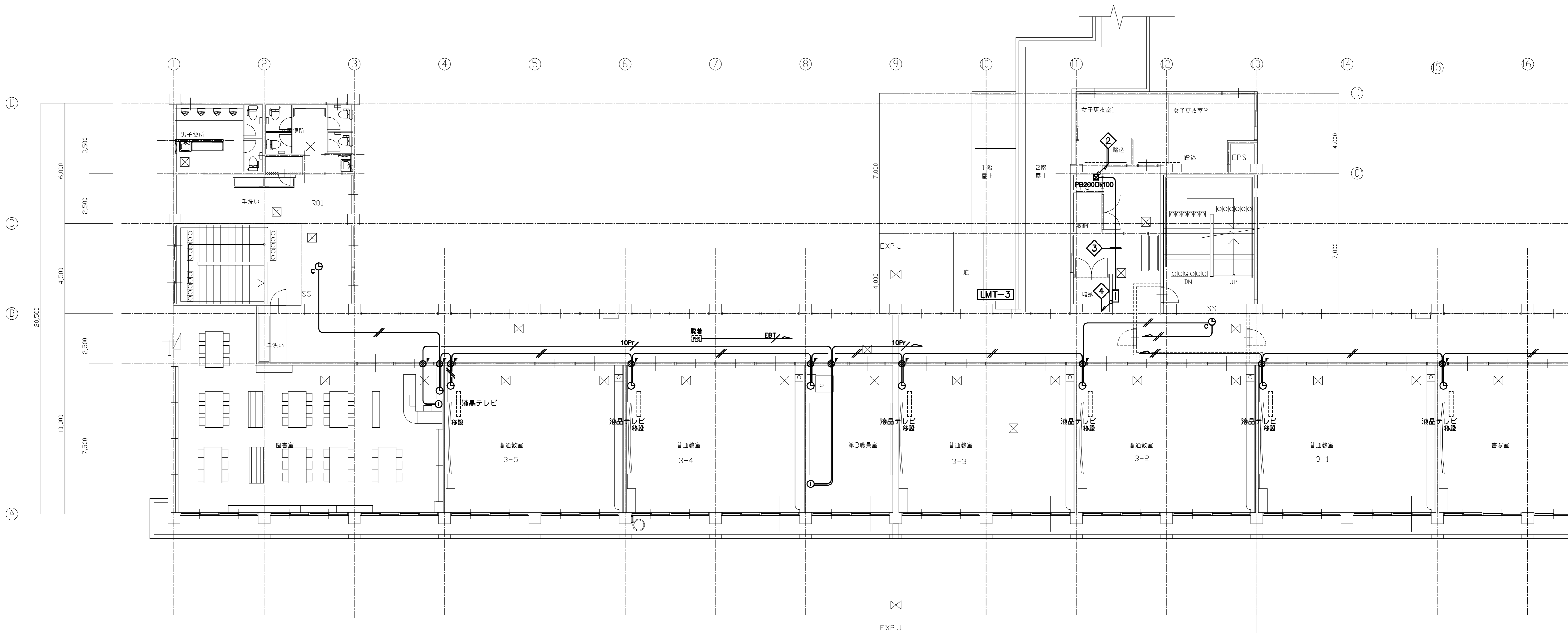
電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
〃	〃 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
〃	〃 0.5-4C (OAフロア内コロガシ)
〃	〃 0.5-4C (CP19)
テレビ共視聴回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
〃	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
〃	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)

既設改修
3階平面図-1 1/100

①	露出配管（指定色塗装）
EM-S-7C-FB (CP25)×2	UHF, BS-ANT
②	インベイ配管
EM-S-7C-FB (PF22)×2	UHF, BS-ANT
③	インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
EM-S-7C-FB (PF22)×2	UHF, BS-ANT

④	インベイ配管
EM-EBT 0.5-4C (PF16)×3	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)×2	時計
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
⑤	インベイ配管
EM-EBT 0.5-4C (PF16)×6	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)×2	時計
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン

⑥	インベイ配管（二重天井内はコロガシ）
EM-EBT 0.5-4C (PF16)×8	電話 (PHSアンテナ)
EM-AE 1.2-2C (PF16)×2	時計
EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
EM-AE 1.2-2C (PF16)	トイレ呼出
EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
⑦	既設のまま（T-0に接続替え）
EM-EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)

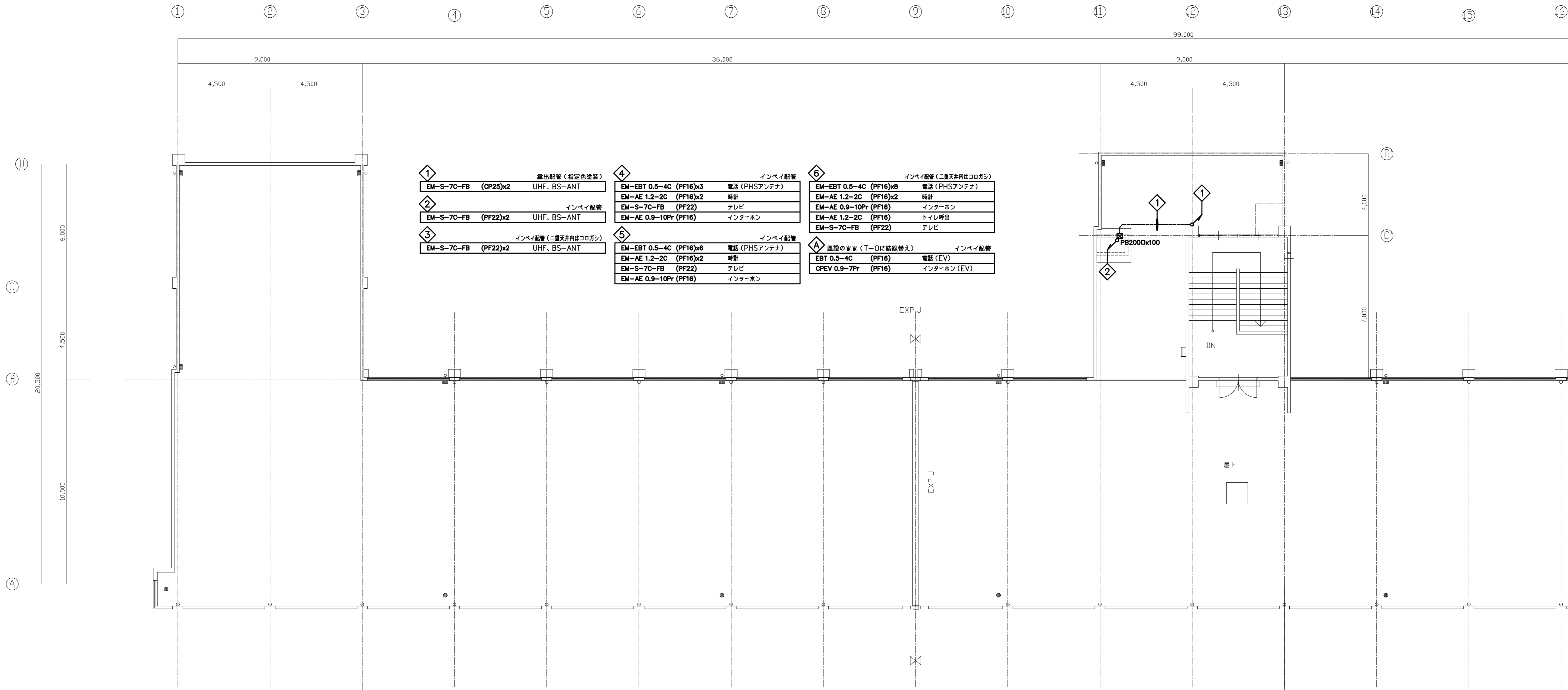


既設改修
3階平面図-2 1/100

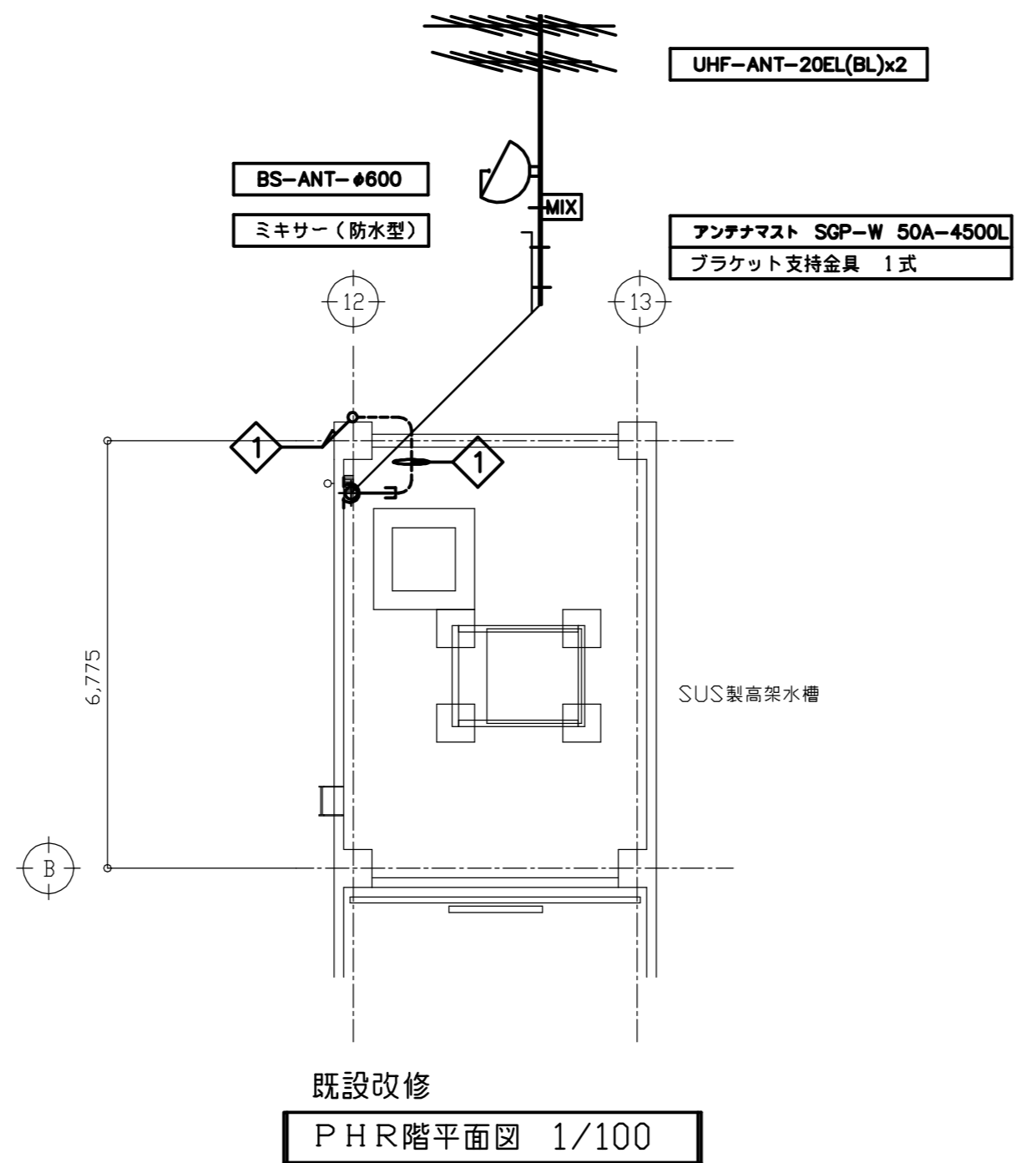
特記事項（既設改修）
1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11) 凡例
○ はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
◎ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置（本工事）ヶ所を示す。
□ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
12) 二重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
16) 盤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

②期工事 ①期工事

特記事項（既設改修）	特記なき配管配線は下記に依る。
電気時計回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
”	” 1.2-3C (PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C (PF16)
”	” 0.5-4C (OA707内コロガシ)
”	” 0.5-4C (CP19)
テレビ共視観回路	EM-S-5C-FB (PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
”	EM-AE 0.9-10Pr (PF16)
”	EM-AE 1.2-2C (CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C (PF16)



1	露出配管 (指定色塗装)	EM-S-7C-FB (CP25)x2	UHF、BS-ANT
2	インベイ配管	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF、BS-ANT
3	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-S-7C-FB (PF22)x2	UHF、BS-ANT
4	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x3	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
5	インベイ配管	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
6	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	EM-EBT 0.5-4C (PF16)x8	電話 (PHSアンテナ)
		EM-AE 1.2-2C (PF16)x2	時計
		EM-AE 0.9-10Pr (PF16)	インターホン
		EM-AE 1.2-2C (PF16)	トイレ呼出
		EM-S-7C-FB (PF22)	テレビ
7	既設のまま (T-Oに結線替え)	EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
		CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)

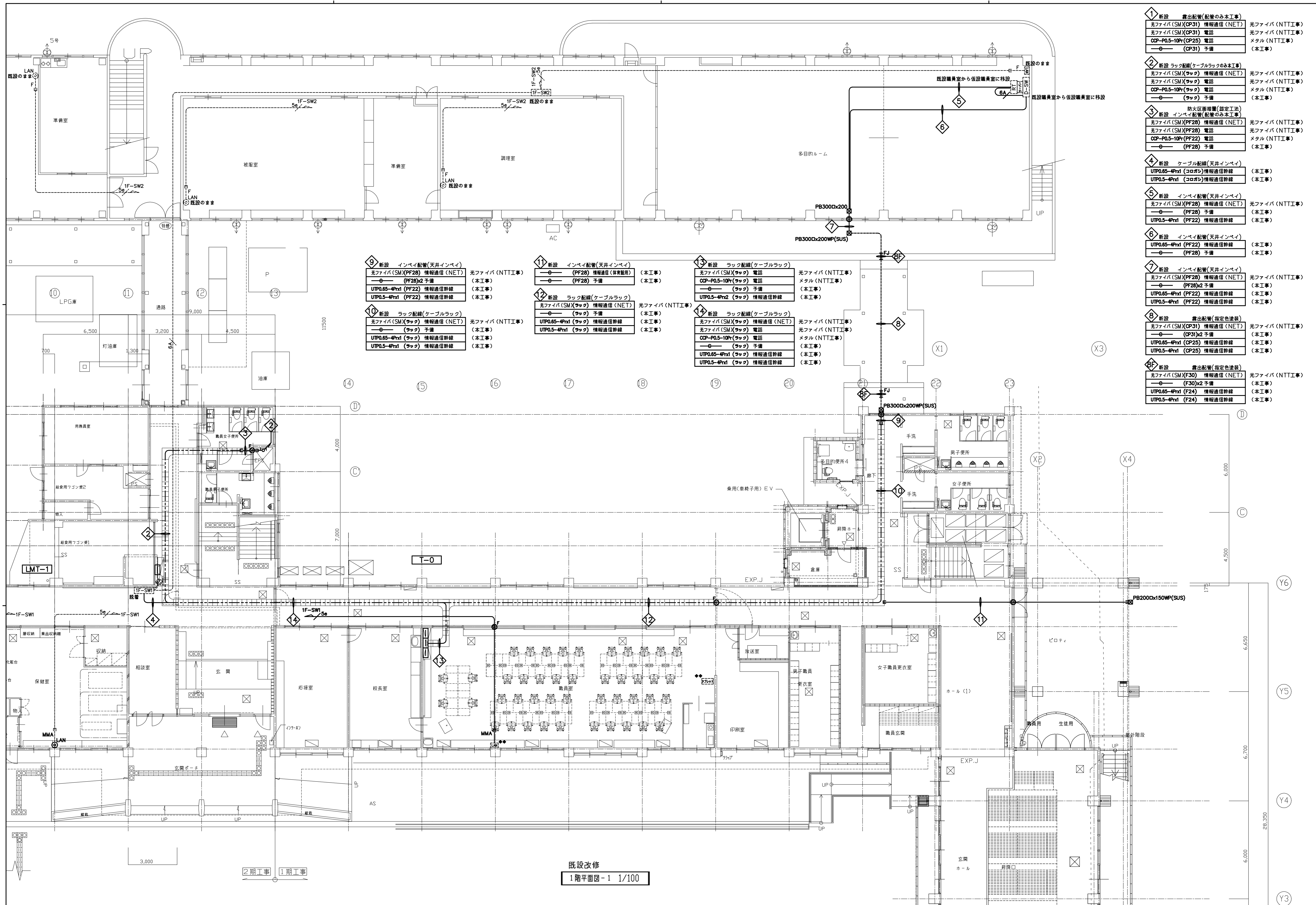


既設改修
 屋階平面図 1/100
 2期工事
 1期工事

- 特記事項 (既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要層仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うことを示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 撤改修の際に既設配線の接続替えは本工事とする。

特記事項 (既設改修)
 特記なき配管配線は下記に依る。

電気時計回路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
"	" 1.2-3C	(PF16)
電話回路	EM-EBT 0.5-4C	(PF16)
"	EM-EBT 0.5-4C	(OAフロア内コロガシ)
"	EM-EBT 0.5-4C	(CP19)
テレビ視聴回路	EM-S-5C-FB	(PF16)
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
"	EM-AE 0.9-10Pr	(PF16)
"	EM-AE 1.2-2C	(CP19)
トイレ呼出回路	EM-AE 1.2-3C	(PF16)



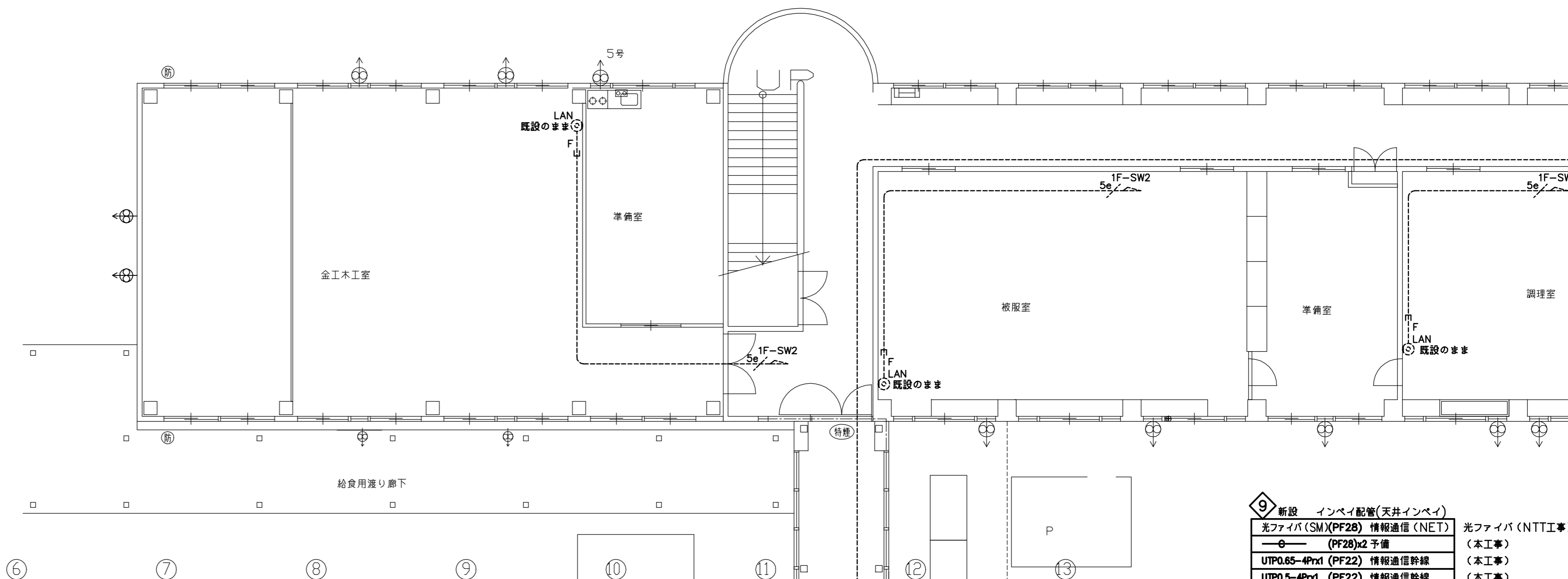
- ① 新設 露出配管(配管のみ工事)
光ファイバ(SM)(CP31) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
光ファイバ(SM)(CP31) 電話 光ファイバ(NTT工事)
CCP-P0.5-10Pr(CP25) 電話 メタル(NTT工事)
—○— (CP31) 予備 (本工事)
- ② 新設 ラック配線(ケーブルラックのみ工事)
光ファイバ(SM)(ラック) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
光ファイバ(SM)(ラック) 電話 光ファイバ(NTT工事)
CCP-P0.5-10Pr(ラック) 電話 メタル(NTT工事)
—○— (ラック) 予備 (本工事)
- ③ 新設 インベイ配管(天井インベイ)
防火区画相準(認定工法)
光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
光ファイバ(SM)(PF28) 電話 光ファイバ(NTT工事)
CCP-P0.5-10Pr(PF22) 電話 メタル(NTT工事)
—○— (PF28) 予備 (本工事)
- ④ 新設 ケーブル配線(天井インベイ)
UTP0.65-4Prx1(コロン) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1(コロン) 情報通信幹線 (本工事)
- ⑤ 新設 インベイ配管(天井インベイ)
光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
—○— (PF28) 予備 (本工事)
UTP0.5-4Prx1(PF22) 情報通信幹線 (本工事)
- ⑥ 新設 インベイ配管(天井インベイ)
UTP0.65-4Prx1(PF22) 情報通信幹線 (本工事)
—○— (PF28) 予備 (本工事)
- ⑦ 新設 インベイ配管(天井インベイ)
光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
—○— (PF28)x2 予備 (本工事)
UTP0.65-4Prx1(PF22) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1(PF22) 情報通信幹線 (本工事)
- ⑧ 新設 露出配管(指定色塗装)
光ファイバ(SM)(CP31) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
—○— (CP31)x2 予備 (本工事)
UTP0.65-4Prx1(CP25) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1(CP25) 情報通信幹線 (本工事)
- ⑧F 新設 露出配管(指定色塗装)
光ファイバ(SM)(F30) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
—○— (F30)x2 予備 (本工事)
UTP0.65-4Prx1(F24) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1(F24) 情報通信幹線 (本工事)

既設改修
1階平面図-1 1/100

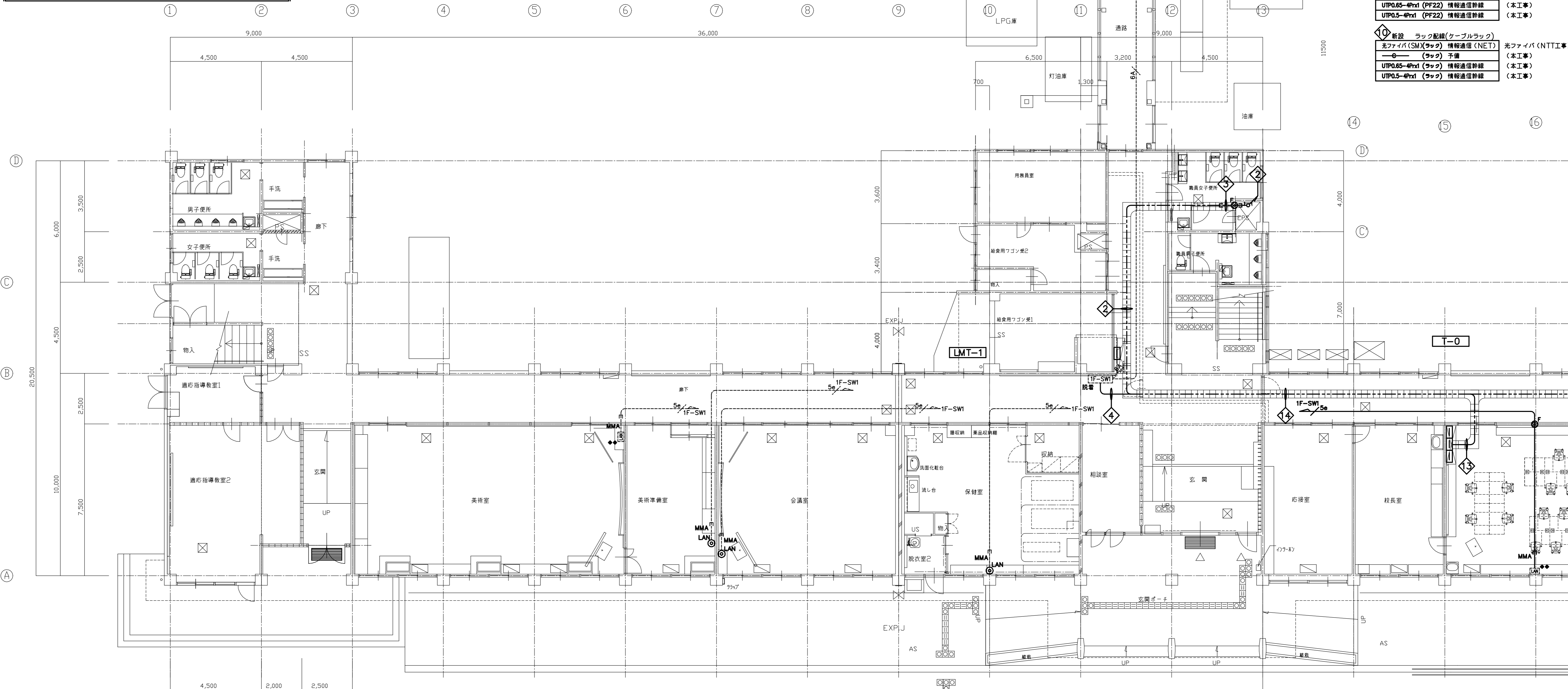
凡 例

- 特記事項（既設改修）
特記なき配管配線は下記に依る。
- | | |
|--------|-----------------------|
| 情報通信回路 | UTP 0.5-4Prx1 (PF16) |
| 〃 | 〃 〃 0.5-4Prx2 (PF16) |
| 〃 | 〃 〃 0.65-4Prx1 (PF22) |
| 〃 | 〃 〃 0.65-4Prx2 (PF28) |
- 1) 図中 実線は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と想われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) コンクリート打込み部分の撤去は配線ののみ撤去とする。
 - 12) 特記無き2重天井内はケーブル配線とする。
 - 13) ケーブル配線の立上り、立下りはP.F.管、露出部分はメタルモールで保護の事。
 - 14) 図示◆は仮設検査へ移送し、工事が完了後本館検回示番所に再取付を行う。
 - 15) 図示明記UTP0.5-4Pr:5eはカテゴリ5eを示し、UTP0.65-4Pr:6Aはカテゴリ6Aを示す。エンハンスド仕様（最長100m）とする。
 - 16) LAN配線工事後はデジタル通信テストを行い合格する事。
 - 17) 施工に先立ち情報通信引込用光ファイバ及び電話引込用メタル、光ファイバはNTT（担当：片山氏、TEL:090-4305-7724）と協議すること。
 - 18) 1期工事、2期工事の取り合いは、必ず機能回復出来る様に配線延長、仮設、接続替えを行うこと。（共通事項）

記号	名称	備考
RT	拠点ルーター ONU共	NTT（担当：片山氏）
D-SW	基幹スイッチ (サーバー)	
1F-SW1	フロアスイッチ HUB-10ポートPoE 総容量(124W)	AT-SH230-10GP:アライドテレシス
1F-SW2	フロアスイッチ HUB-10ポートPoE 総容量(124W)	AT-SH230-10GP:アライドテレシス
2F-SW	フロアスイッチ HUB-28ポートPoE 総容量(370W)	AT-SH230-28GP:アライドテレシス
3F-SW	フロアスイッチ HUB-28ポートPoE 総容量(370W)	AT-SH230-28GP:アライドテレシス
HUB	HUB収納箱 HUB-24ポート	
LAN	無線LANアクセスポイント	AT-TQ5403:アライドテレシス
LAN	LAN受口 壁埋込型	8極8芯
LAN	LAN受口 O.Aフロア用	8極8芯
T-P22	タブレット保管庫	AC100V300W
○	はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。	
○	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。	
MMA	メタルモールA型を示す。	LANケーブルは既設流用。

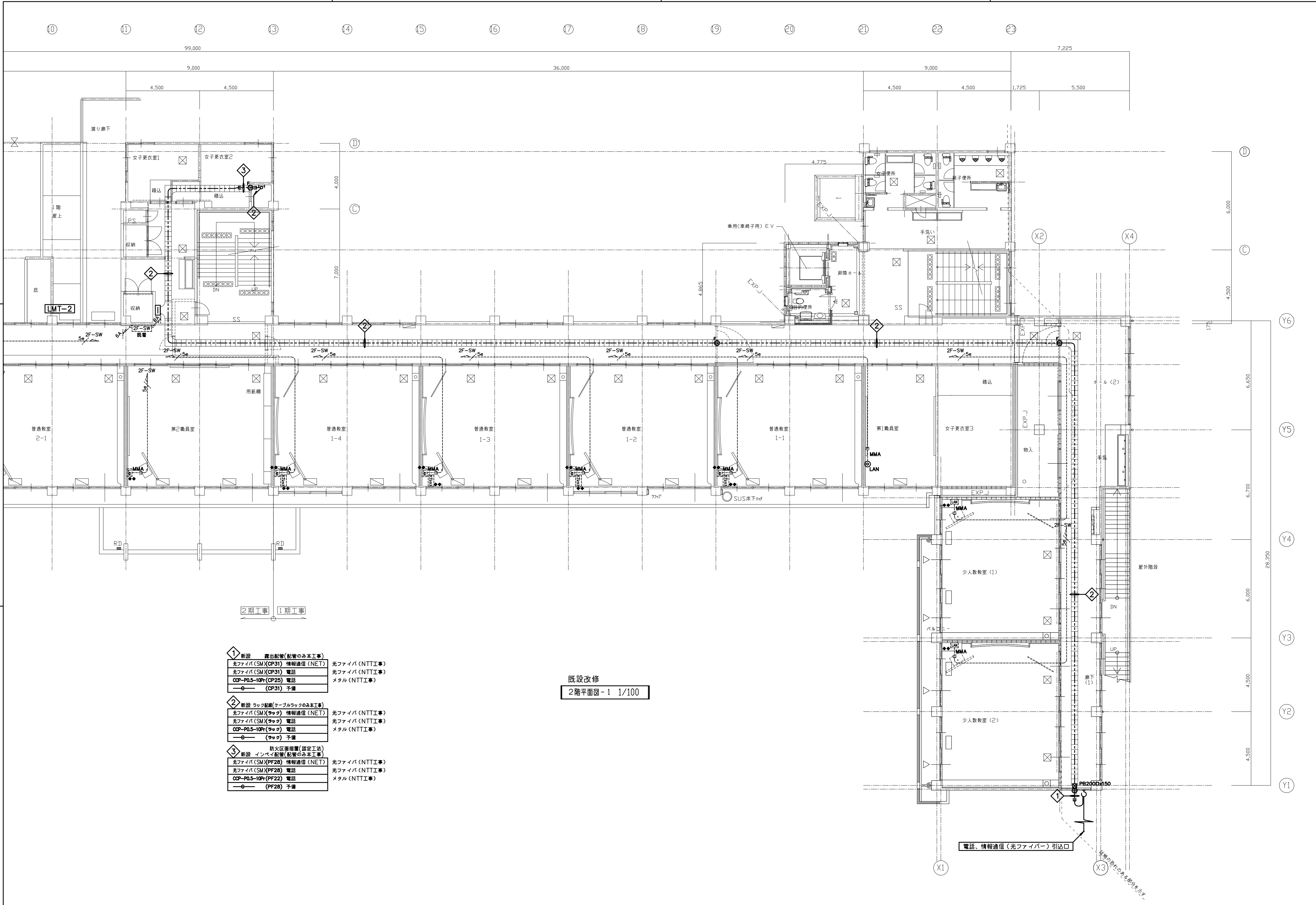


- ⑨ 新設 インペイ配線(天井インペイ)
光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
○ (PF28)2予備 (本工事)
UTP0.65-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1 (PF22) 情報通信幹線 (本工事)
- ⑩ 新設 ラック配線(ケーブルラック)
光ファイバ(SM)(ラック) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
○ (ラック) 予備 (本工事)
UTP0.65-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)
UTP0.5-4Prx1 (ラック) 情報通信幹線 (本工事)



既設改修
1階平面図-2 1/100

2期工事 1期工事



- ① 新設 露出配管(配管のみ工事)**
 - 光ファイバ(SM)(GP31) 情報通信 (NET) 光ファイバ (NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(GP31) 電話 光ファイバ (NTT工事)
 - CCP-P0.5-10Fy (GP25) 電話 メタル (NTT工事)
 - (GP31) 予備

- ② 新設 ラック配線(ケーブルラックのみ工事)**
 - 光ファイバ(SM)(ラック) 情報通信 (NET) 光ファイバ (NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(ラック) 電話 光ファイバ (NTT工事)
 - CCP-P0.5-10Fy (ラック) 電話 メタル (NTT工事)
 - (ラック) 予備

- ③ 新設 インペイ配管(認定工法)**
 - 光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信 (NET) 光ファイバ (NTT工事)
 - 光ファイバ(SM)(PF28) 電話 光ファイバ (NTT工事)
 - CCP-P0.5-10Fy (PF22) 電話 メタル (NTT工事)
 - (PF28) 予備

既設改修
2階平面図-1 1/100

電話、情報通信(光ファイバー)引込口